

令和元年度 町民まちづくりアンケート結果  
詳細データ（総合戦略関係のみ）

五城目町  
令和元年 11 月調査



# 目 次

|     |                      |    |
|-----|----------------------|----|
| I   | 調査の概要                | 1  |
| II  | 回答者の属性               | 2  |
| III | 調査結果                 |    |
| 1   | 五城目町の将来人口推計に関する調査    | 5  |
| 2   | 地方創生 「しごとづくり」に関する調査  | 15 |
| 3   | 地方創生 「移住・定住対策」に関する調査 | 27 |
| 4   | 地方創生 「少子化対策」に関する調査   | 37 |
| 5   | 地方創生 「地域づくり対策」に関する調査 | 45 |

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

五城目町では、平成 28 年 1 月に、5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年度～平成 31 年度）」を策定し、また、平成 29 年 2 月には町の最上位計画である「五城目町総合発展計画」の後期基本計画（平成 29 年度～平成 33 年度）を策定し、事業を実施している。

今年度は総合戦略における計画期間の最終年度であり、住民の意識調査を行い次期総合戦略策定の検討資料とすること、また、総合発展計画の目標指標を確認することを目的に、アンケート調査を実施したものです。

## 2 調査の項目

- (1) 五城目町の暮らしに関する調査
- (2) 五城目町の取り組みの満足度・重要度に関する調査
- (3) 五城目町の将来人口推計に関する調査
- (4) 地方創生 「しごとづくり」に関する調査
- (5) 地方創生 「移住・定住対策」に関する調査
- (6) 地方創生 「少子化対策」に関する調査
- (7) 地方創生 「地域づくり対策」に関する調査
- (8) これからのまちづくりへの意見・提案に関する調査

## 3 調査の方法

- (1) 調査対象 五城目町内在住の 18 歳以上の住民
- (2) 対象者数 1,000 人
- (3) 調査方法 郵送による調査票の配布・回収
- (4) 調査期間 令和元年 11 月 1 日（金）～同年 11 月 11 日（月）

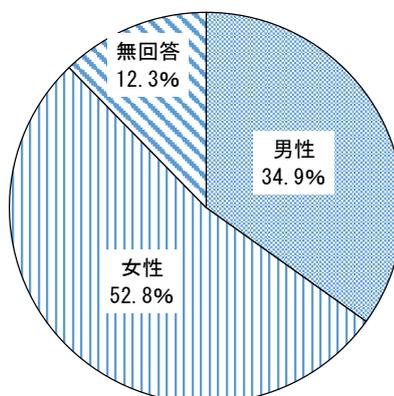
## 4 回収の結果

|        |         |
|--------|---------|
| 調査票送付数 | 1,000 件 |
| 総回収数   | 424 件   |
| 有効回収数  | 424 件   |
| 無効回収数  | 0 件     |
| 回収率    | 42.4%   |
| 有効回収率  | 42.4%   |

## II 回答者の属性

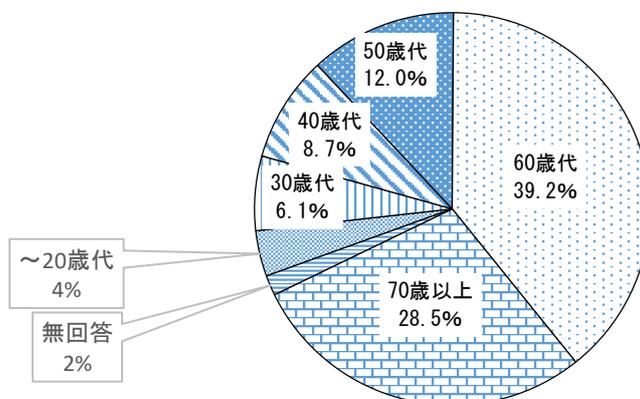
【問1】 あなたのことについて記入してください。

(1) 性別



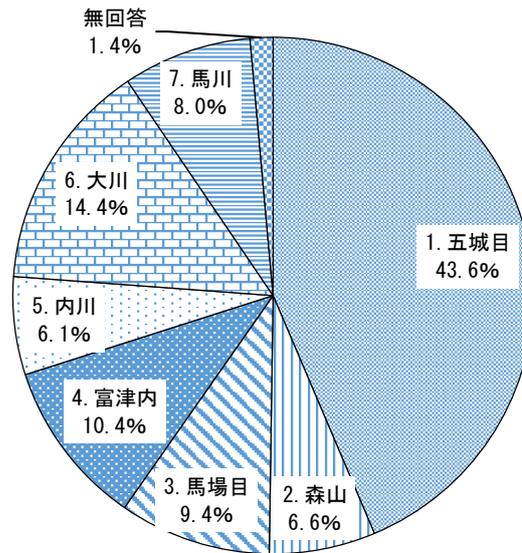
| No. | カテゴリ一名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 男性     | 148 | 34.9  |
| 2   | 女性     | 224 | 52.8  |
|     | 無回答    | 52  | 12.3  |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |

(2) 年齢



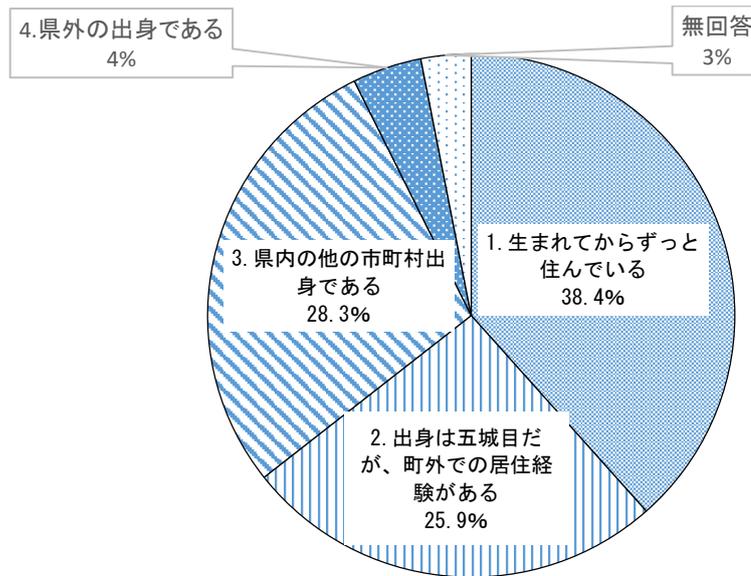
| No. | カテゴリ一名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | ~20歳代  | 16  | 3.8   |
| 2   | 30歳代   | 26  | 6.1   |
| 3   | 40歳代   | 37  | 8.7   |
| 4   | 50歳代   | 51  | 12.0  |
| 5   | 60歳代   | 166 | 39.2  |
| 6   | 70歳以上  | 121 | 28.5  |
|     | 無回答    | 7   | 1.7   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |

(3) 居住地区



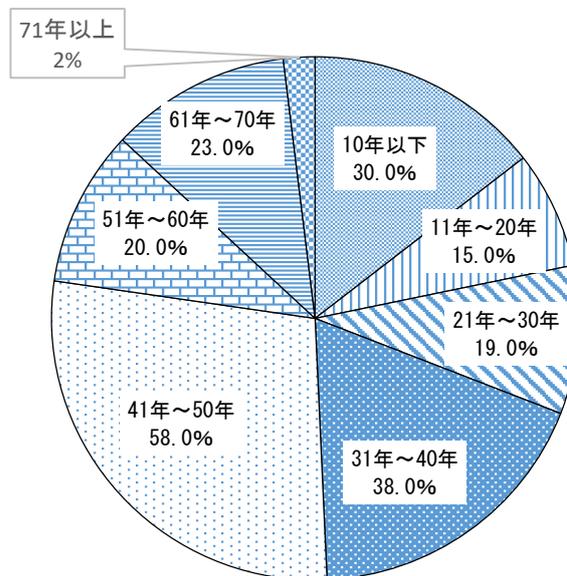
| No. | カテゴリー名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 五城目    | 185 | 43.6  |
| 2   | 森山     | 28  | 6.6   |
| 3   | 馬場目    | 40  | 9.4   |
| 4   | 富津内    | 44  | 10.4  |
| 5   | 内川     | 26  | 6.1   |
| 6   | 大川     | 61  | 14.4  |
| 7   | 馬川     | 34  | 8.0   |
|     | 無回答    | 6   | 1.4   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |

(4) 現在の町内に住んでいる期間



| No. | カテゴリー名               | n   | %     |
|-----|----------------------|-----|-------|
| 1   | 生まれてからずっと住んでいる       | 163 | 38.4  |
| 2   | 出身は五城目だが、町外での居住経験がある | 110 | 25.9  |
| 3   | 県内の他の市町村出身である        | 120 | 28.3  |
| 4   | 県外出身である              | 18  | 4.2   |
|     | 無回答                  | 13  | 3.1   |
|     | 全体                   | 424 | 100.0 |

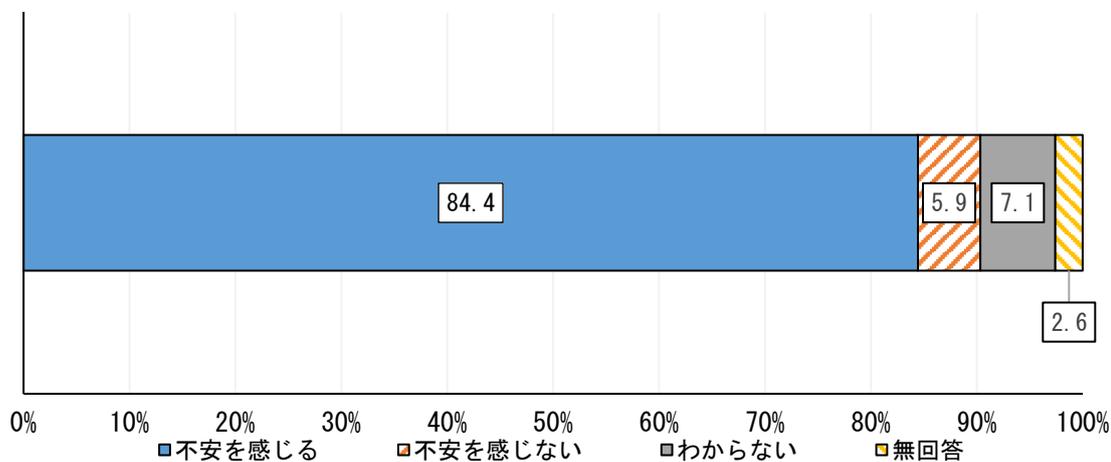
※ 居住年数



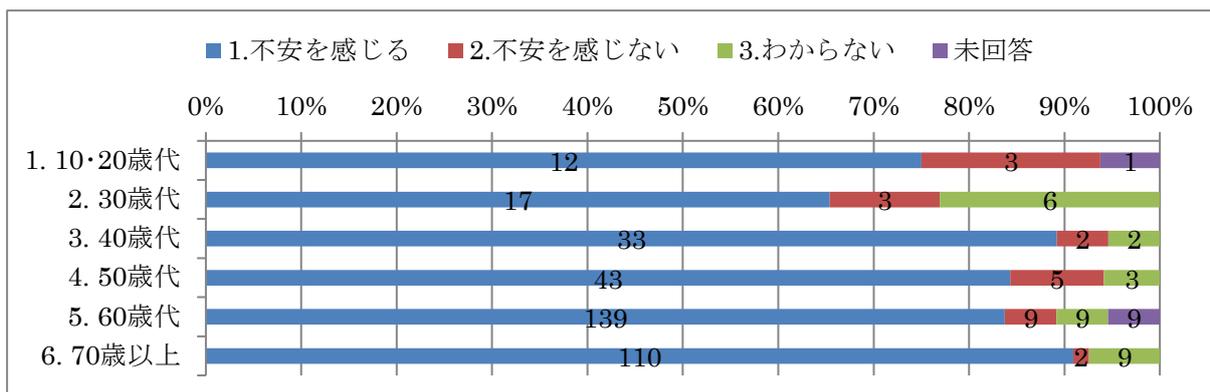
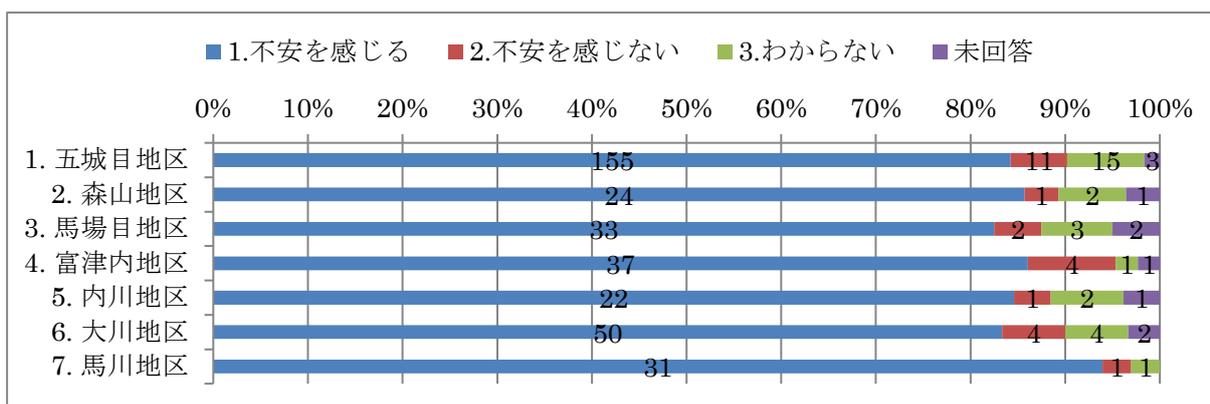
### 3 五城目町の将来人口推計について

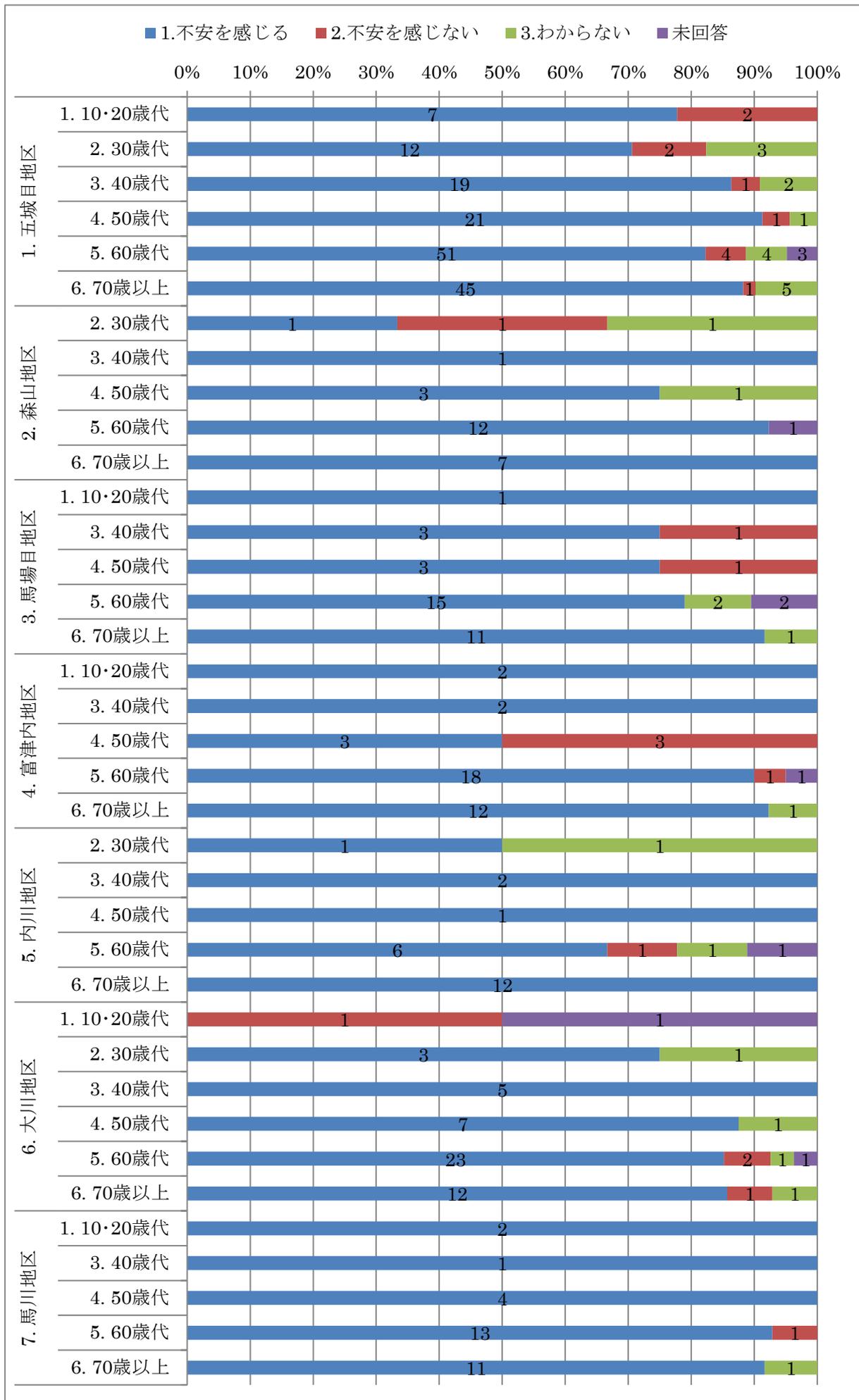
【問7】 あなたは、五城目町の人口推移予測について、どのように思いますか。

「不安を感じる」が 84.4%であり、人口推移予測について不安を感じている人が8割を超えている。



| No. | カテゴリー名  | n   | %     |
|-----|---------|-----|-------|
| 1   | 不安を感じる  | 358 | 84.4  |
| 2   | 不安を感じない | 25  | 5.9   |
| 3   | わからない   | 30  | 7.1   |
|     | 無回答     | 11  | 2.6   |
|     | 全体      | 424 | 100.0 |



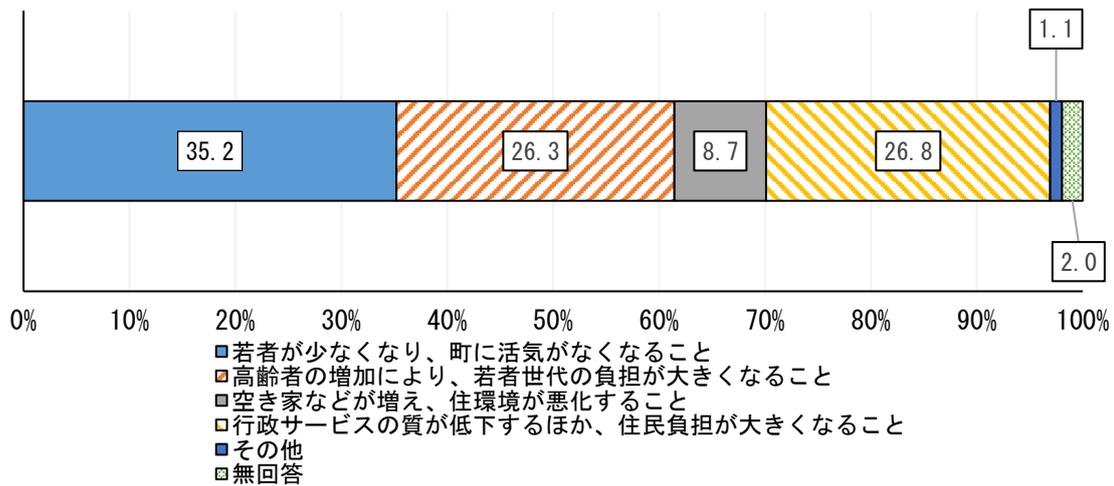


【問8】 【問7】で「1. 不安を感じる」を選択した方におたずねします。

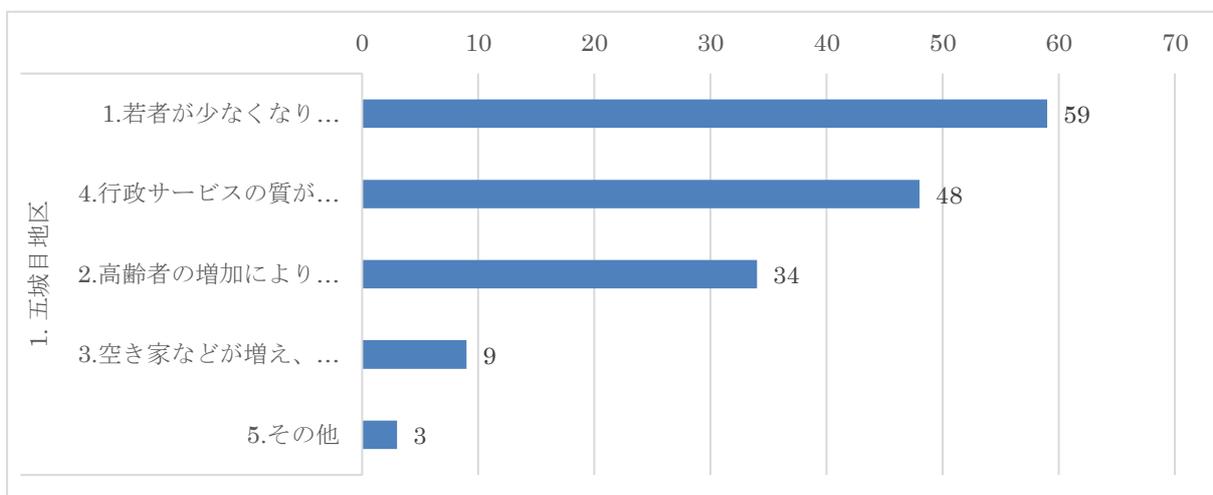
具体的にどのようなことに最も不安を感じますか。

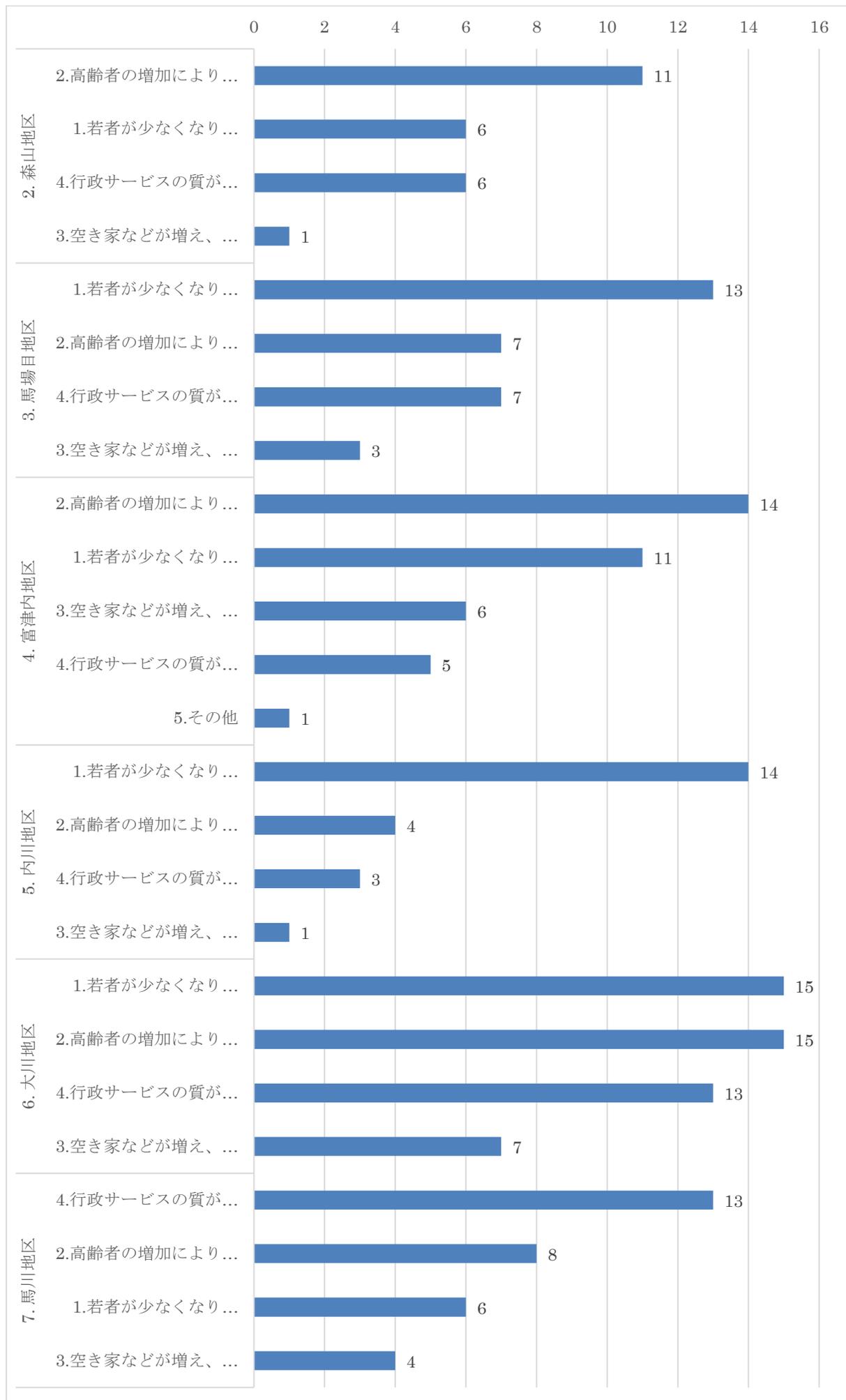
「若者が少なくなり、町に活気がなくなること」が 35.2%で、町の活気に関して不安を持つ人が最も多い。

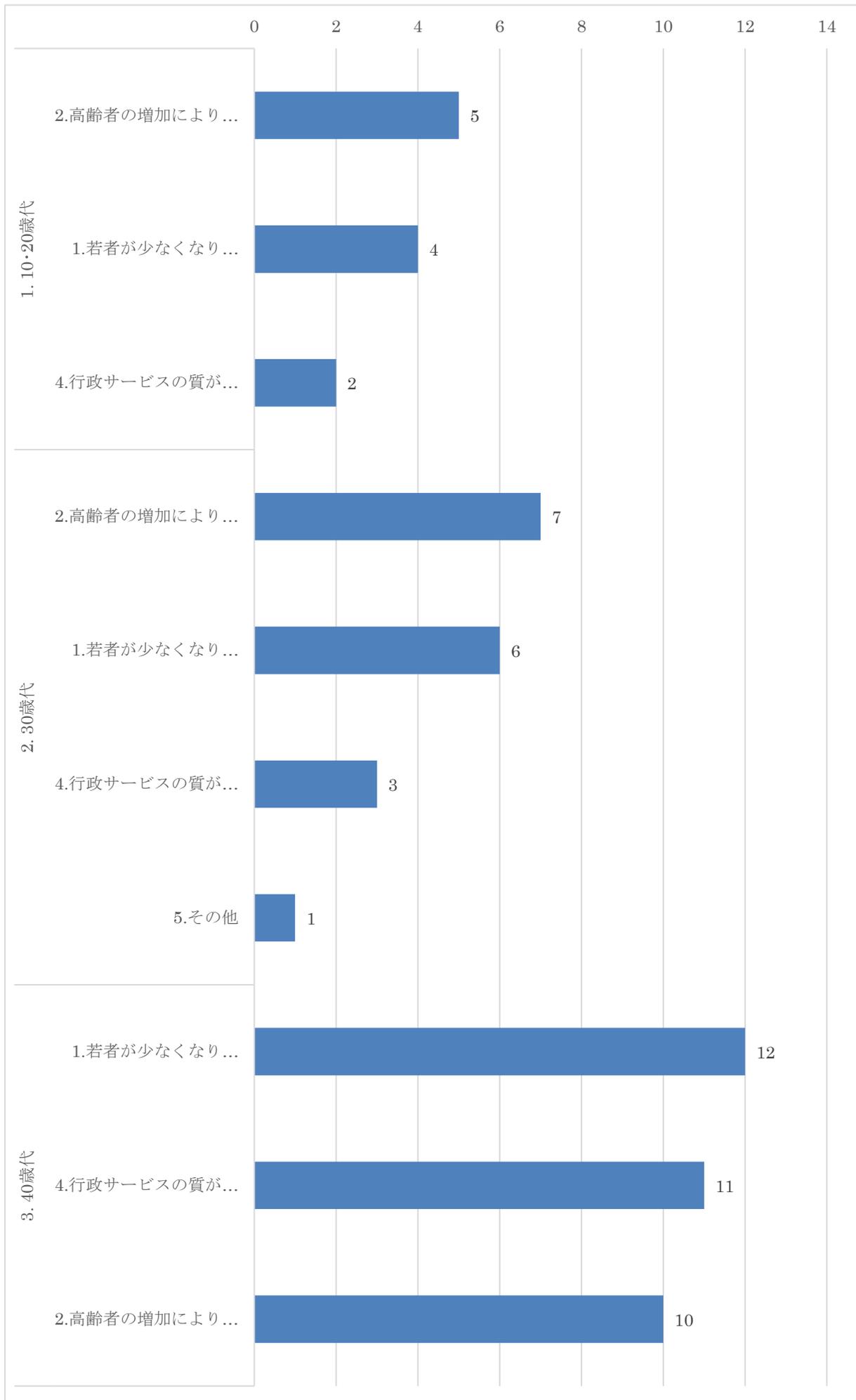
続いて、「行政サービスの質が低下するほか、住民負担が大きくなること」、「高齢者の増加により、若者世代の負担が大きくなること」がともに26%台である。「空き家などが増え、住環境が悪化すること」は8.7%である。

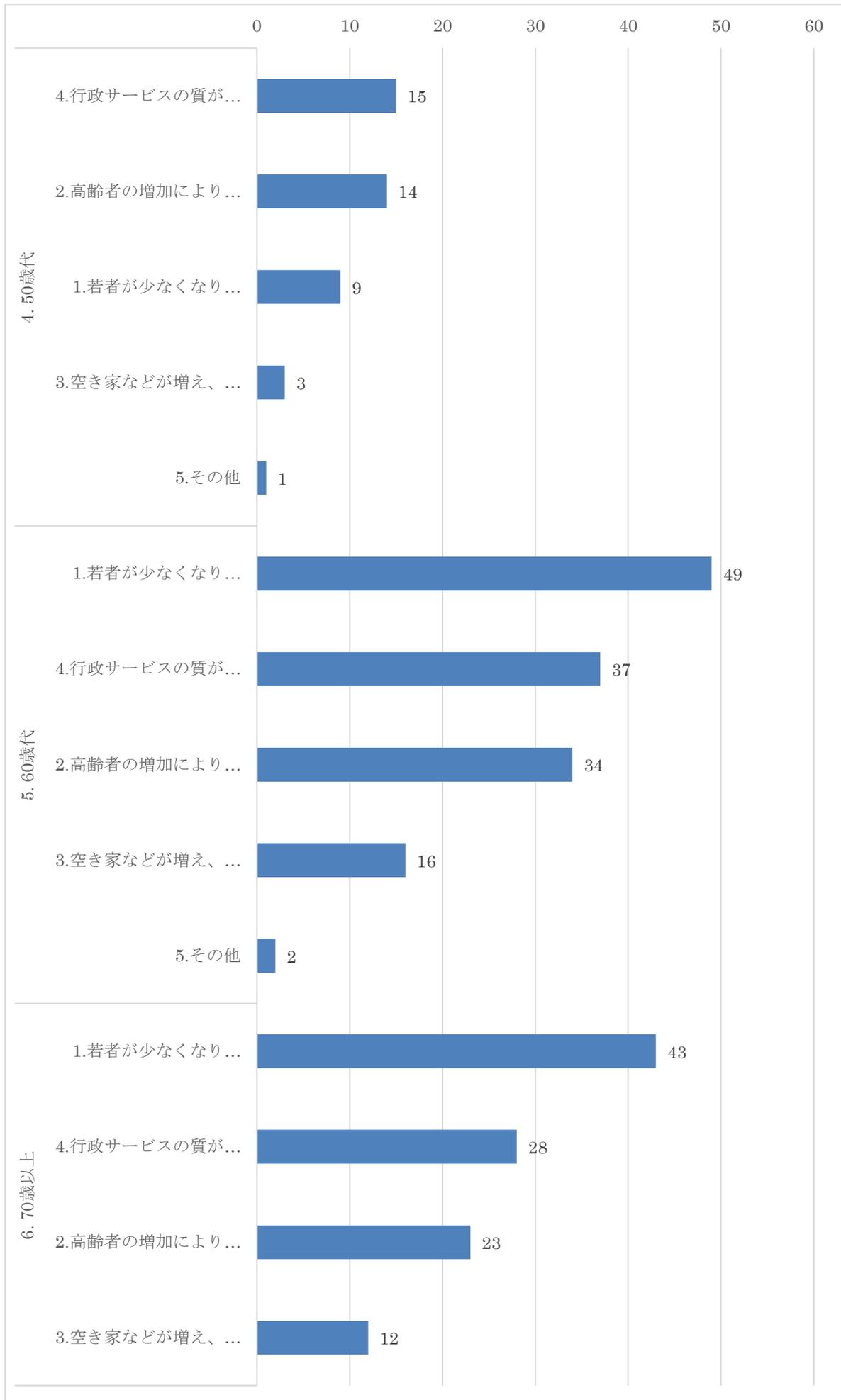


| No. | カテゴリー名                       | n   | %    |
|-----|------------------------------|-----|------|
| 1   | 若者が少なくなり、町に活気がなくなること         | 126 | 35.2 |
| 2   | 高齢者の増加により、若者世代の負担が大きくなること    | 94  | 26.3 |
| 3   | 空き家などが増え、住環境が悪化すること          | 31  | 8.7  |
| 4   | 行政サービスの質が低下するほか、住民負担が大きくなること | 96  | 26.8 |
| 5   | その他                          | 4   | 1.1  |
|     | 無回答                          | 7   | 2.0  |
|     | 全体                           | 358 |      |





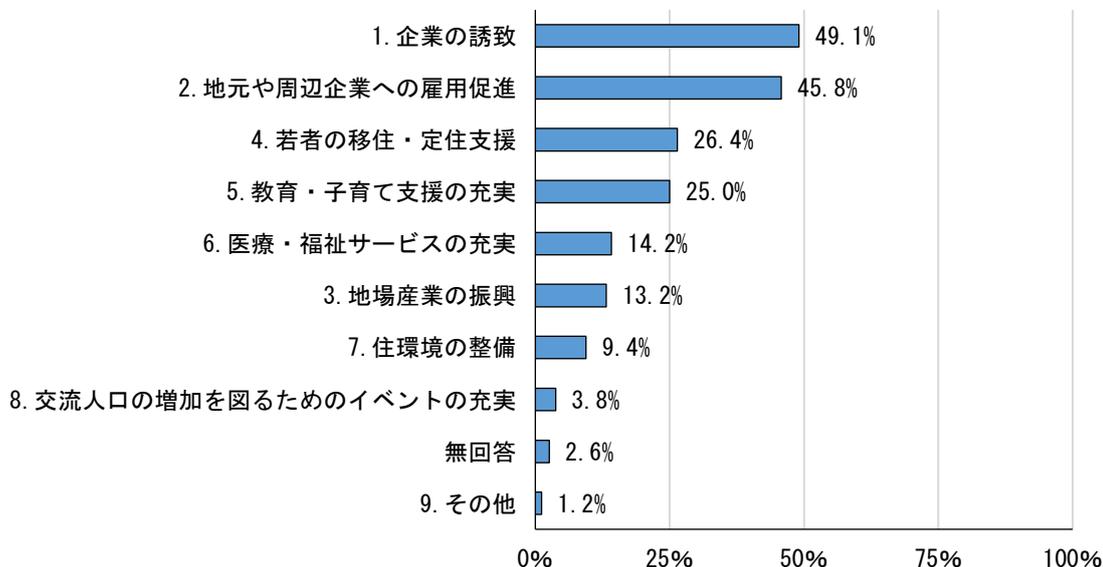




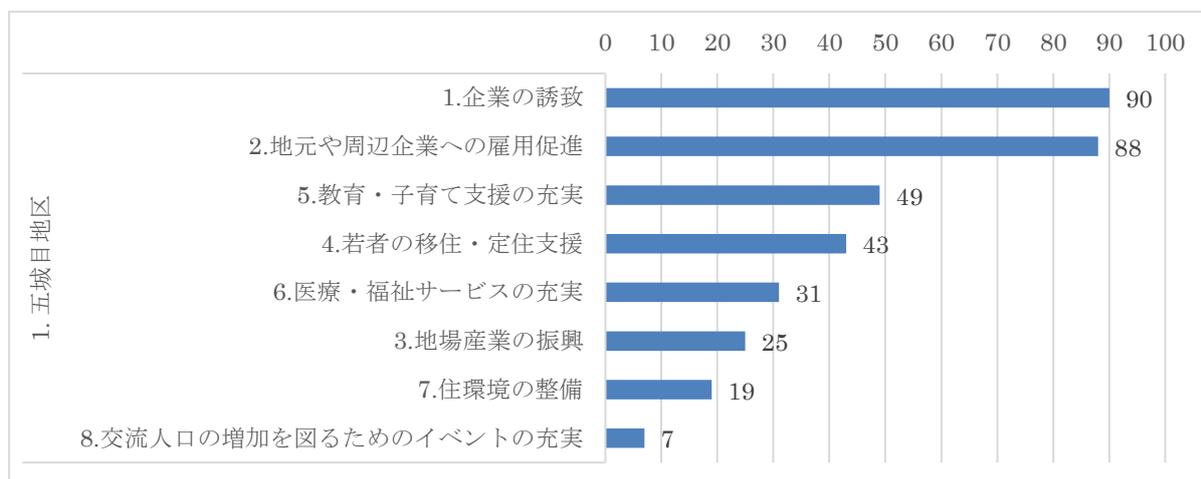
【問9】 あなたは、五城目町において、若者の減少を抑えるためにどのような施策が必要であると思いますか。【2つまでに○】

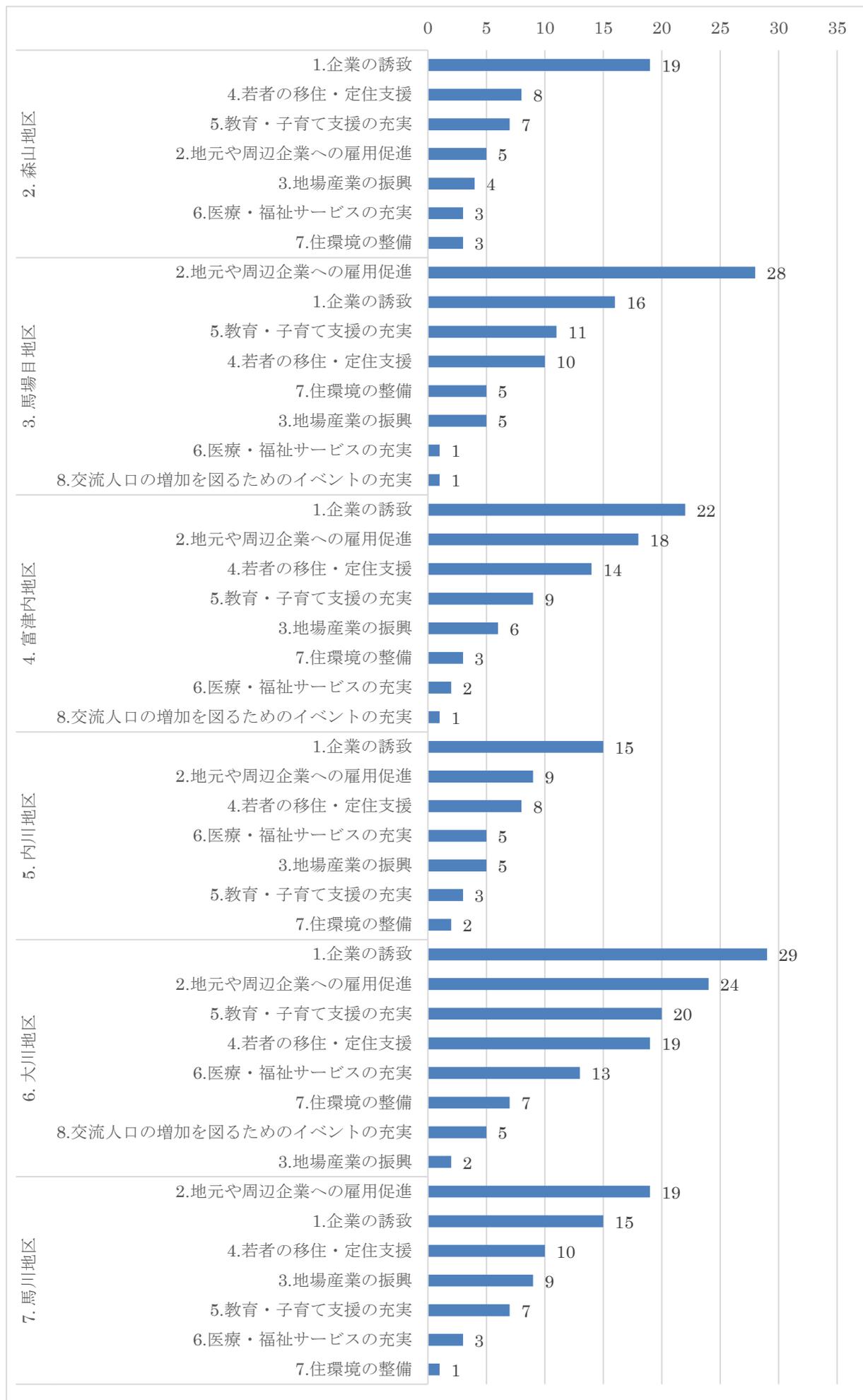
「企業の誘致」の49.1%、「地元や周辺企業への雇用促進」の45.8%がともに4割を超え、産業・雇用面の施策を求める人が多い。

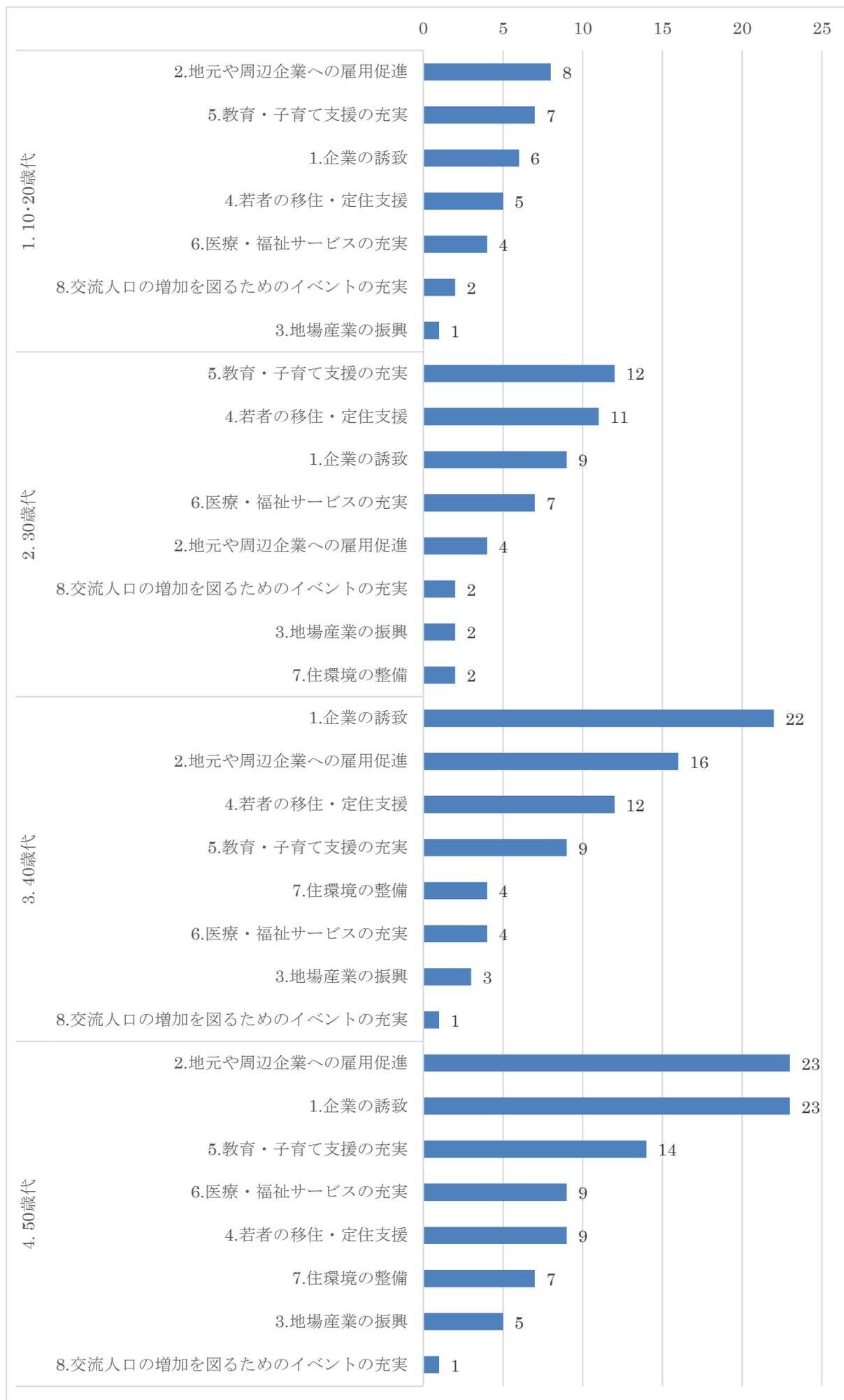
続いて「若者の移住・定住支援」が26.4%、「教育・子育て支援の充実」が25.0%、「医療・福祉サービスの充実」が14.2%、「地場産業の振興」が13.2%である。

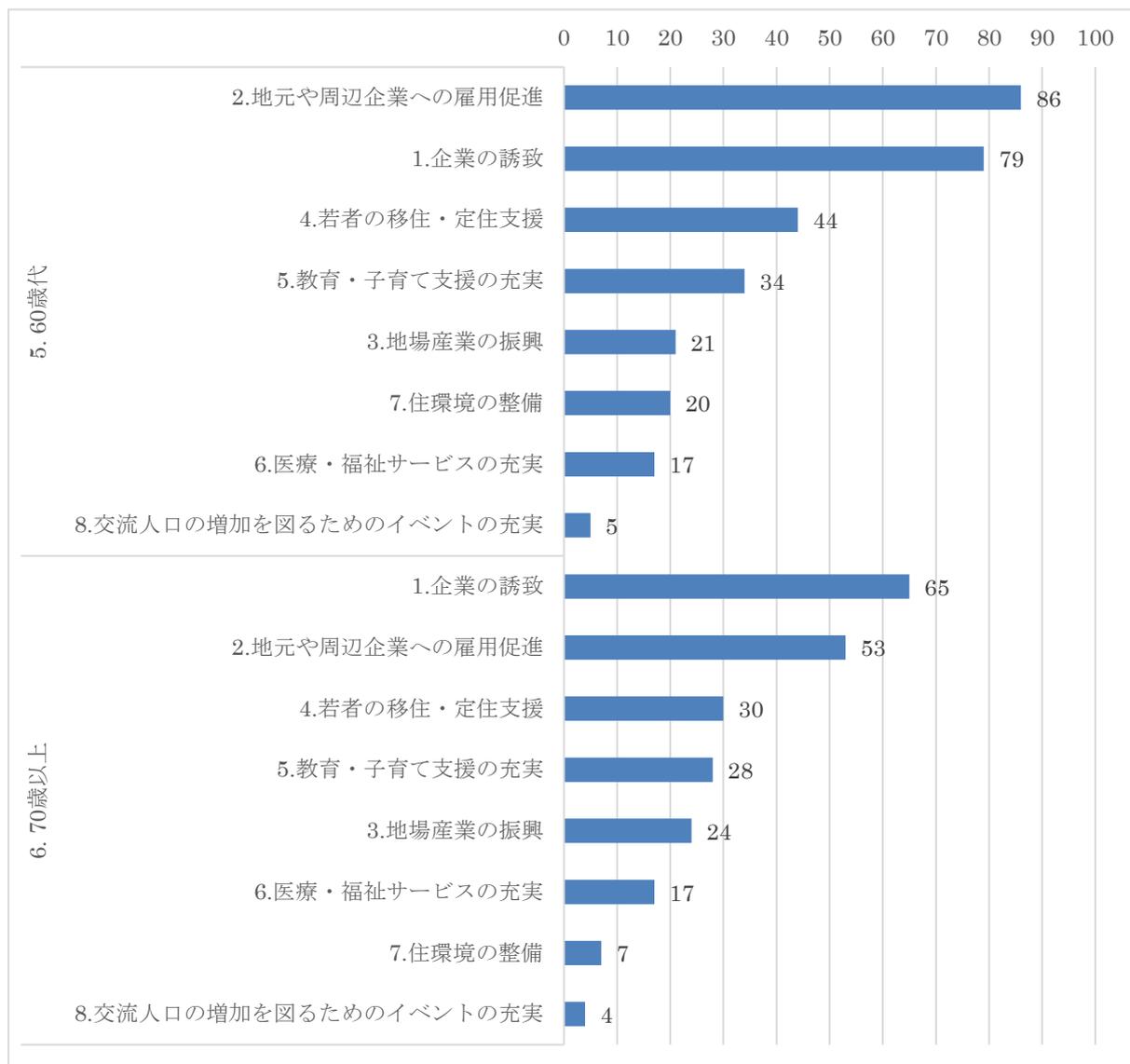


| No. | カテゴリー名               | n   | %     |
|-----|----------------------|-----|-------|
| 1   | 企業の誘致                | 208 | 49.1  |
| 2   | 地元や周辺企業への雇用促進        | 194 | 45.8  |
| 3   | 地場産業の振興              | 56  | 13.2  |
| 4   | 若者の移住・定住支援           | 112 | 26.4  |
| 5   | 教育・子育て支援の充実          | 106 | 25.0  |
| 6   | 医療・福祉サービスの充実         | 60  | 14.2  |
| 7   | 住環境の整備               | 40  | 9.4   |
| 8   | 交流人口の増加を図るためのイベントの充実 | 16  | 3.8   |
| 9   | その他                  | 5   | 1.2   |
|     | 無回答                  | 11  | 2.6   |
|     | 全体                   | 808 | 190.6 |







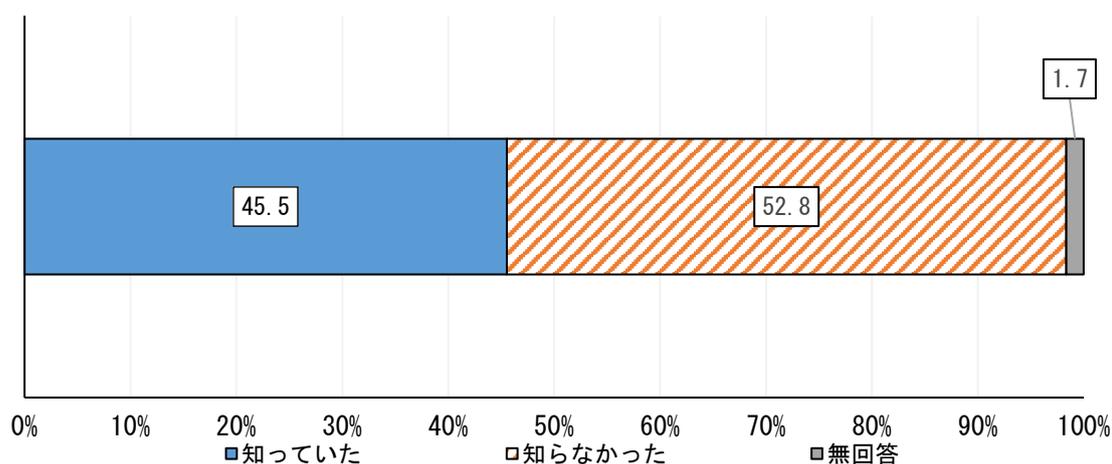


#### 4 地方創生「しごとづくり」について

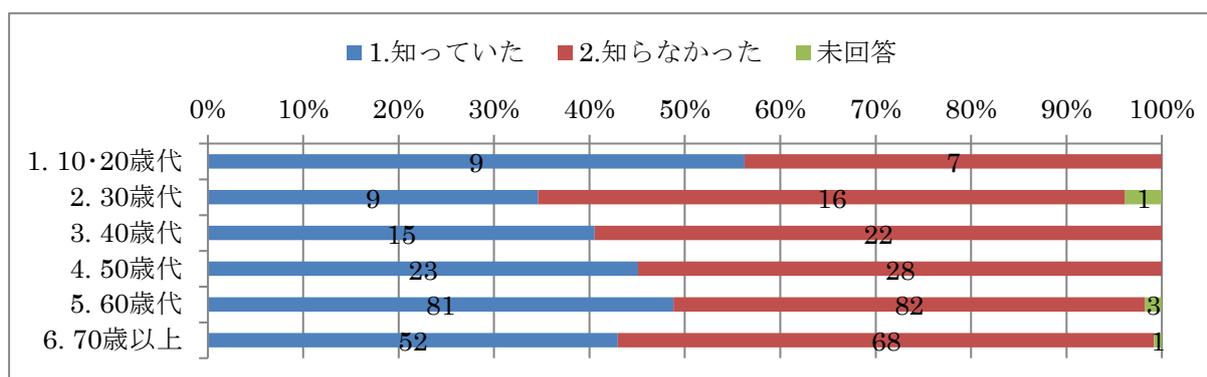
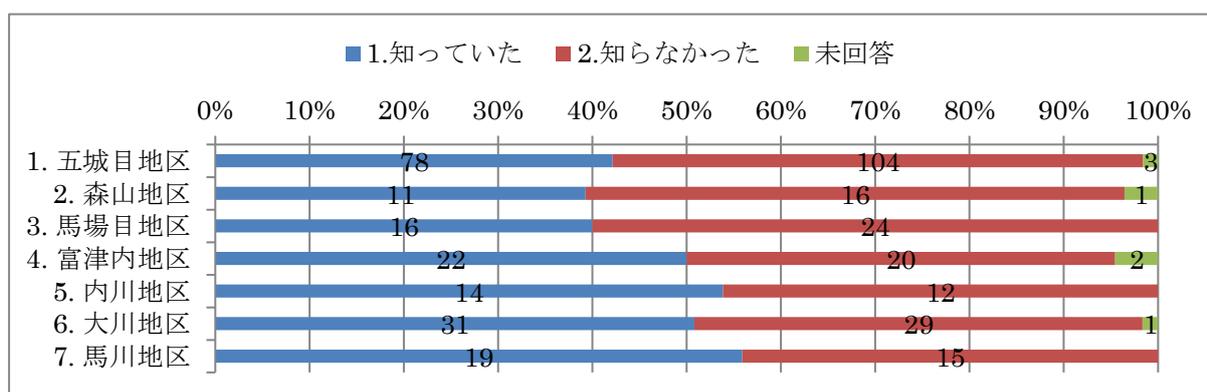
【問10】 町では、若い世代の定着を図るため、産業振興や雇用創出を促す「しごとづくり」として、町内企業に対する雇用奨励支援、商品開発や販路開拓などの支援、起業する方に対する創業準備などの支援を行っています。

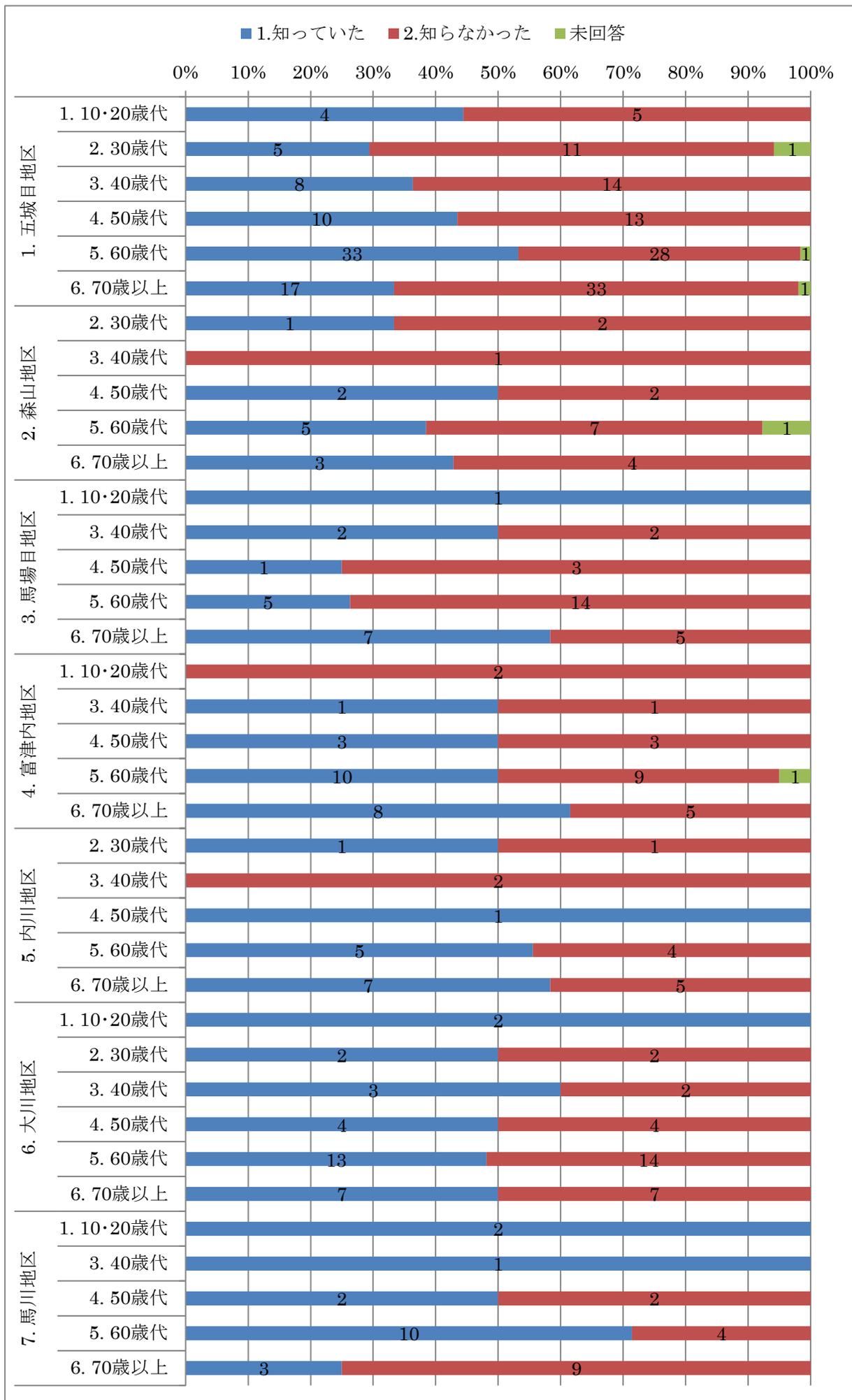
あなたは、町がこのような取り組みを行っていることを知っていましたか。

「知っていた」が45.5%と4割を超えるものの、「知らなかった」が52.8%であり、約半数の人はこの取り組みについて知らなかった。



| No. | カテゴリ名  | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 知っていた  | 193 | 45.5  |
| 2   | 知らなかった | 224 | 52.8  |
|     | 無回答    | 7   | 1.7   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |





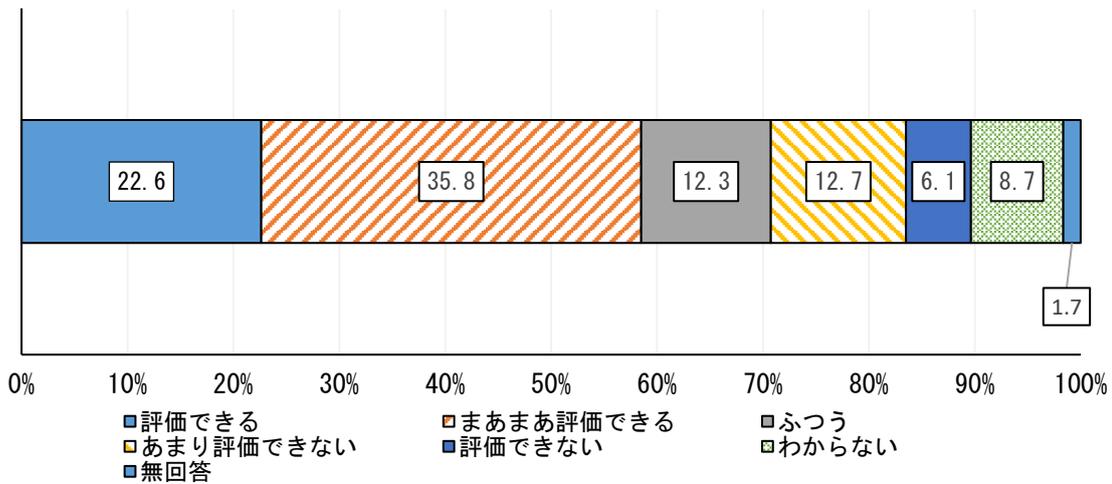
【問 1 1】 町では、町内企業に対して、新たに社員を雇用した場合に、1 人に対して30万円などの奨励金の交付を行っています。

平成27年度から平成30年度までの4年間で、延べ12社に対して奨励金を交付し、うち5社は農林業関係の事業者となっています。

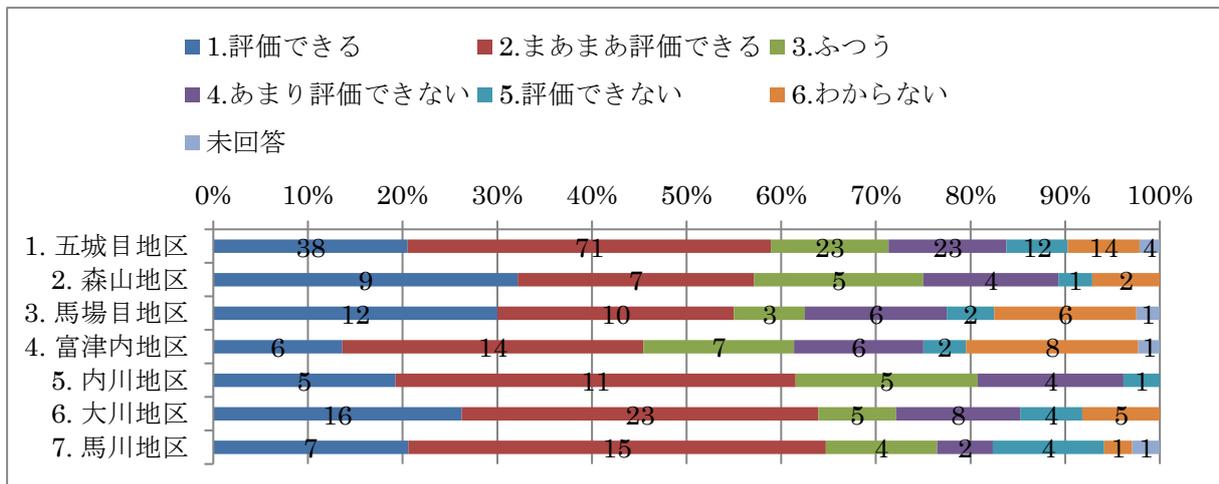
これにより、新たに25人の雇用が確保されています。

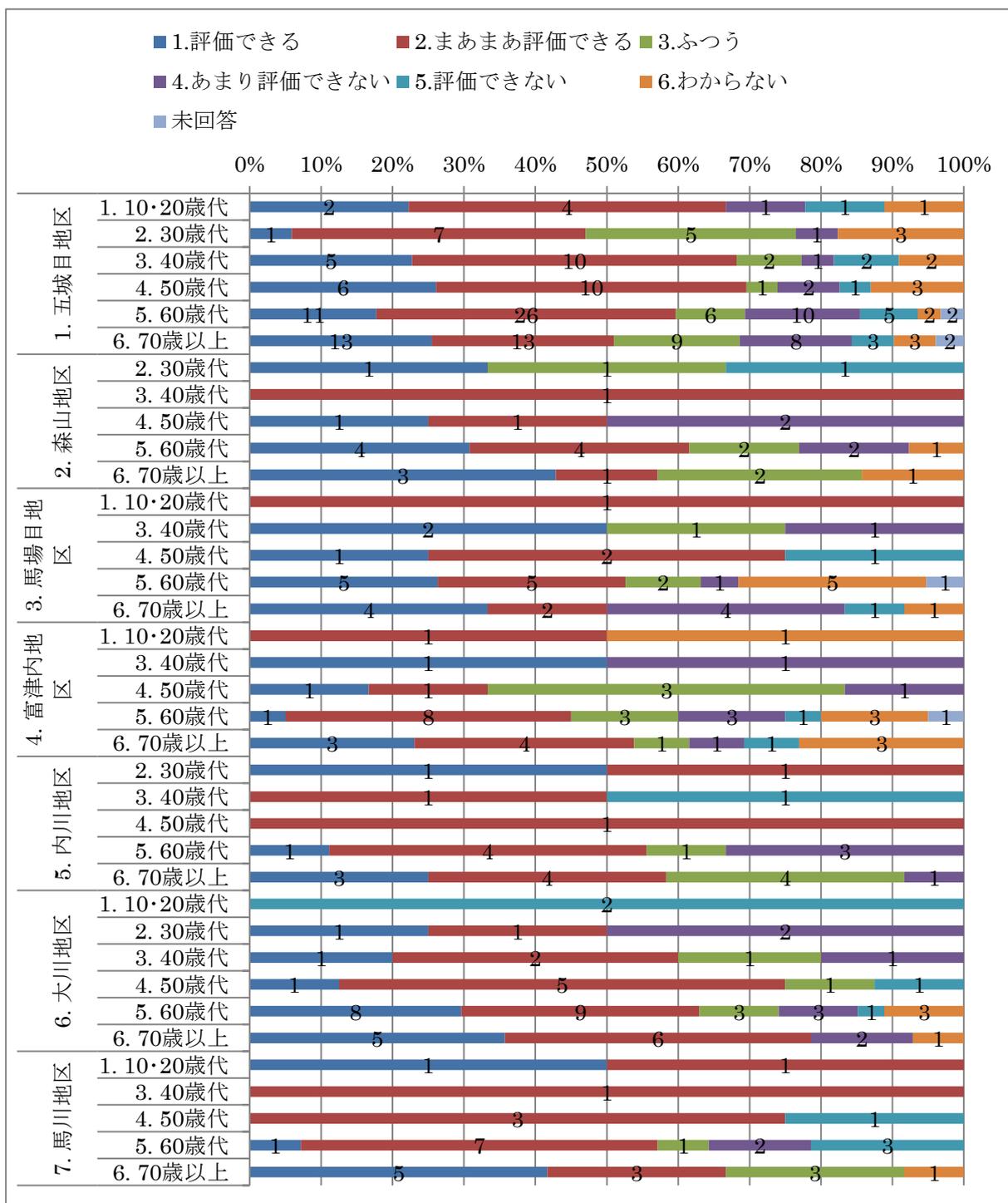
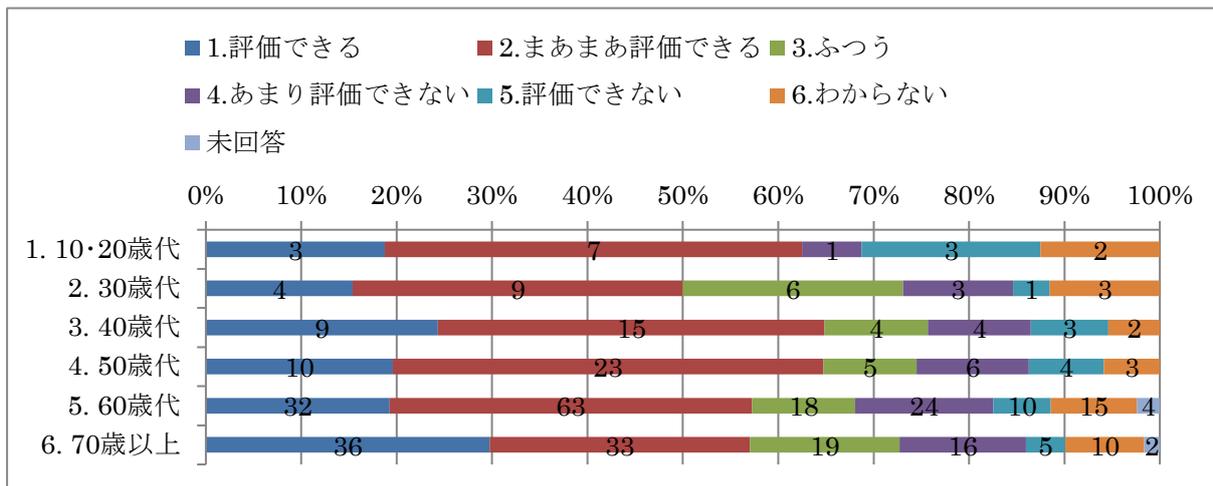
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計が58.4%と6割近い。一方、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計は18.8%であり、2割近くの人は評価が低い。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 96  | 22.6  |
| 2   | まあまあ評価できる | 152 | 35.8  |
| 3   | ふつう       | 52  | 12.3  |
| 4   | あまり評価できない | 54  | 12.7  |
| 5   | 評価できない    | 26  | 6.1   |
| 6   | わからない     | 37  | 8.7   |
|     | 無回答       | 7   | 1.7   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |



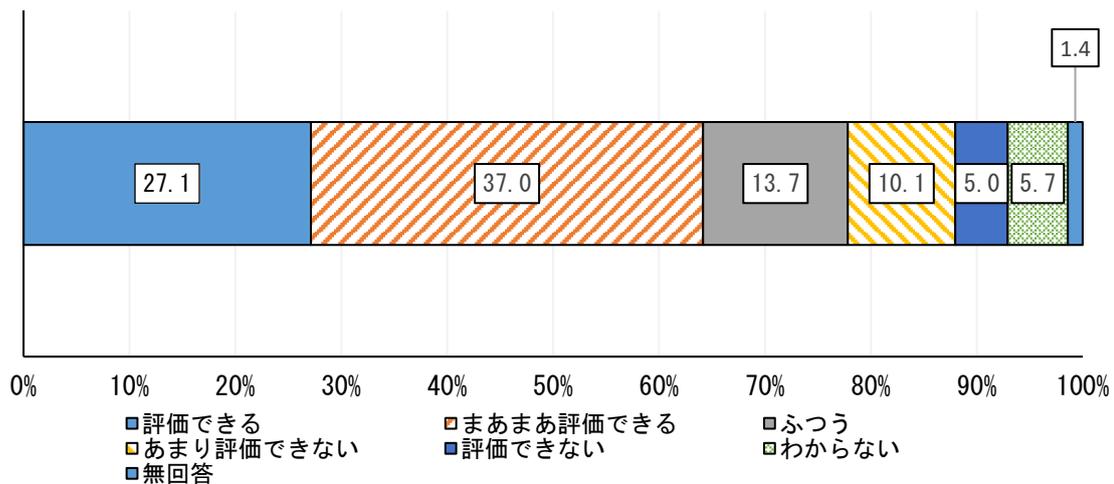


【問 1 2】 町では、町内企業に対して、商品開発や販路拡大、既存店舗改修などの経費の一部に対する支援を行っています。平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間で、この支援 制度を活用した企業は 15 件となっています。

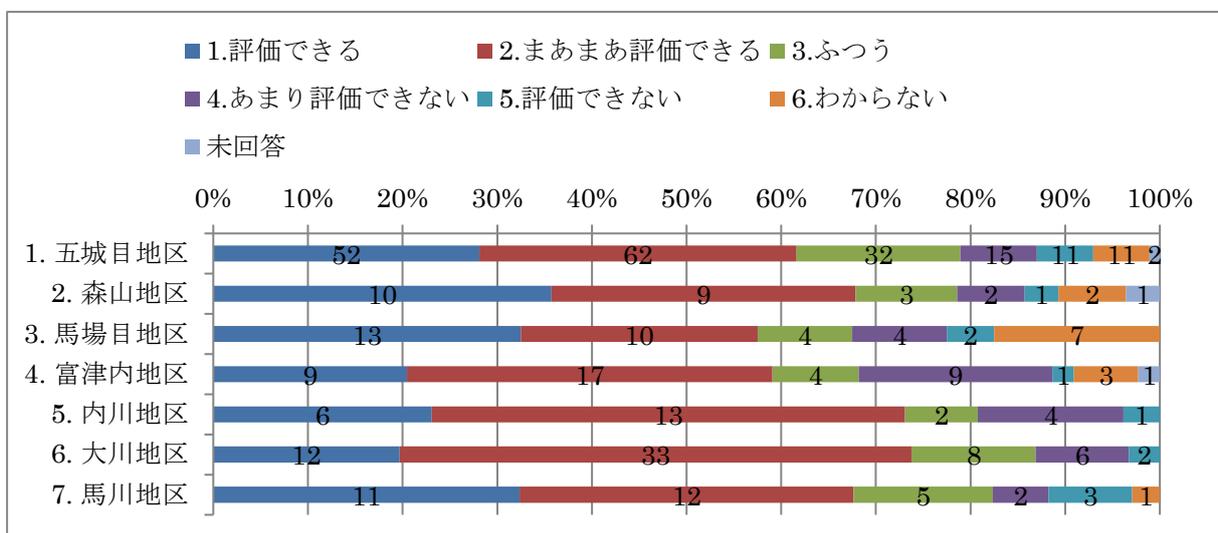
これにより、新たにキイチゴを加工したお菓子やビールなどがつくられ、地場産業の 振興が図られています。

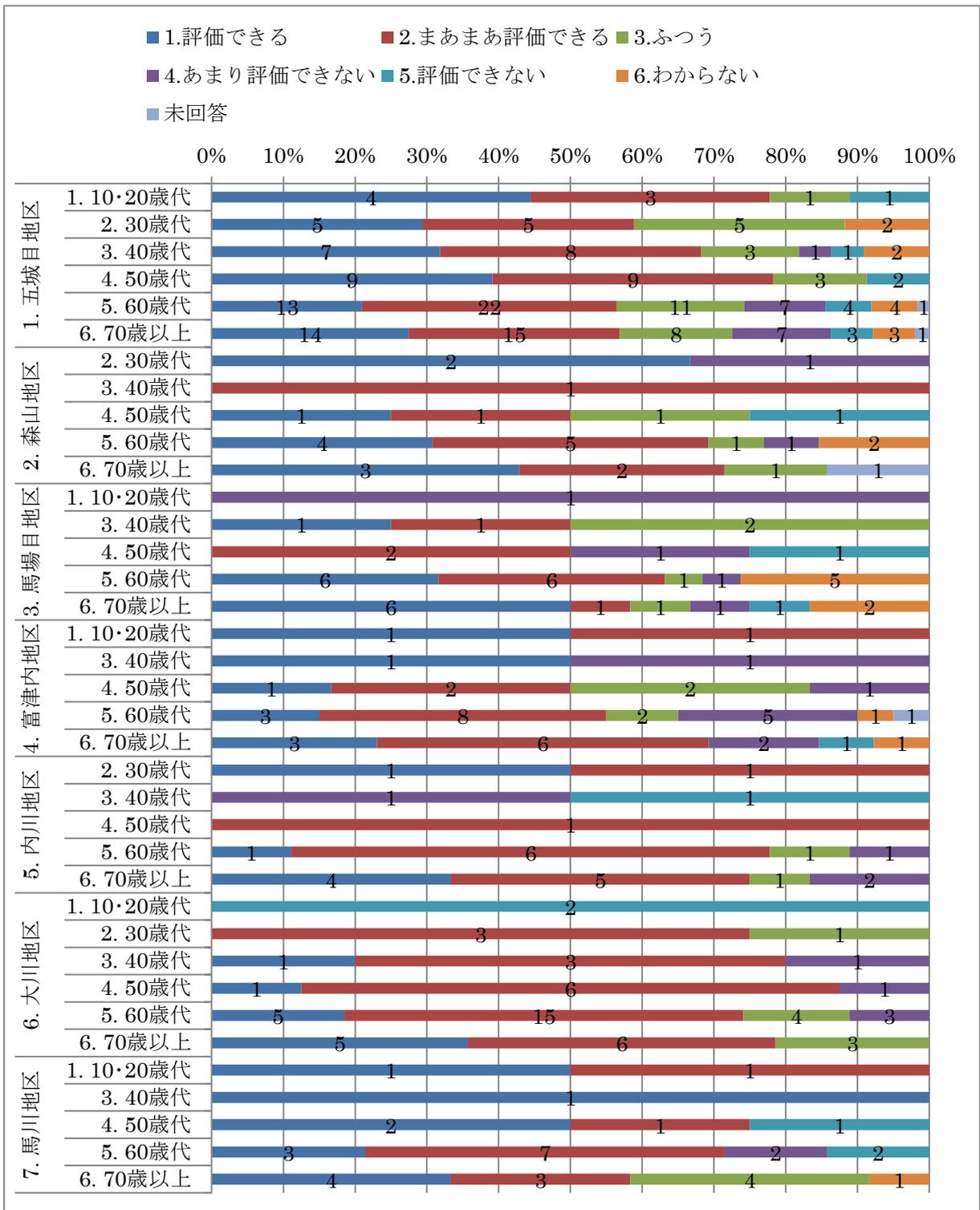
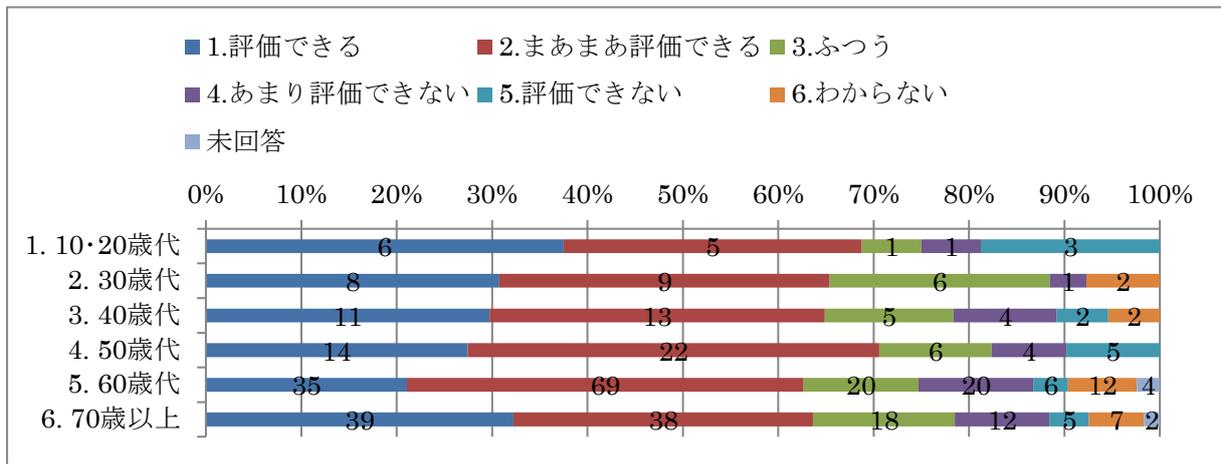
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計は 64.1%と 6 割を超える。一方、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計は 15.1%である。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 115 | 27.1  |
| 2   | まあまあ評価できる | 157 | 37.0  |
| 3   | ふつう       | 58  | 13.7  |
| 4   | あまり評価できない | 43  | 10.1  |
| 5   | 評価できない    | 21  | 5.0   |
| 6   | わからない     | 24  | 5.7   |
|     | 無回答       | 6   | 1.4   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |



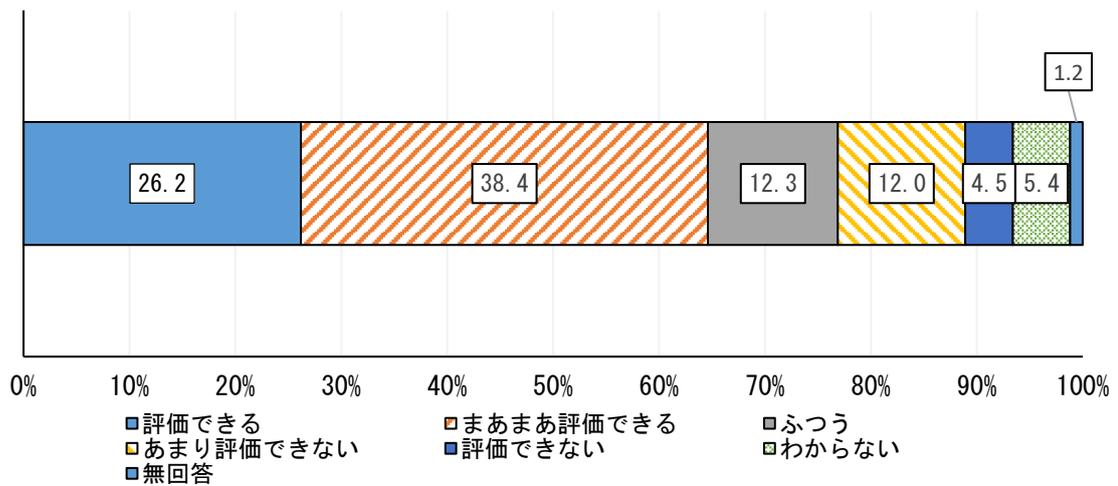


【問13】 町では、起業する方に対して、事業活動を行うための建物や備品の整備などの経費の一部に対する支援を行っています。平成27年度から平成30年度までの4年間で、この支援制度を活用した起業者は7件で、うち5件は町外から移住して起業された方となっています。

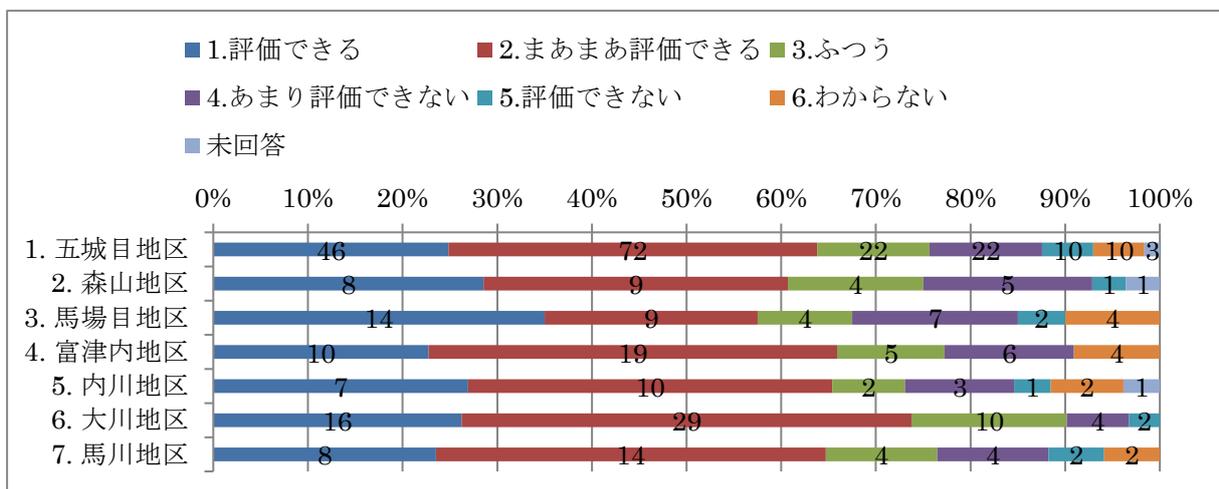
これにより、町中心市街地に新たにカフェがオープンするなど、事業活動の活性化が図られています。

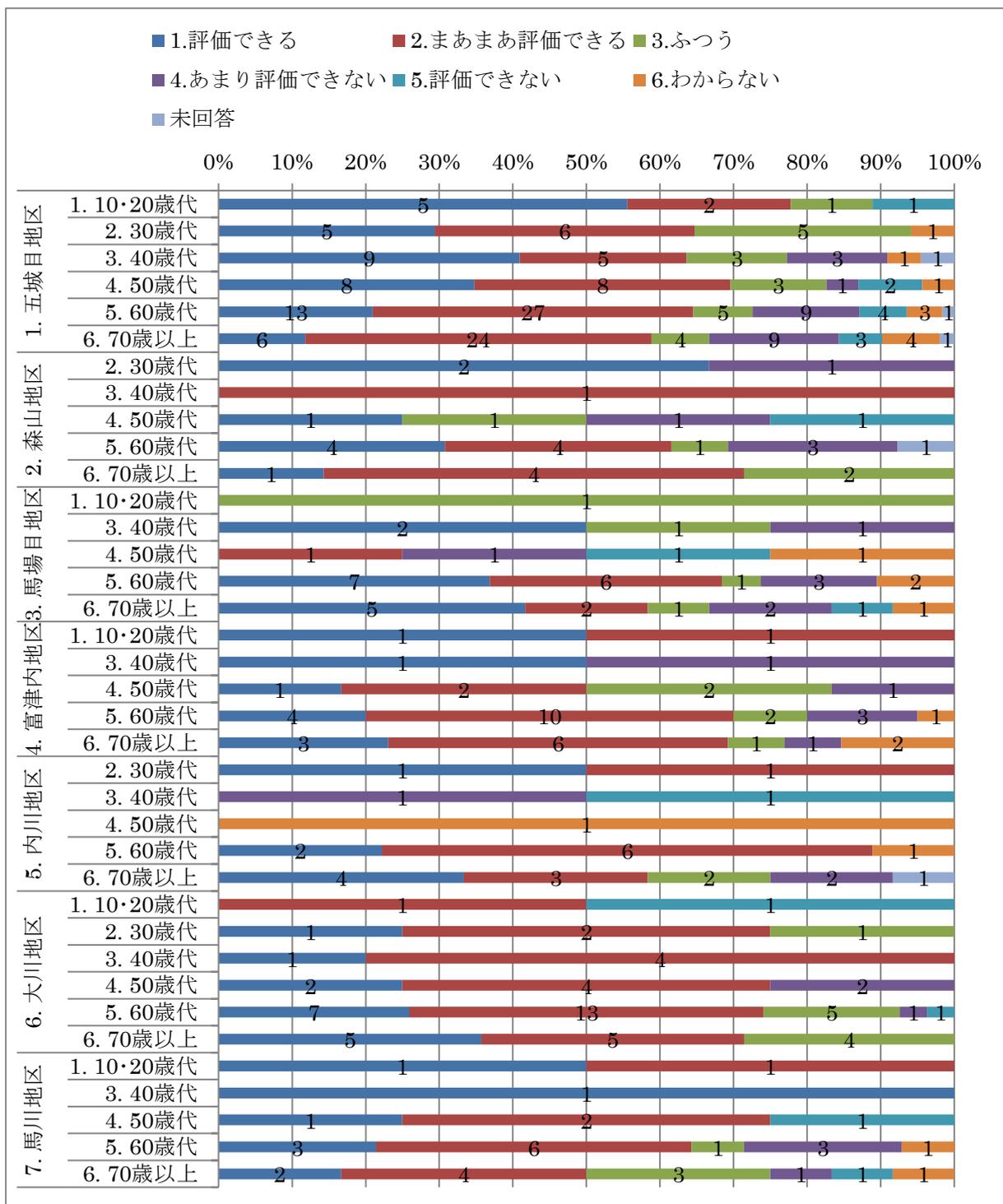
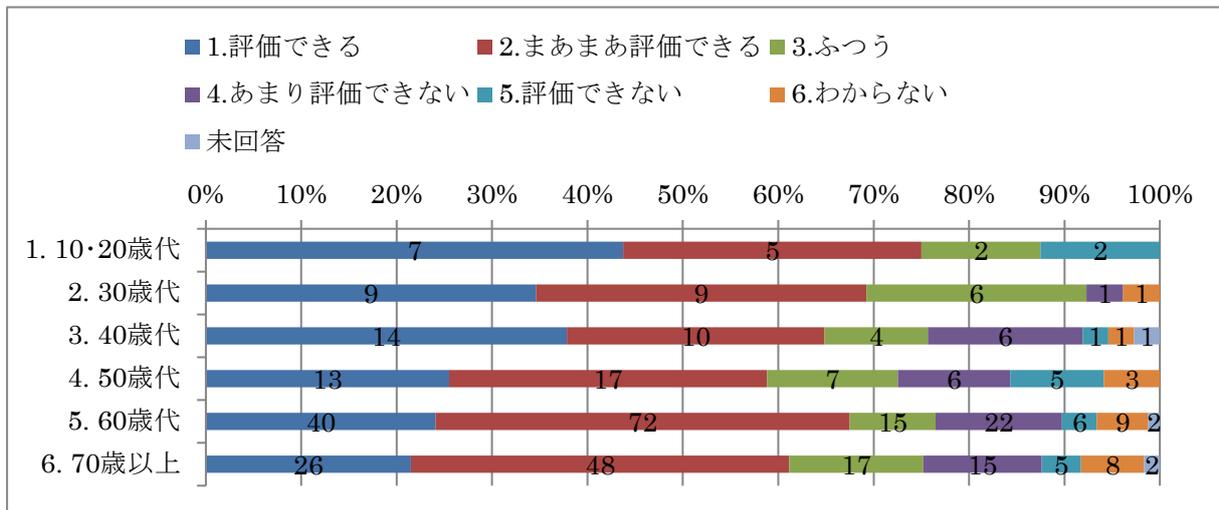
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計は、64.6%と6割を超える。「評価できない」、「あまり評価できない」の合計は16.5%である。



| No. | カテゴリ名     | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 111 | 26.2  |
| 2   | まあまあ評価できる | 163 | 38.4  |
| 3   | ふつう       | 52  | 12.3  |
| 4   | あまり評価できない | 51  | 12.0  |
| 5   | 評価できない    | 19  | 4.5   |
| 6   | わからない     | 23  | 5.4   |
|     | 無回答       | 5   | 1.2   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |





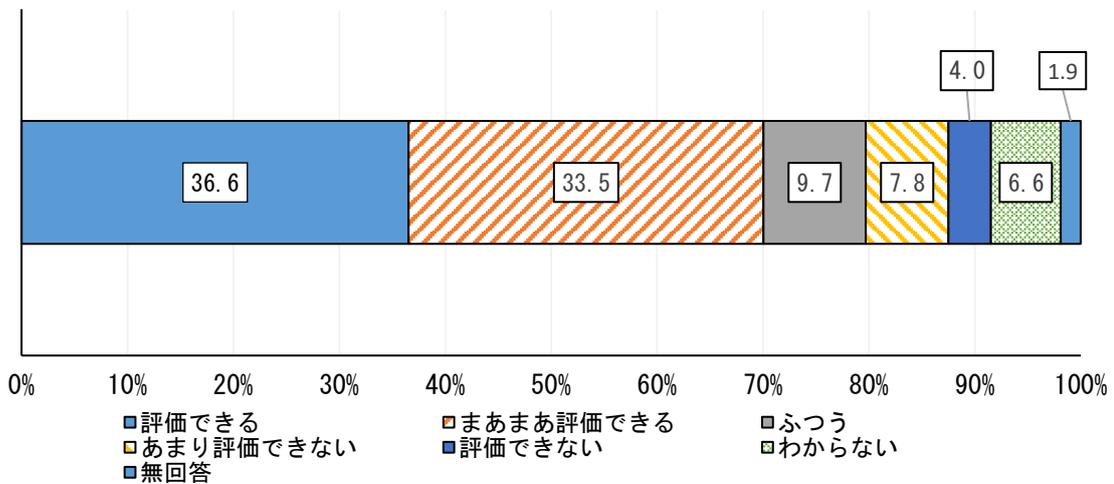
【問14】 町では、起業を目指してチャレンジする方を支援するとともに、町内での働く場を増やすため、平成25年度に廃校となった馬場目小学校を活用し、レンタルオフィスとして「地域活性化センター」を開設しています。

これまで、レンタルオフィスに入居した企業は18社となっています。

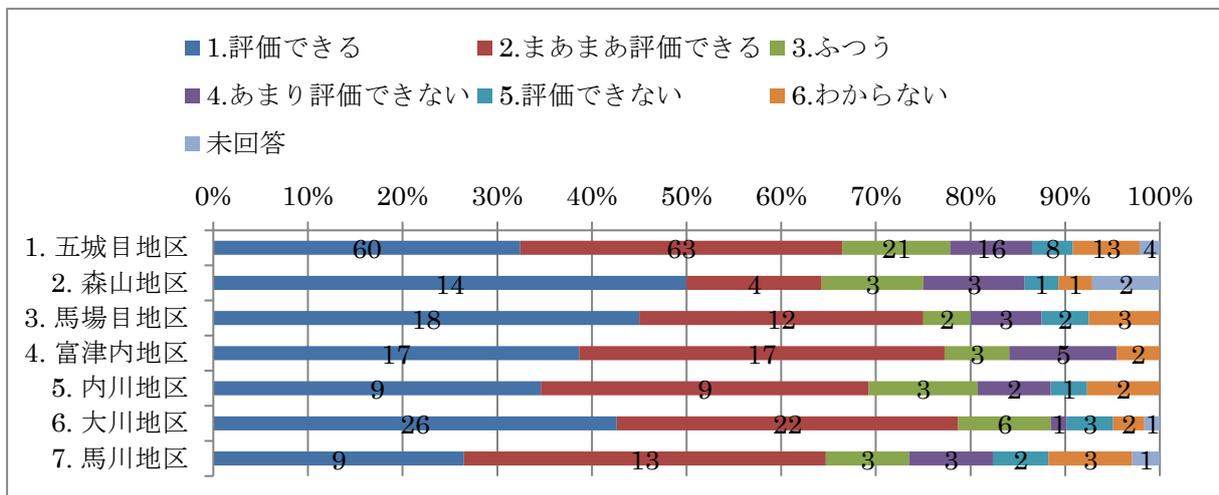
これにより、起業や移住希望者の視察も多く、年間5,000人を超える来館があり、起業活動などを行うための拠点となっています。

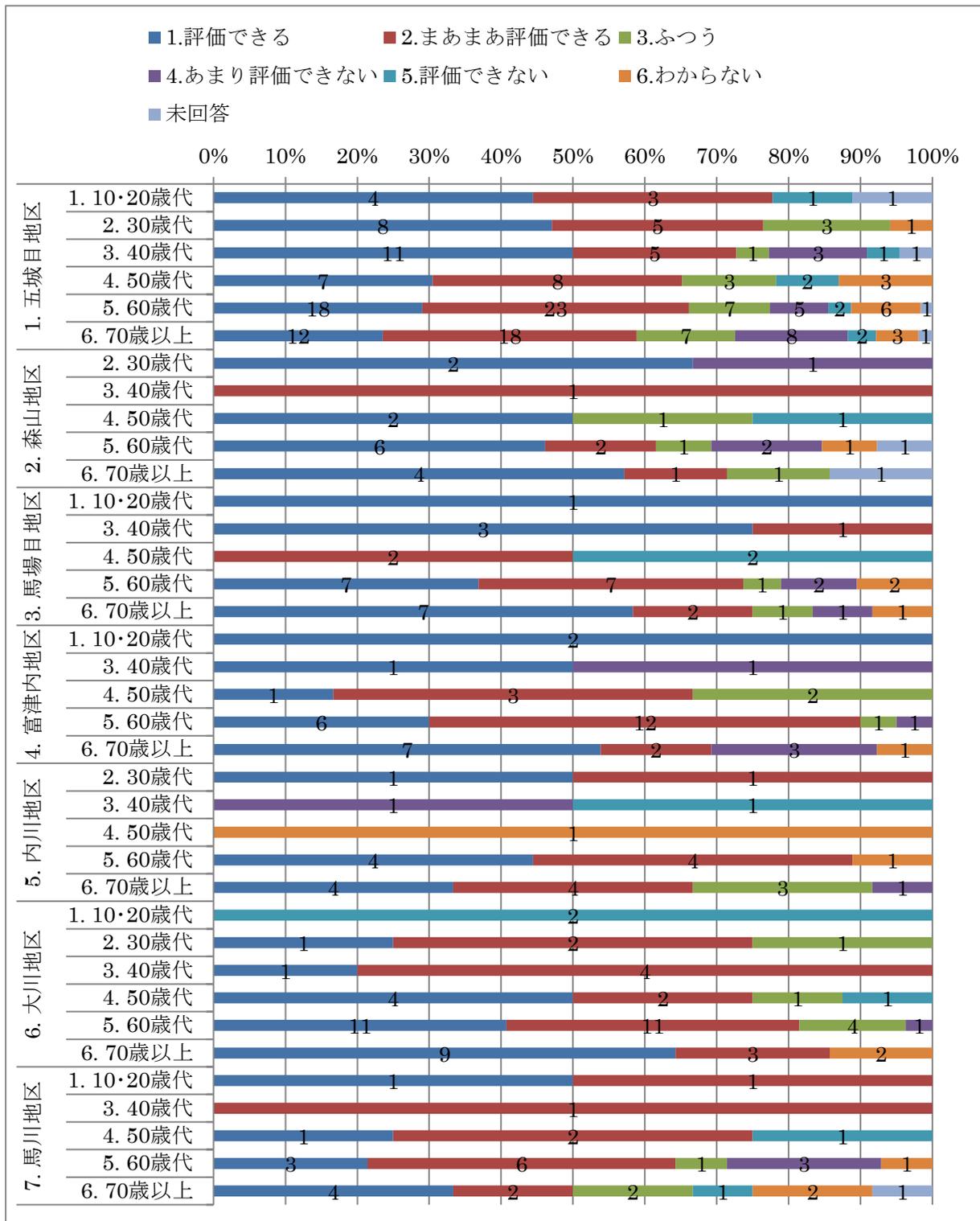
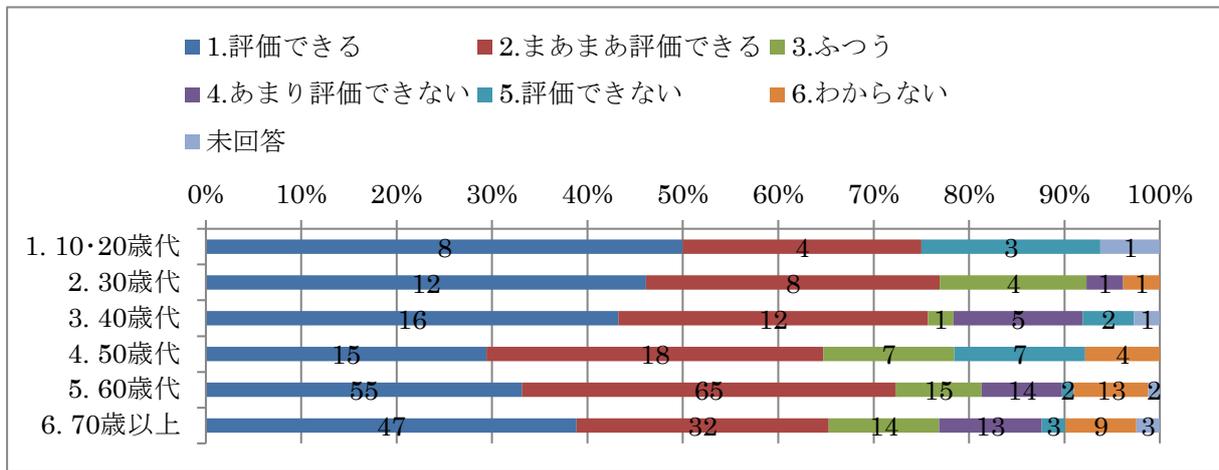
あなたは、地域活性化支援センターに関する町の取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計が70.1%と約7割、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計が11.8%である。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 155 | 36.6  |
| 2   | まあまあ評価できる | 142 | 33.5  |
| 3   | ふつう       | 41  | 9.7   |
| 4   | あまり評価できない | 33  | 7.8   |
| 5   | 評価できない    | 17  | 4.0   |
| 6   | わからない     | 28  | 6.6   |
|     | 無回答       | 8   | 1.9   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |

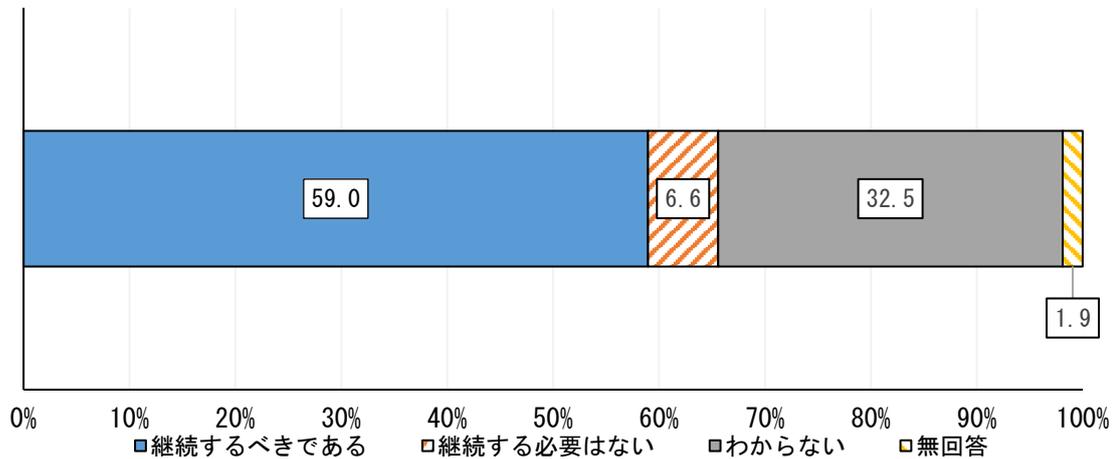




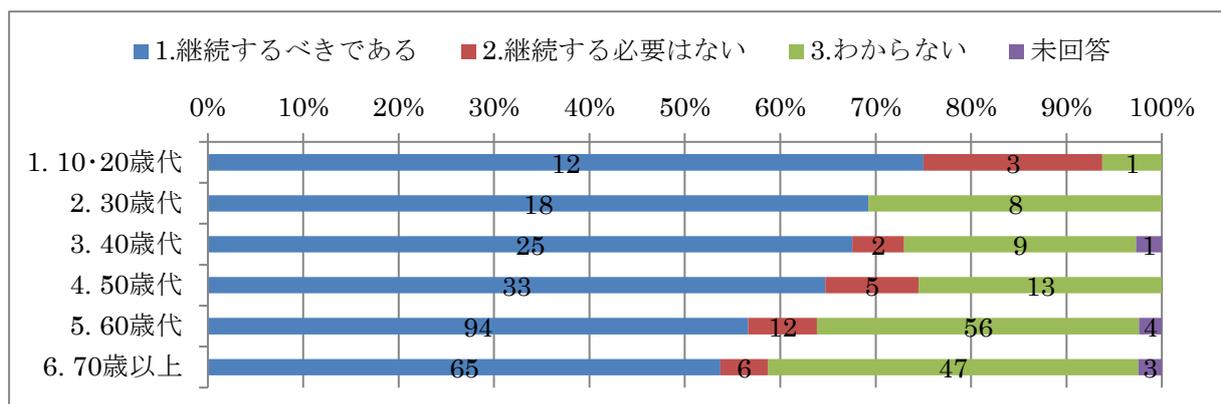
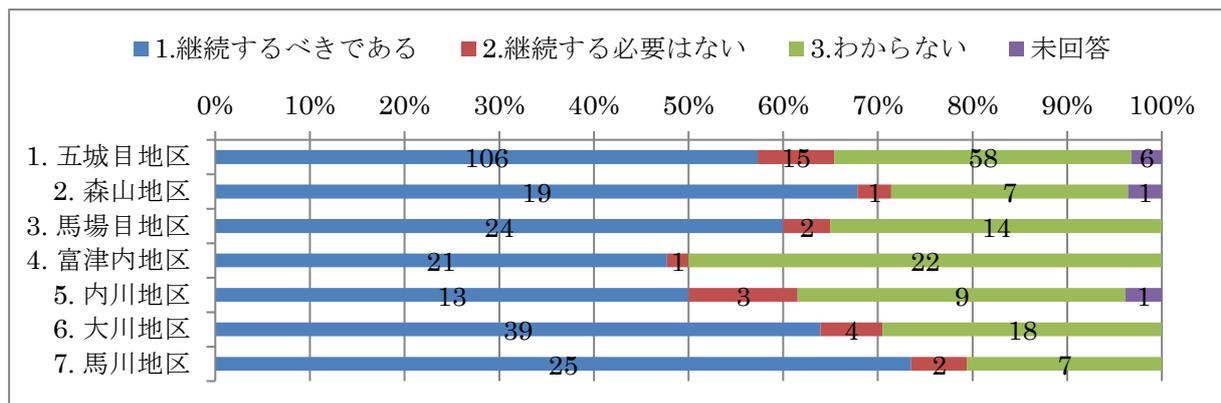
【問15】 町では、【問11】から【問14】にありますように、町内における働く場や新たな仕事を増やすことを目的に、町内企業や起業を目指す方に対して様々な支援を行ってきました。

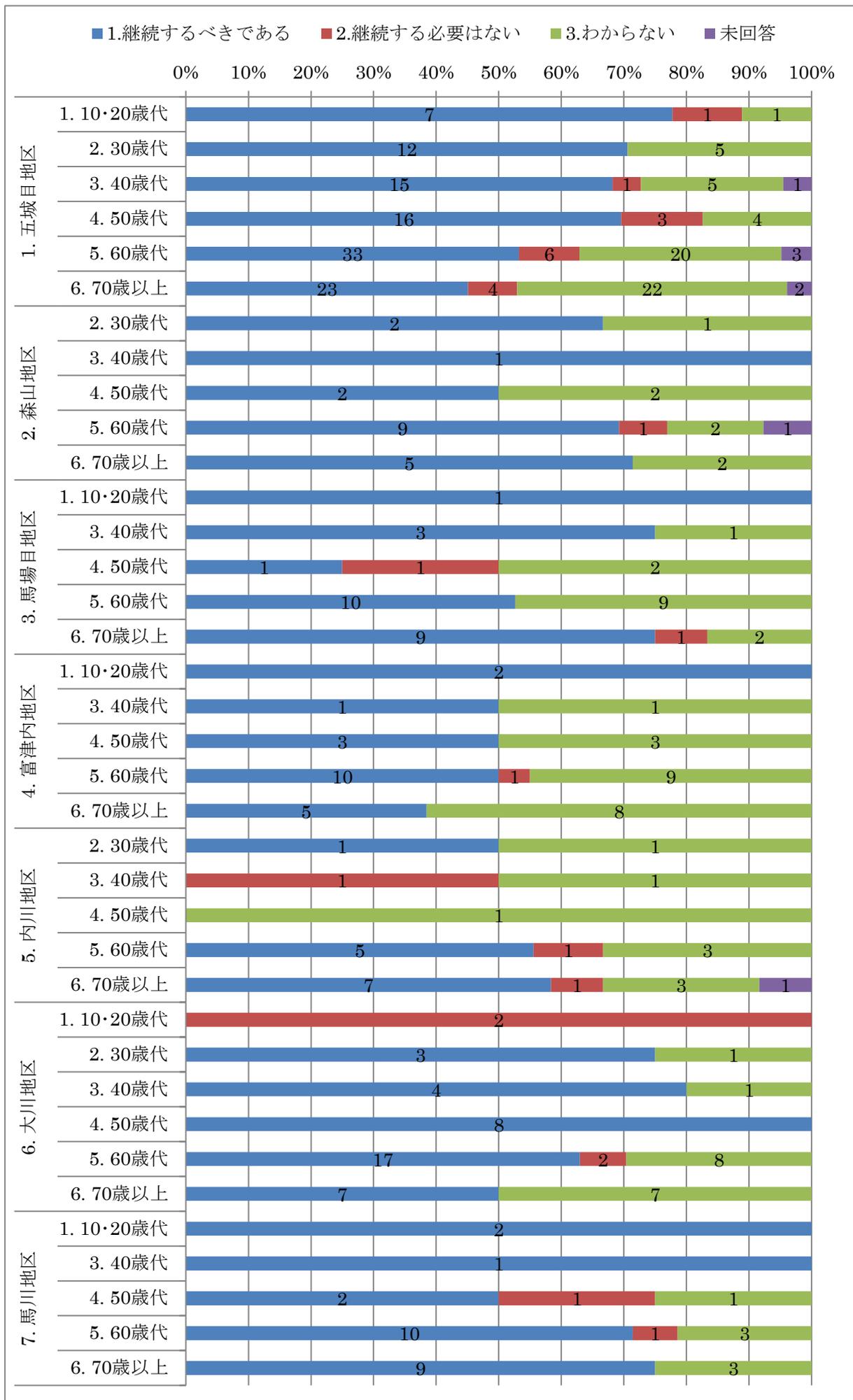
あなたは、これらの支援について、今後どのようにするべきだと思いますか。

「継続するべきである」が59.0%、「継続する必要はない」が6.6%であり、約6割の人が継続を望んでいる。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 継続するべきである | 250 | 59.0  |
| 2   | 継続する必要はない | 28  | 6.6   |
| 3   | わからない     | 138 | 32.5  |
|     | 無回答       | 8   | 1.9   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |



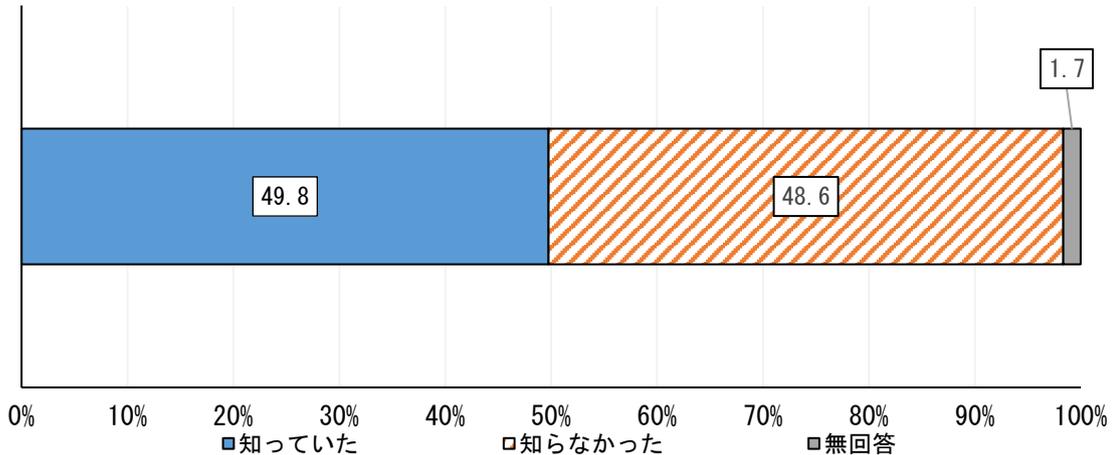


## 5 地方創生 「移住・定住対策」について

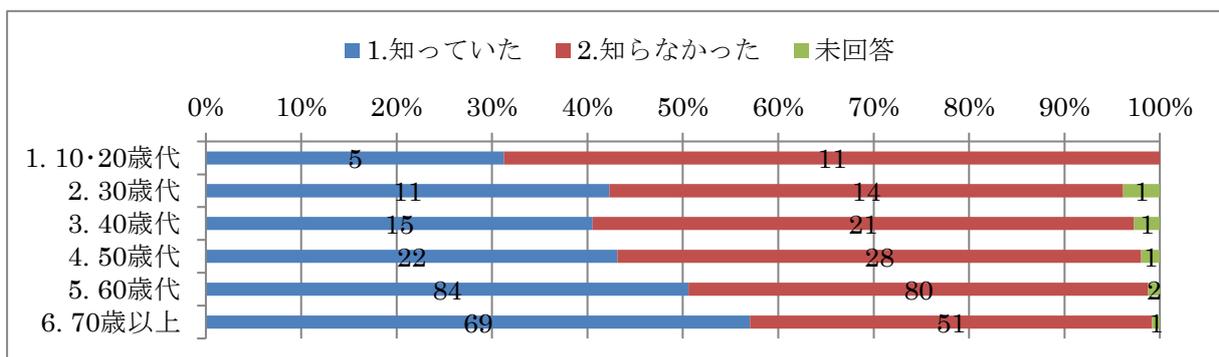
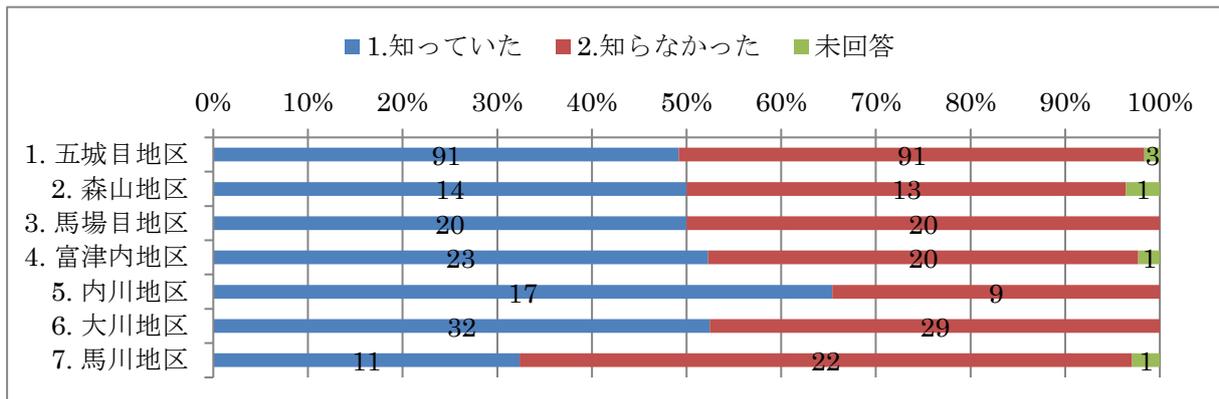
【問17】 町では、町外からの移住の促進を図るため、町出身者のUターンの促進など「移住・定住対策」として、首都圏において、町出身の若者などを呼び込むためのイベント開催や情報発信を行い、さらには、移住者の住居となる空き家を活用したイベントを行っています。

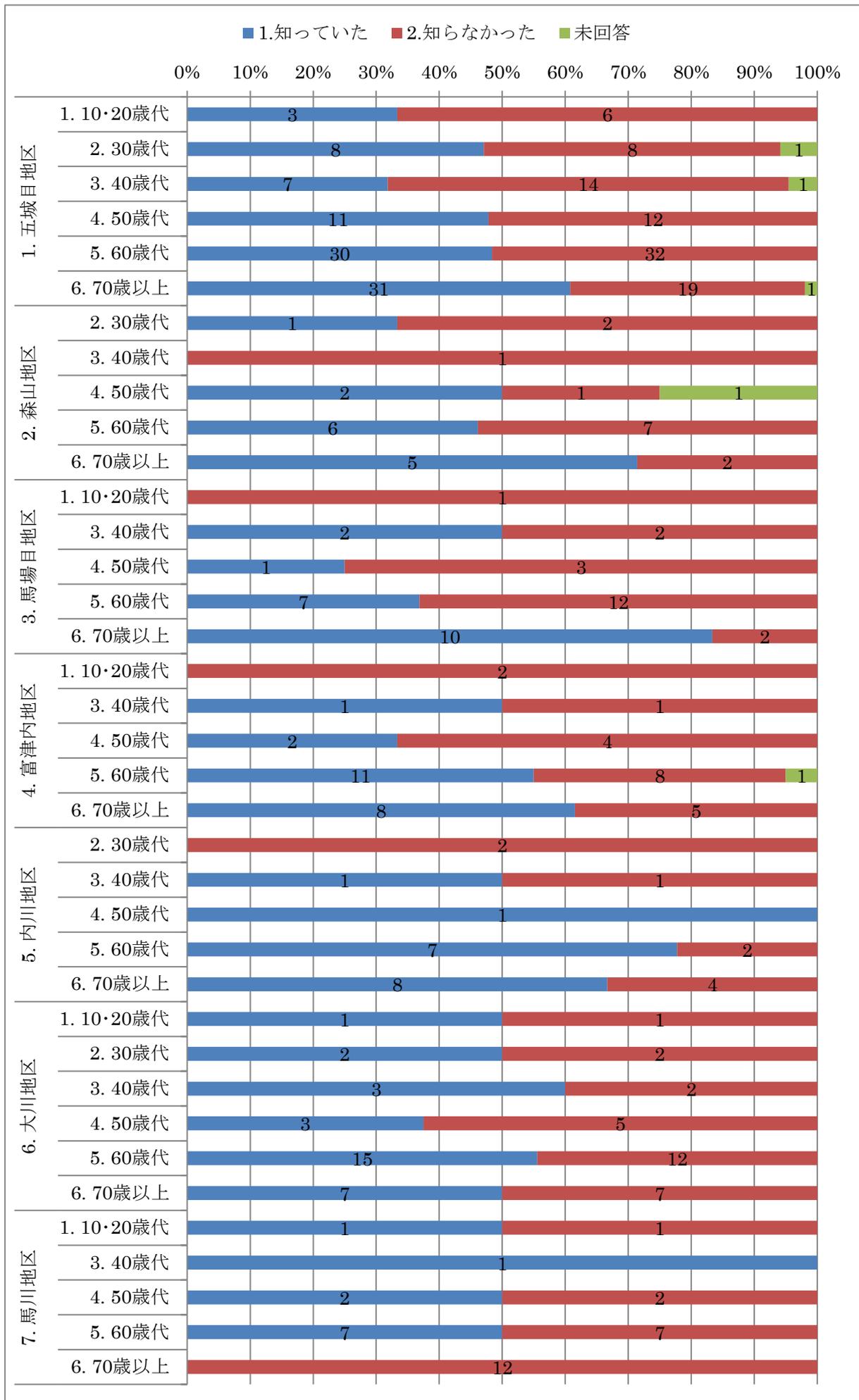
あなたは、町がこのような取り組みを行っていることを知っていましたか。

「知っていた」が49.8%、「知らなかった」が48.6%であり、知っている人と知らなかった人がほぼ半々である。



| No. | カテゴリー名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 知っていた  | 211 | 49.8  |
| 2   | 知らなかった | 206 | 48.6  |
|     | 無回答    | 7   | 1.7   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |





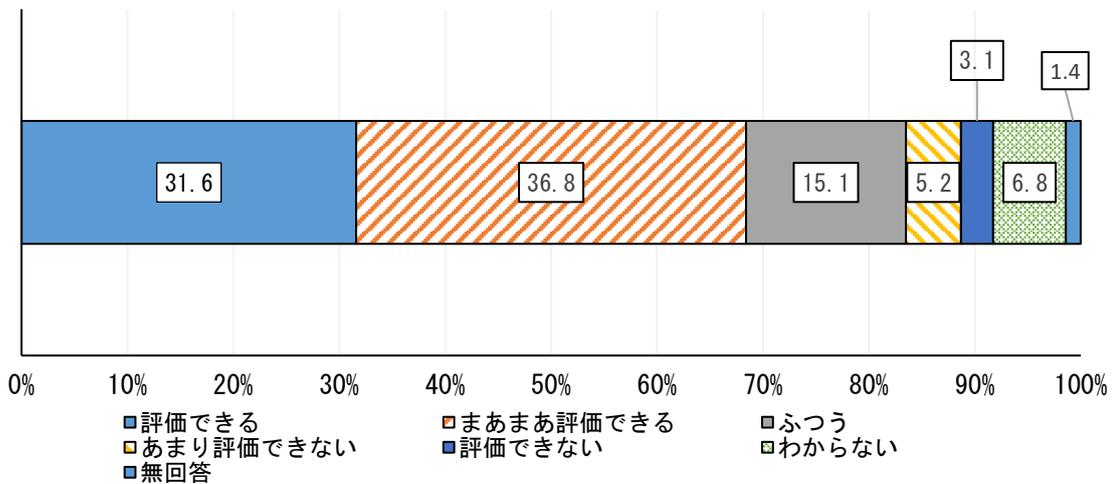
【問18】 町では、首都圏において大学生から40歳代までの若い世代を対象にイベントを開催し、五城目町出身者や関係者が集うコミュニティをつくり、情報提供や交流を重ねることで、Uターン促進を図っています。

平成27年度から平成30年度までの4年間で、首都圏イベントを7回実施し、参加者は延べ193人となっています。

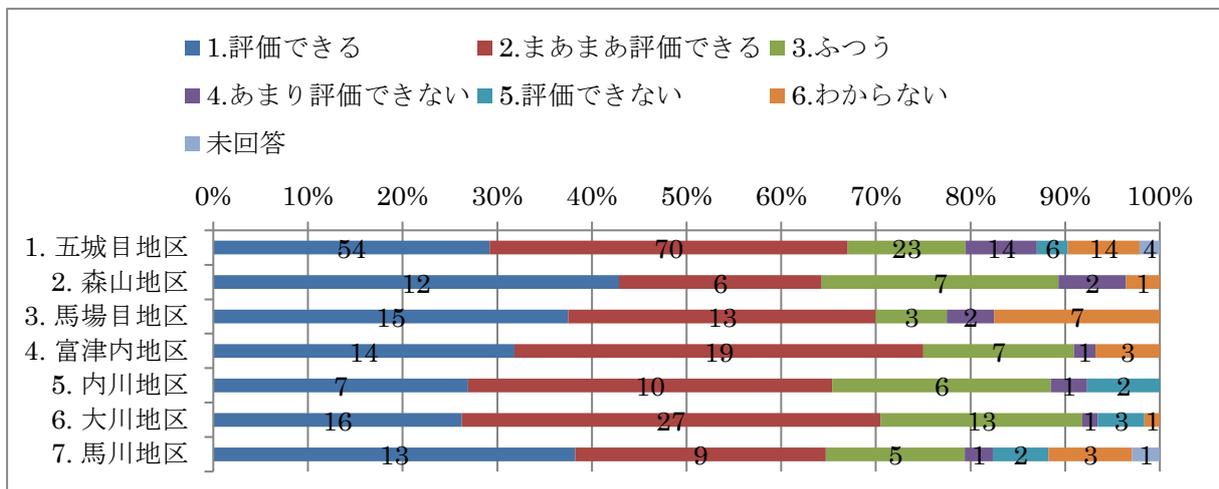
この取り組みなどにより、首都圏から6世帯20人が町に移住しています。

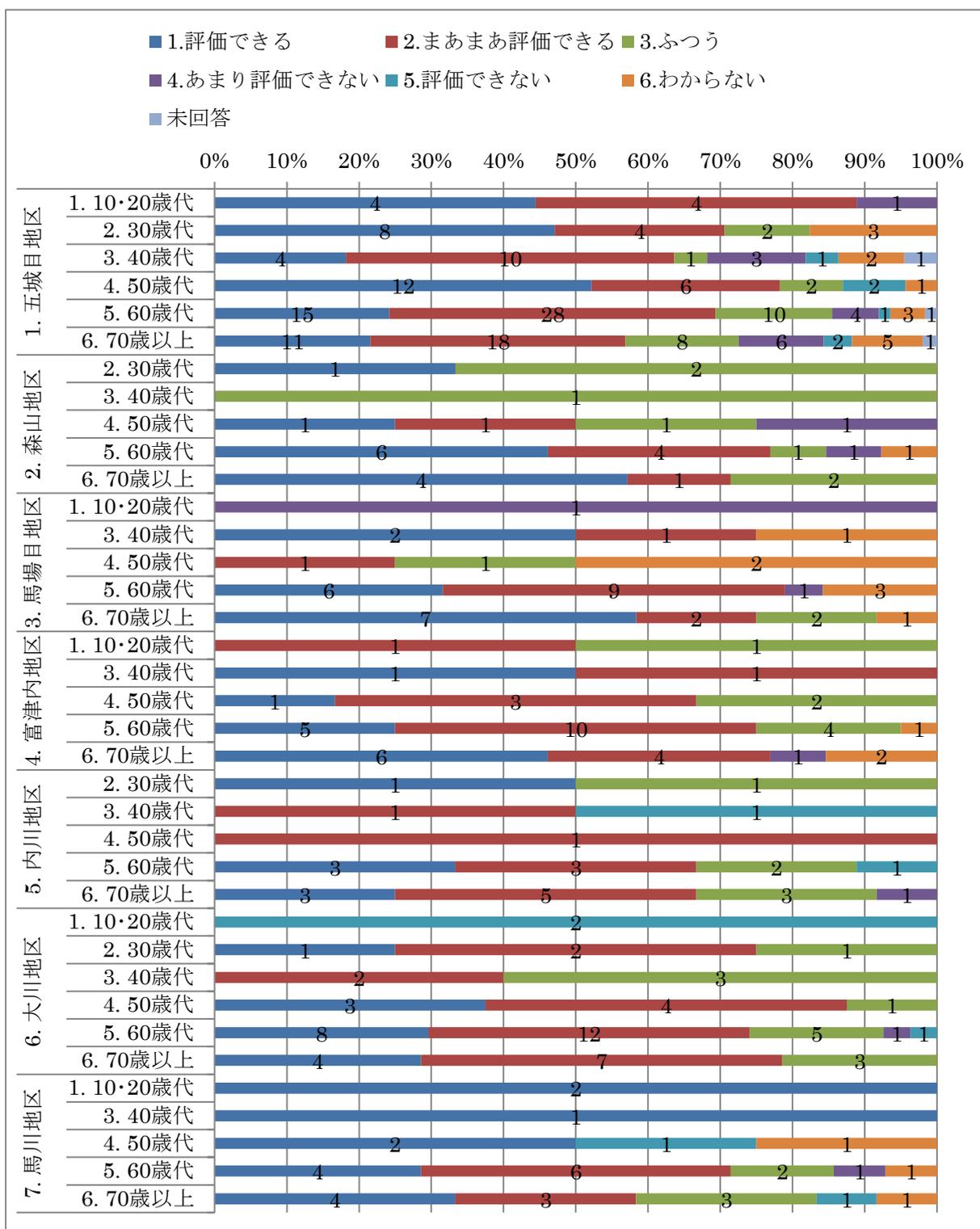
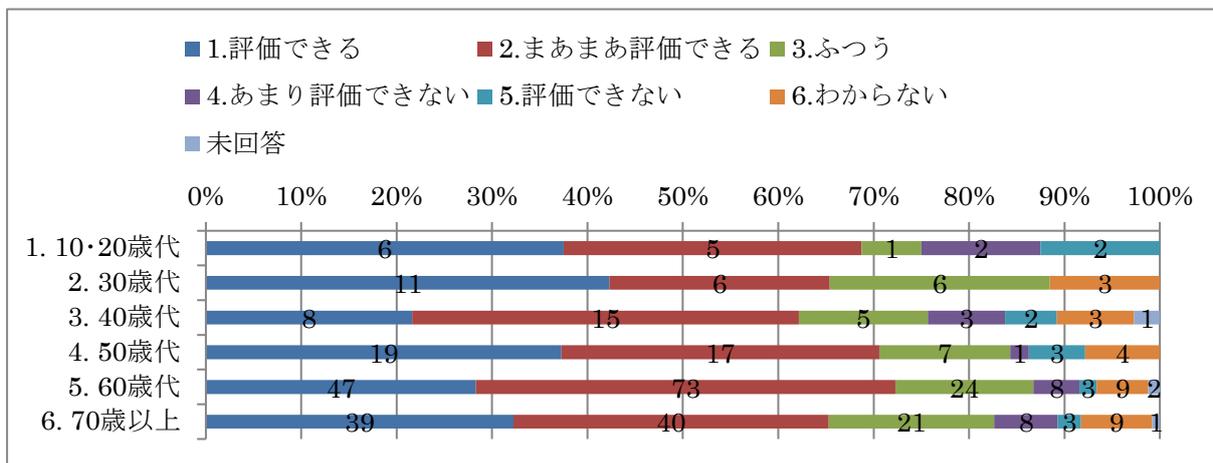
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計が68.4%と7割近く、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計は8.3%と1割を下回る。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 134 | 31.6  |
| 2   | まあまあ評価できる | 156 | 36.8  |
| 3   | ふつう       | 64  | 15.1  |
| 4   | あまり評価できない | 22  | 5.2   |
| 5   | 評価できない    | 13  | 3.1   |
| 6   | わからない     | 29  | 6.8   |
|     | 無回答       | 6   | 1.4   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |





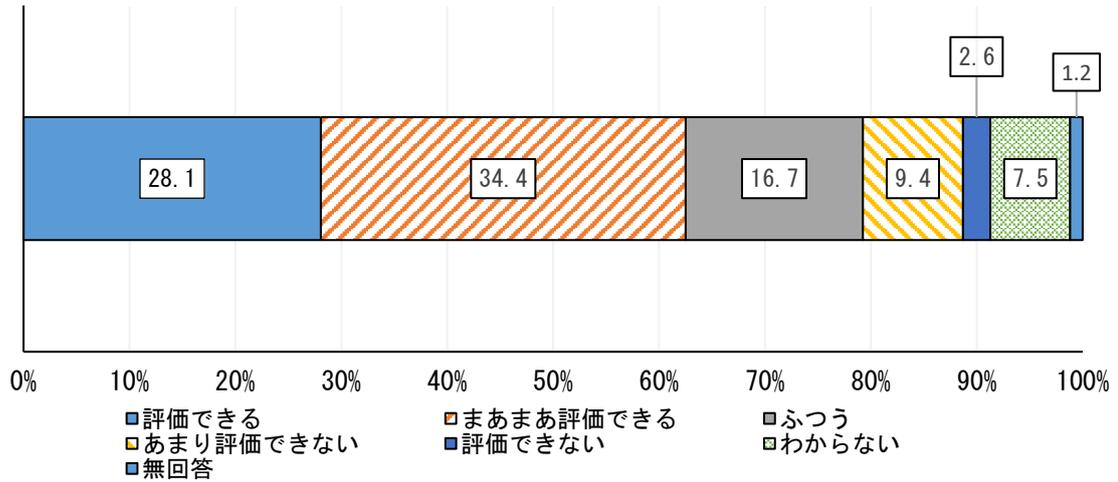
【問19】 町では、町内の空き家を活用した移住を促進するため、情報発信や移住者と地域住民が協力して行う空き家リフォームイベントに対する支援を行っています。

平成28年度から平成30年度までの3年間で、リフォームイベントを3回実施しています。

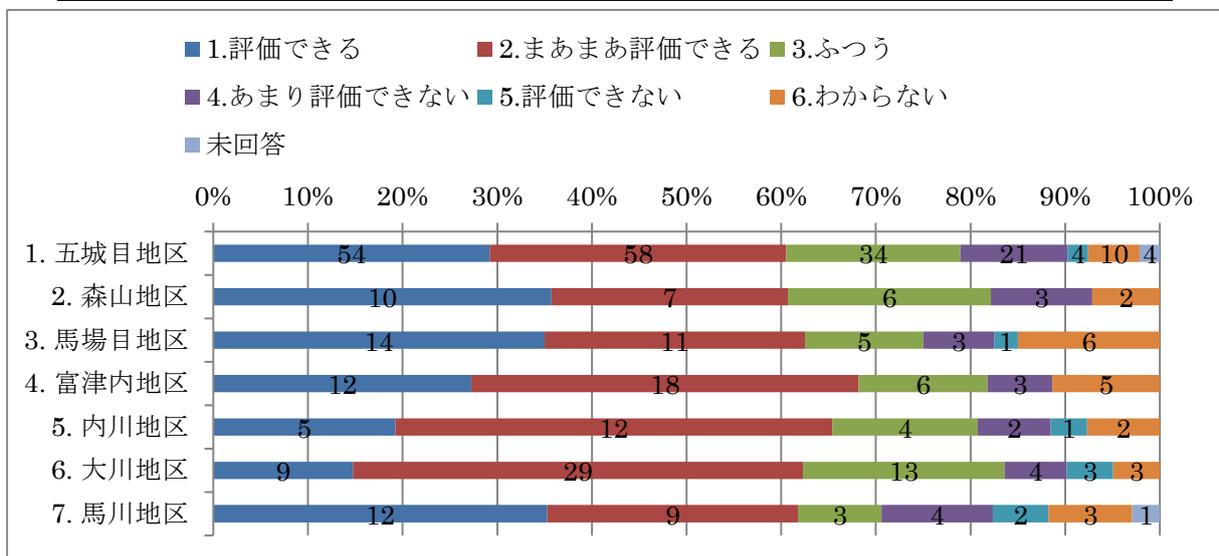
これにより、地域住民との交流も図られ、3世帯の定住につながっています。

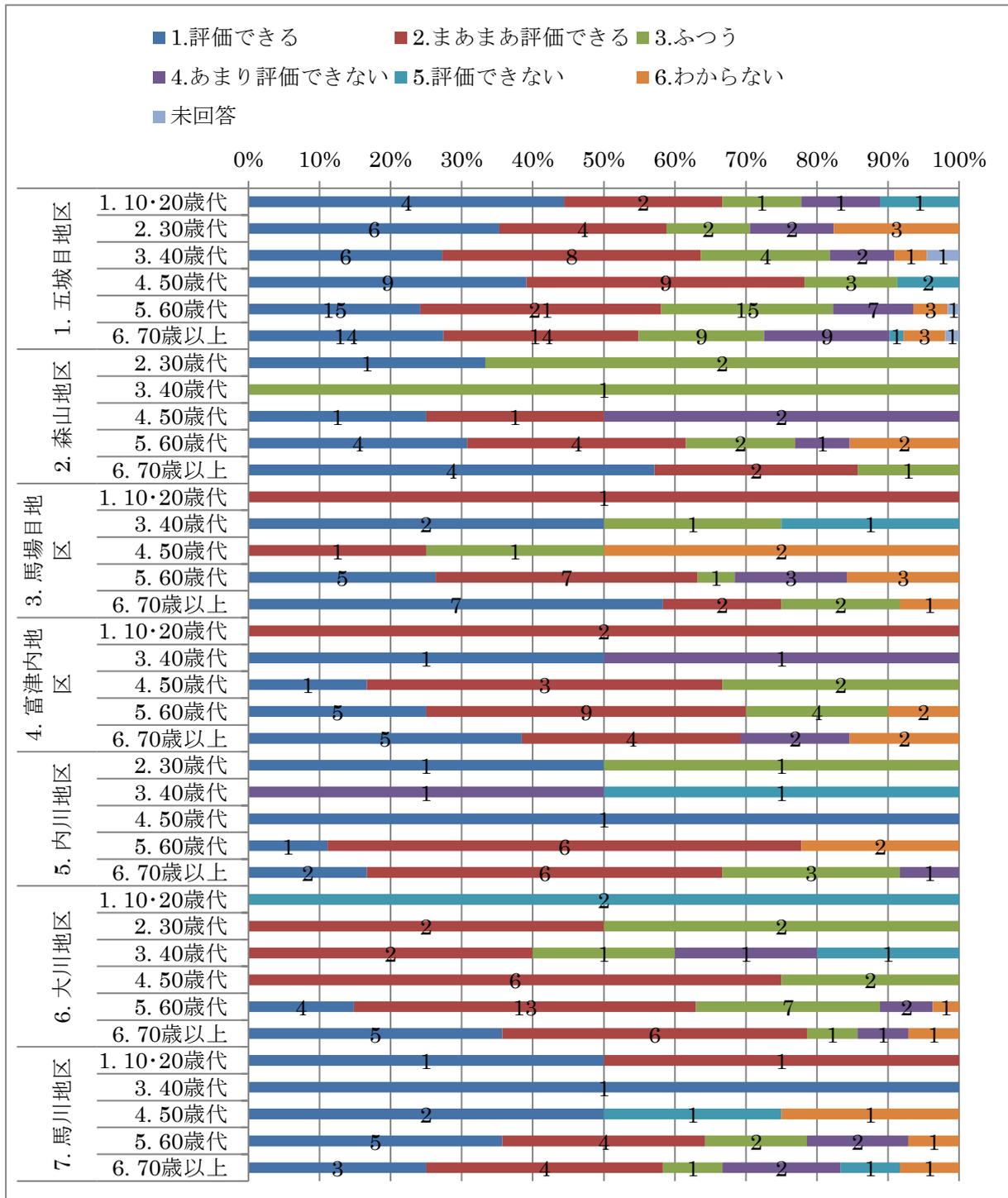
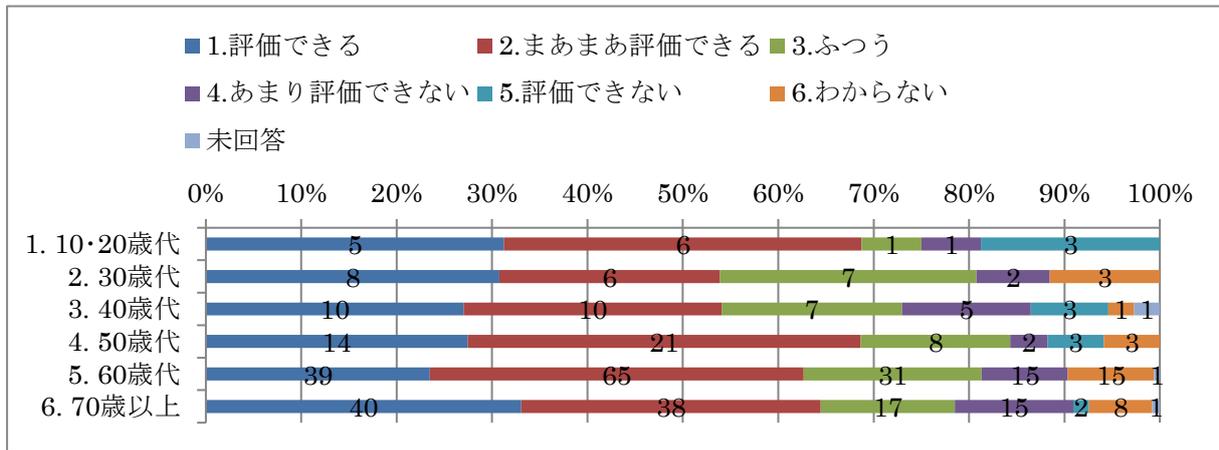
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計が62.5%と約6割、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計が12.0%である。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 119 | 28.1  |
| 2   | まあまあ評価できる | 146 | 34.4  |
| 3   | ふつう       | 71  | 16.7  |
| 4   | あまり評価できない | 40  | 9.4   |
| 5   | 評価できない    | 11  | 2.6   |
| 6   | わからない     | 32  | 7.5   |
|     | 無回答       | 5   | 1.2   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |



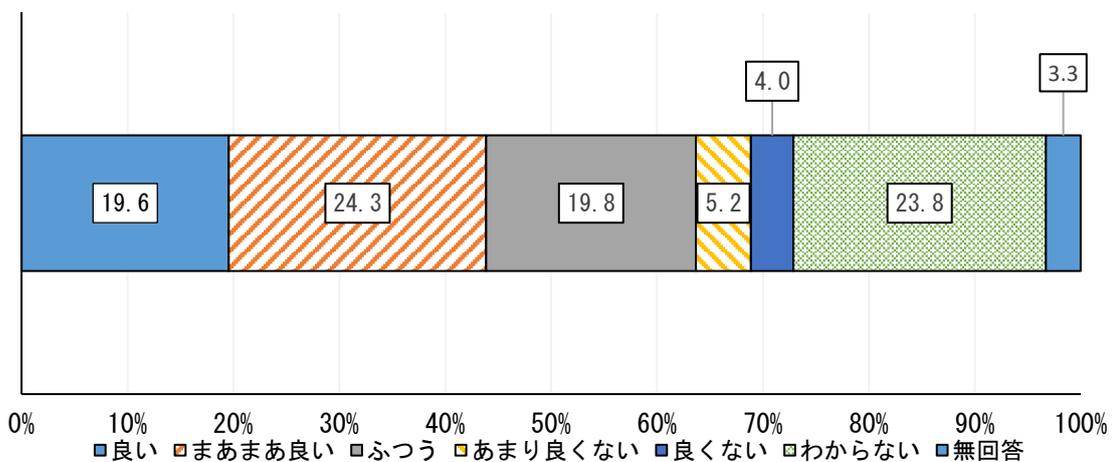


【問20】 町では、今年度、「観光以上・移住未満」の立場で地域活動や住民との交流を体験し、その後も交流を継続する体制を構築して、域外に住みながら主体的に地域と関わる人材「関係人口」を創出し、新たな視点を取り入れた地域づくりを促進するため、関西圏をターゲットに秋田県と共同で町のPRを行い、興味を持った方に町を案内し、町の魅力を発信し、抱えている地域課題などを一緒に考える機会を設けたりする事業を展開しています。

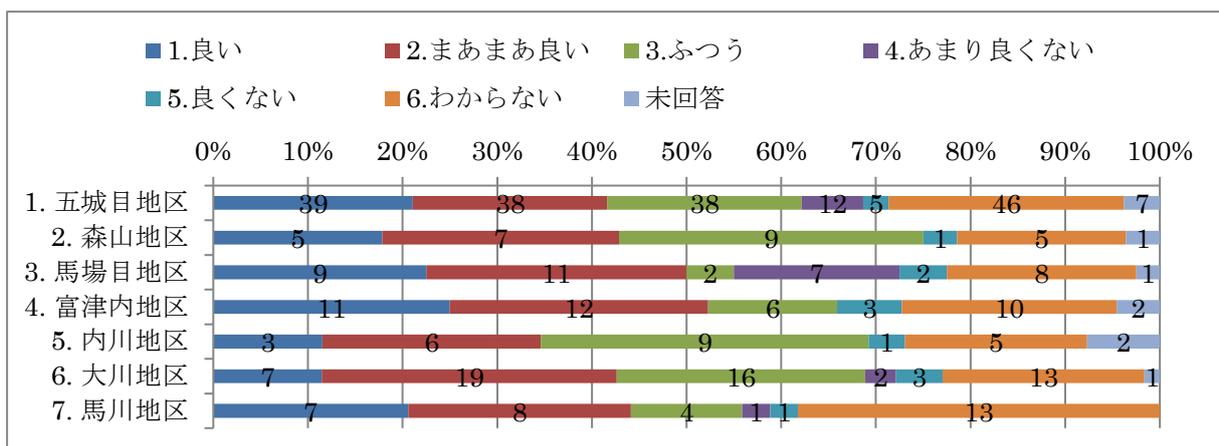
あなたは、この観光でもない、移住でもないスタンスで地域と関わる方々（関係人口）と行う、地域づくりの取り組みについてどう思いますか。

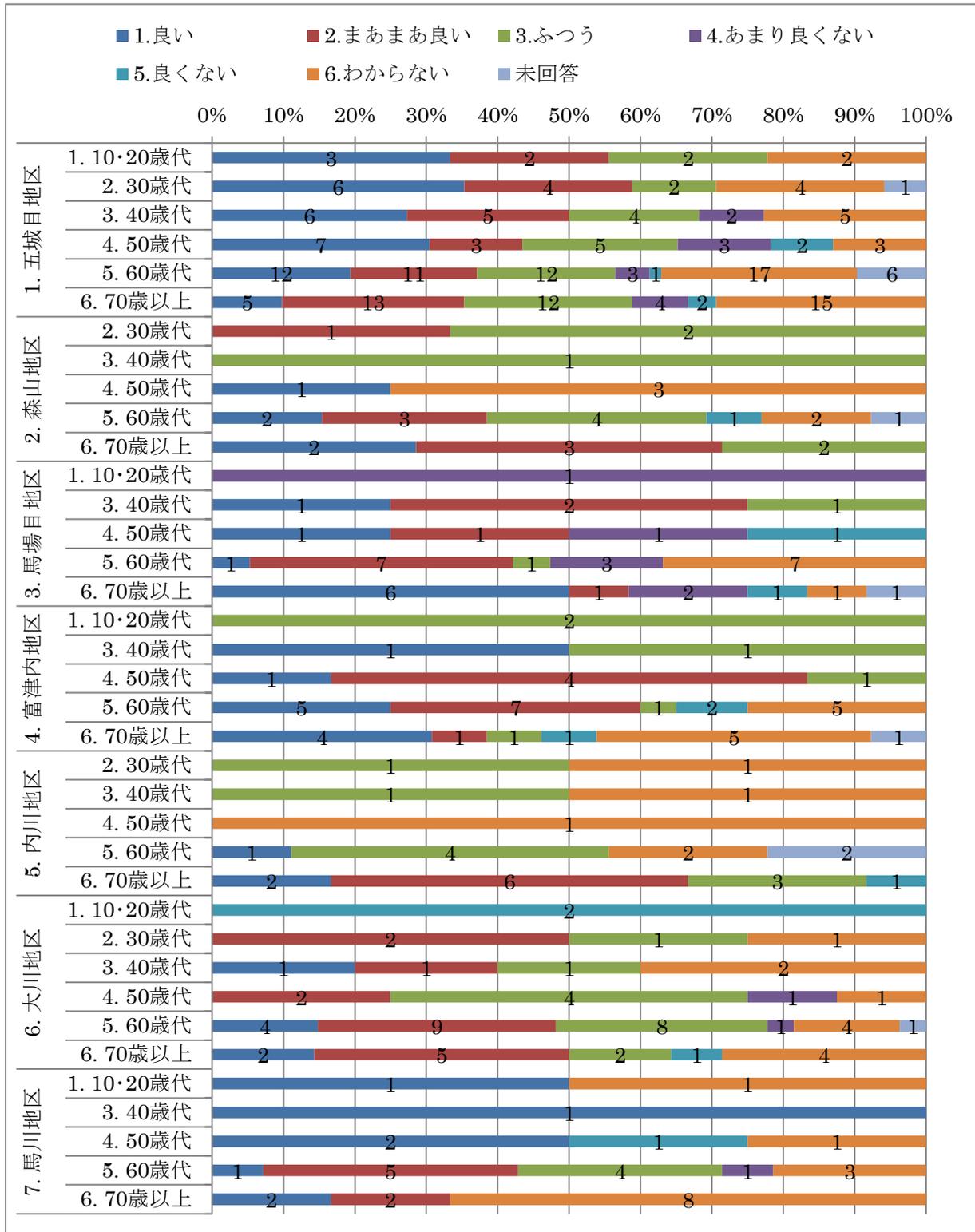
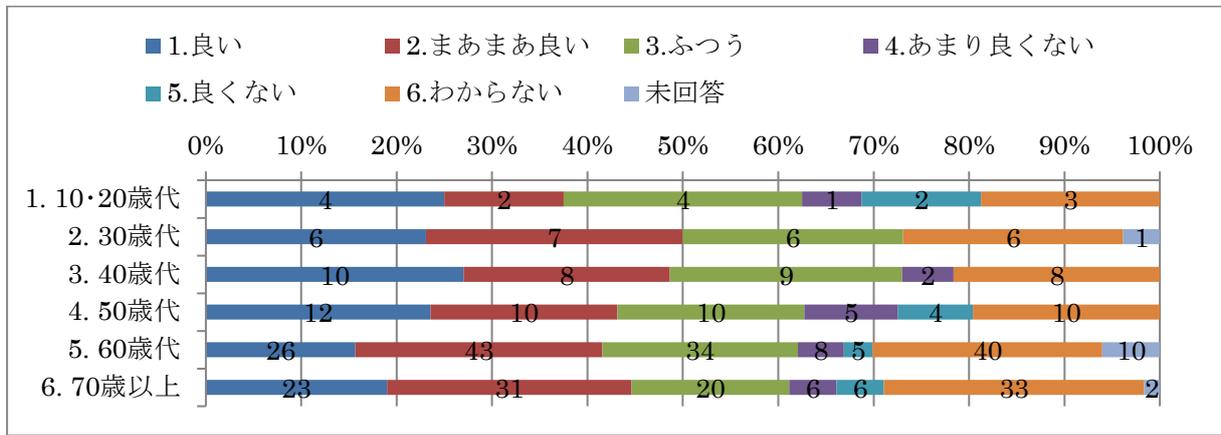
「良い」、「まあまあ良い」の合計が43.9%、「良くない」、「あまり良くない」の合計が9.2%であり、関係人口との地域づくりの取り組みについて評価する人が多い。

一方、「わからない」も23.8%と2割を超える。



| No. | カテゴリー名  | n   | %     |
|-----|---------|-----|-------|
| 1   | 良い      | 83  | 19.6  |
| 2   | まあまあ良い  | 103 | 24.3  |
| 3   | ふつう     | 84  | 19.8  |
| 4   | あまり良くない | 22  | 5.2   |
| 5   | 良くない    | 17  | 4.0   |
| 6   | わからない   | 101 | 23.8  |
|     | 無回答     | 14  | 3.3   |
|     | 全体      | 424 | 100.0 |

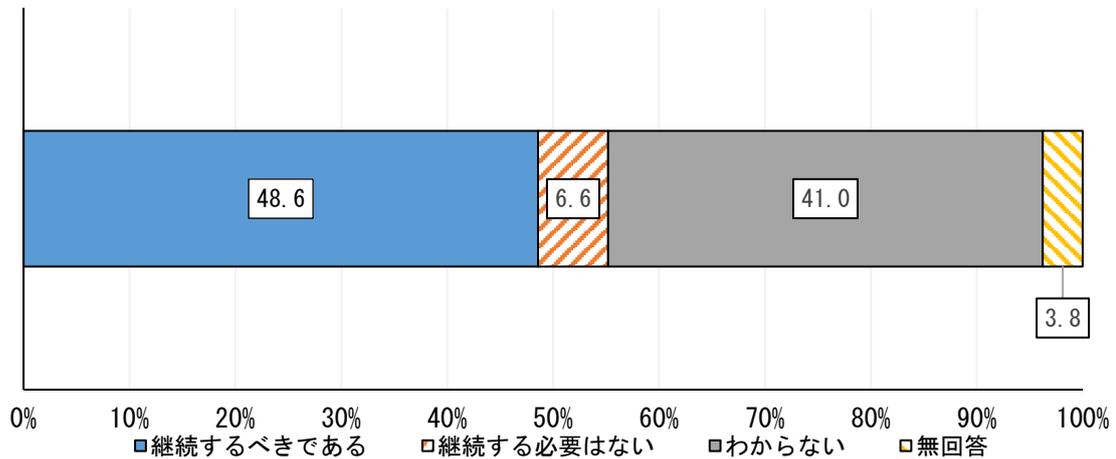




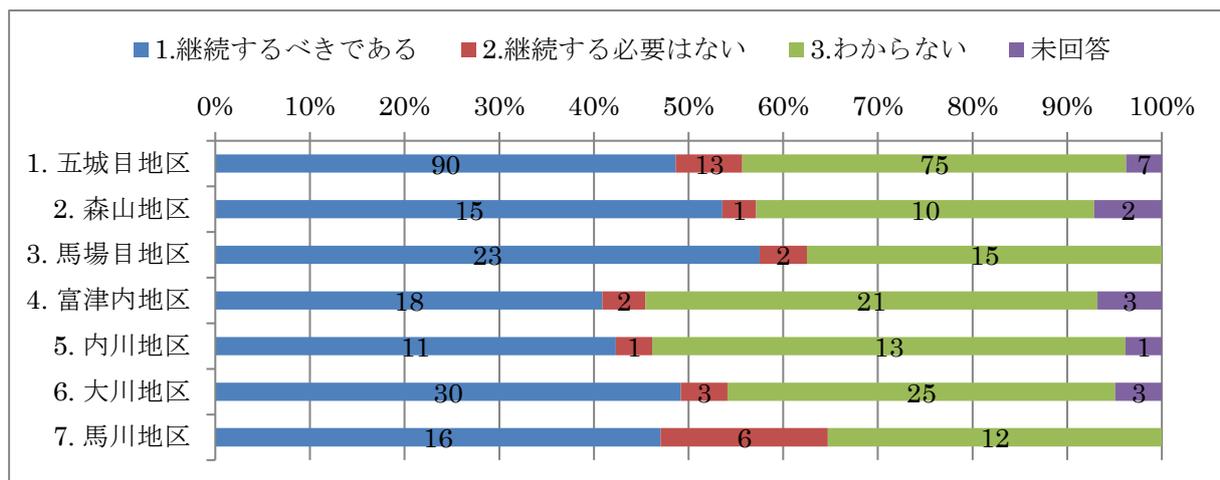
【問21】 町では、【問18】から【問20】にありますように、若い世代を町に呼び込むことを目的に、首都圏でのコミュニティづくりなどを行ってきました。

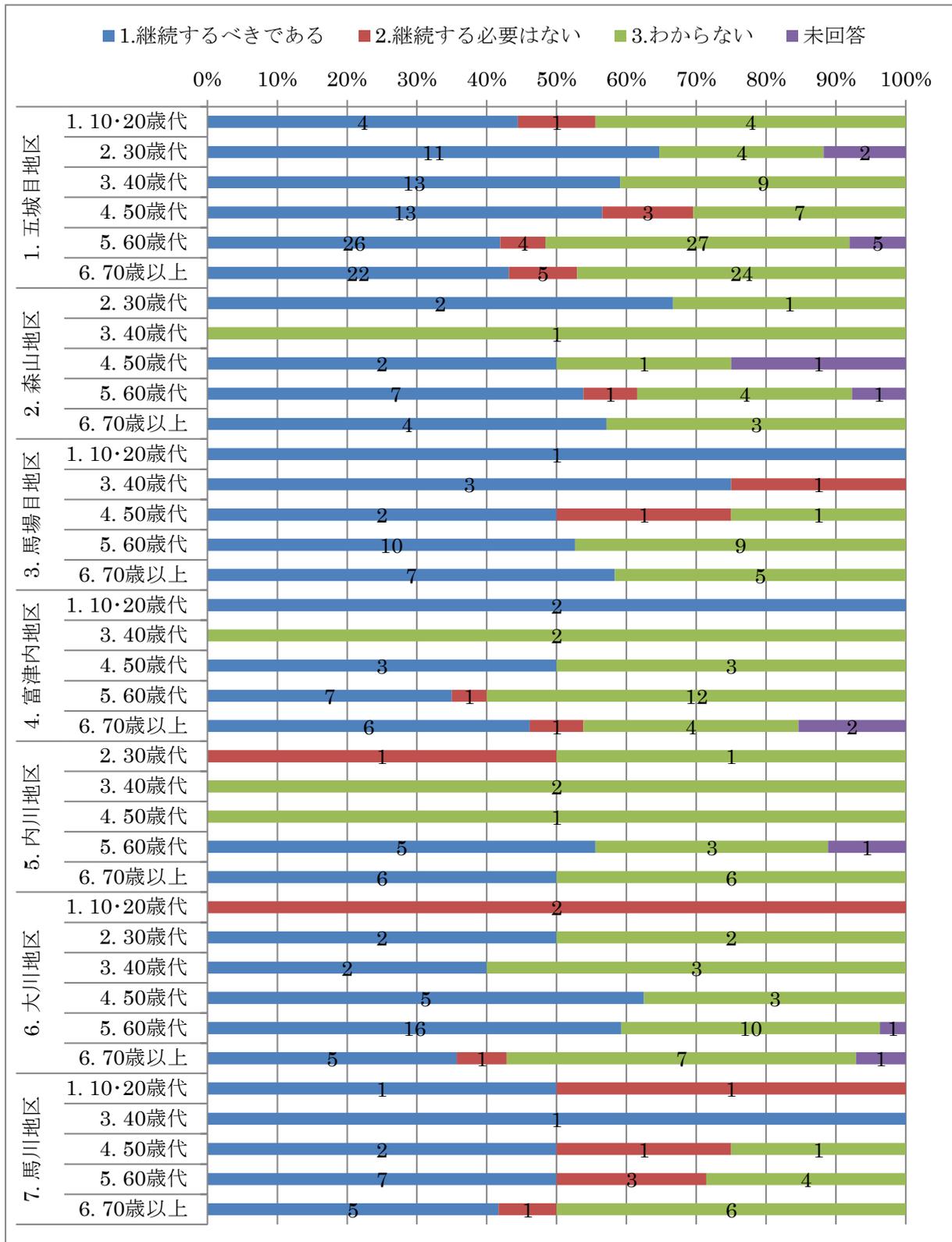
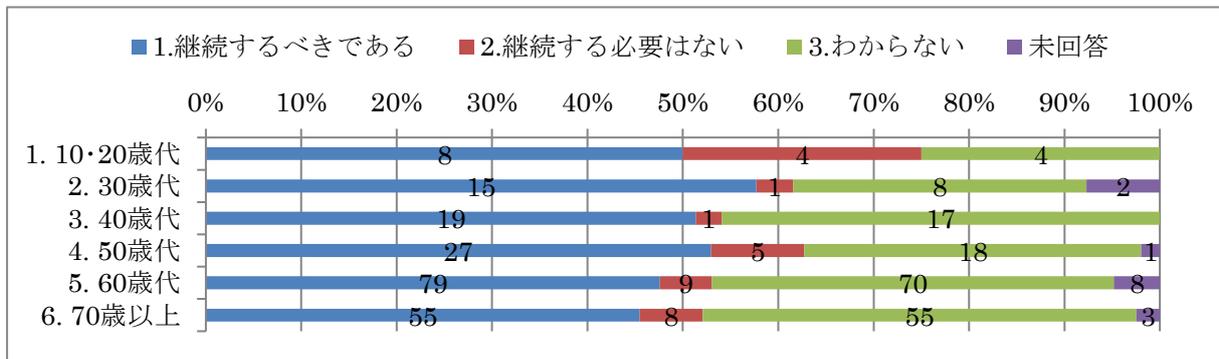
あなたは、これらの取り組みについて、今後どのようにするべきだと思いますか。

「継続するべきである」が48.6%、「継続する必要はない」が6.6%であり、継続を望む人が多い。一方で、「わからない」が41.0%と4割を超える。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 継続するべきである | 206 | 48.6  |
| 2   | 継続する必要はない | 28  | 6.6   |
| 3   | わからない     | 174 | 41.0  |
|     | 無回答       | 16  | 3.8   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |

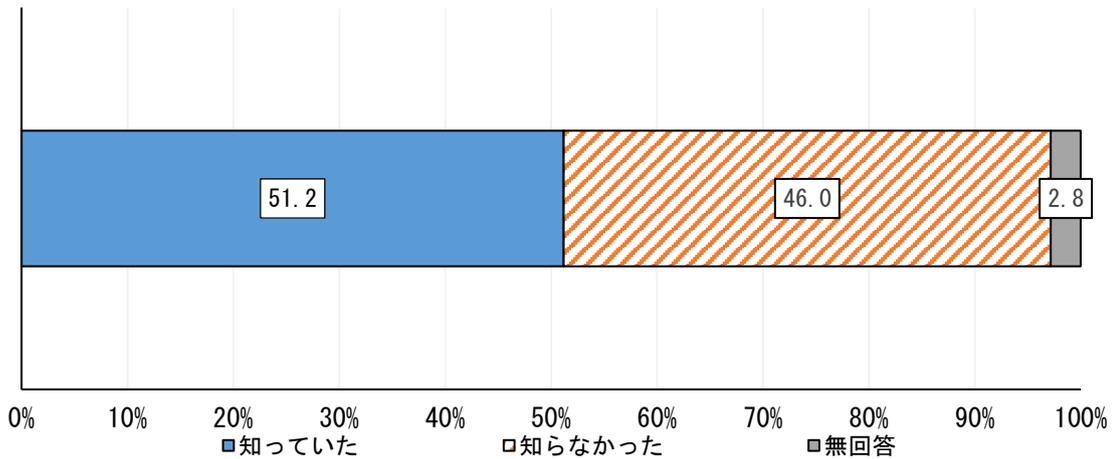




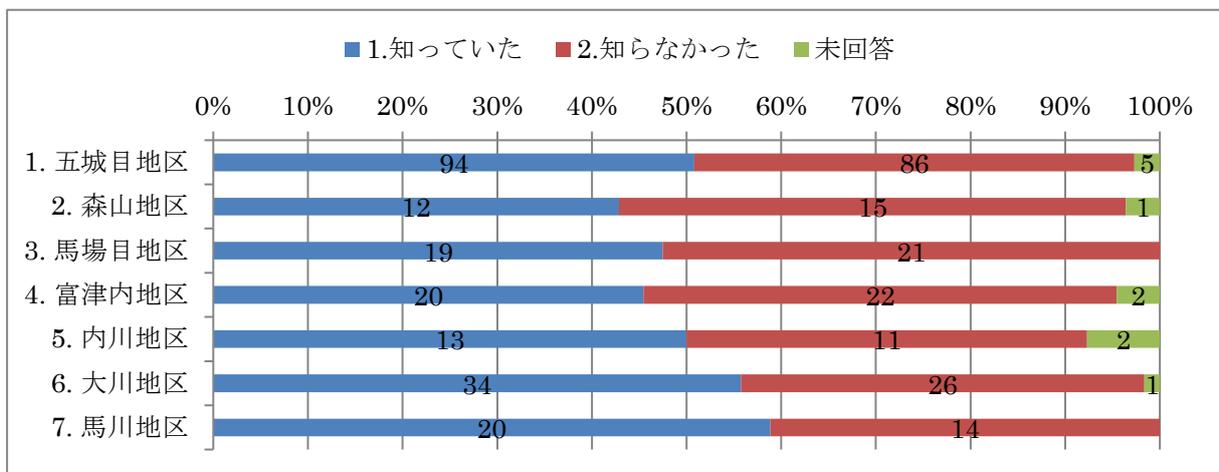
## 6 地方創生「少子化対策」について

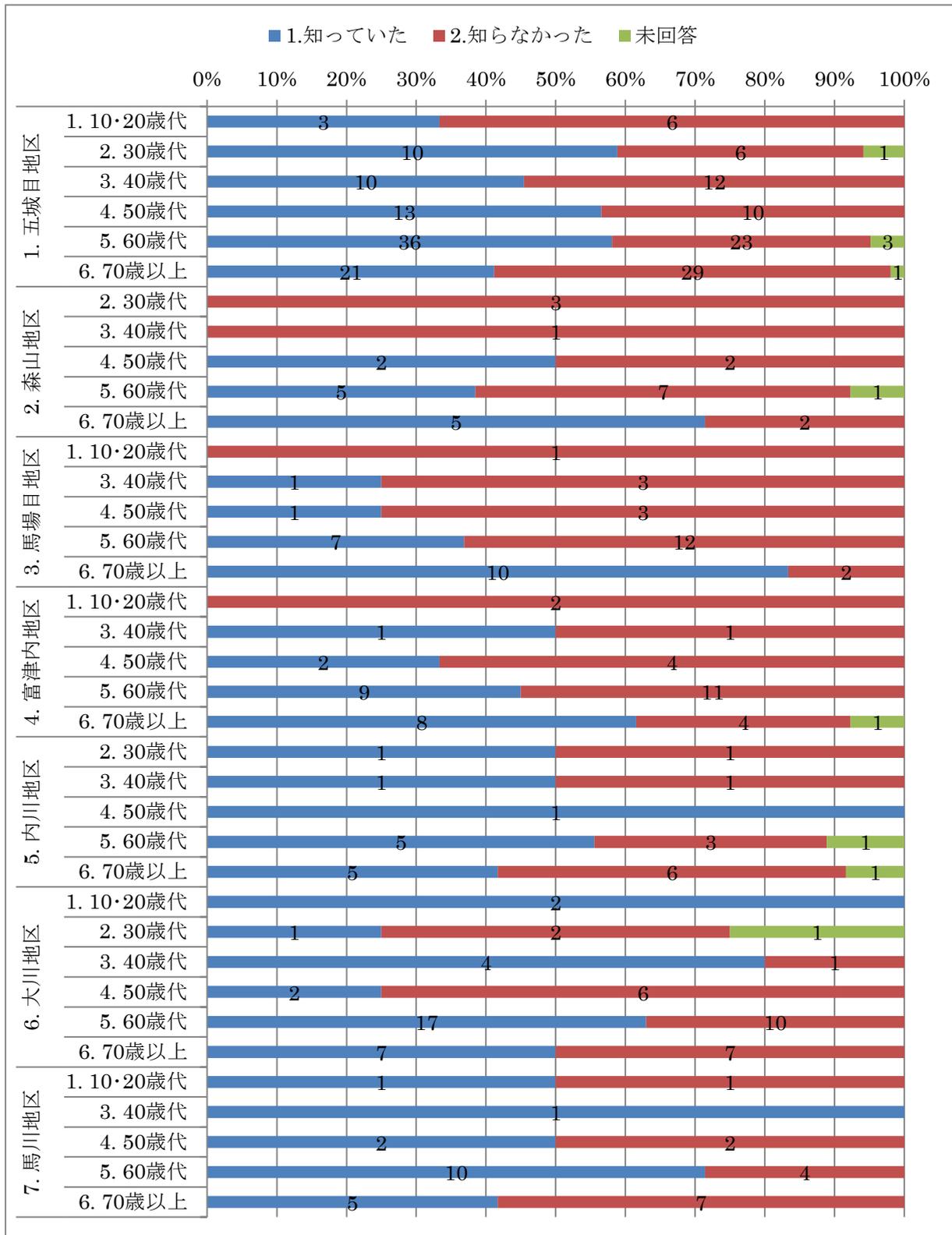
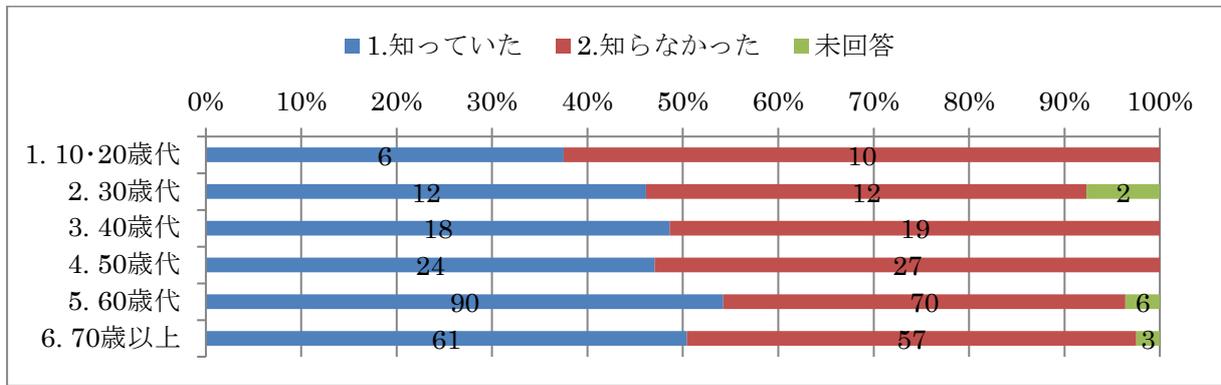
【問23】 町では、子育てしやすい環境づくりを整備する「少子化対策」として、男女の出会いから結婚、出産、子育てまでの支援や制度のパッケージ化や国県の取り組みと合わせ医療費や保育料の助成制度拡充による経済的支援の充実などを行っています。  
あなたは、町がこのような取り組みを行っていることを知っていましたか。

「知っていた」が51.2%、「知らなかった」が46.0%と大きな違いはないものの、知っていた人の方がやや多い。



| No. | カテゴリー名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 知っていた  | 217 | 51.2  |
| 2   | 知らなかった | 195 | 46.0  |
|     | 無回答    | 12  | 2.8   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |



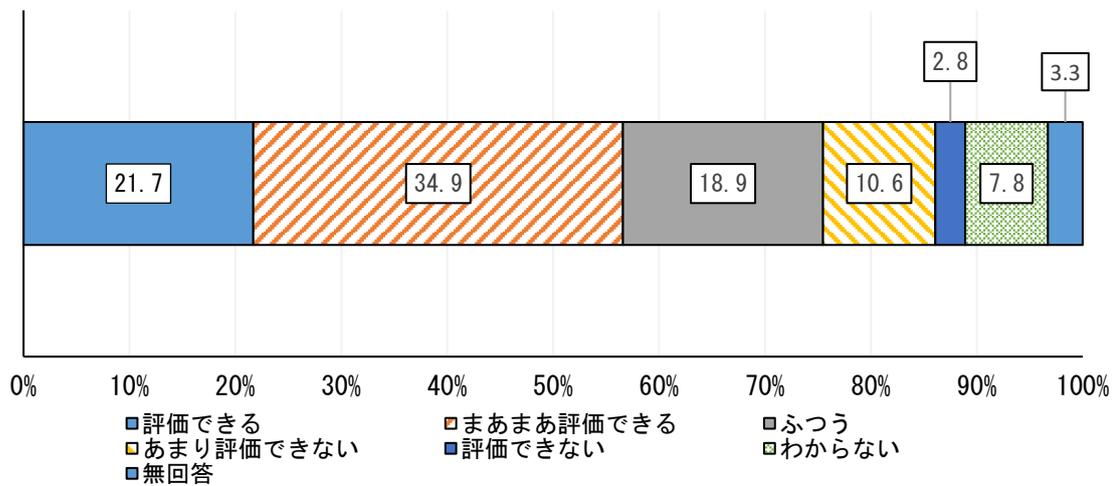


【問 2 4】 町では、出会いから結婚までを支援するため、若者交流イベントの開催や結婚サポーターによる結婚相談などを行ったり、新婚さんの引っ越しや住居家賃などの費用の一部に対して支援を行ったりしています。

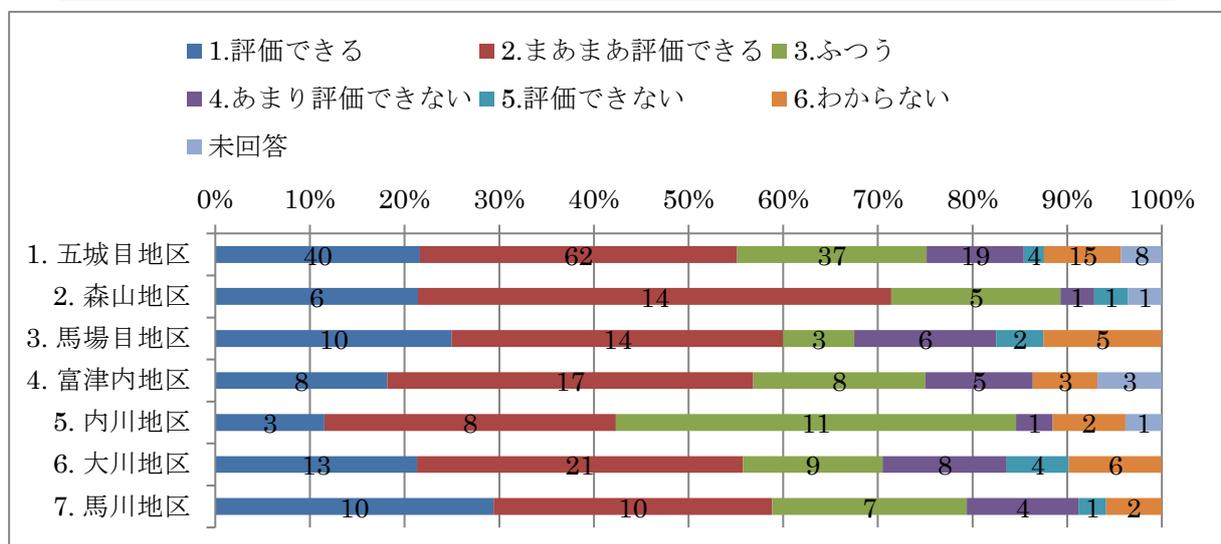
平成28年度から平成30年度までの3年間で、若者交流イベントは8回開催しています。これらの取り組みにより、出会いの場の確保が図られ、2組の成婚につながっています。

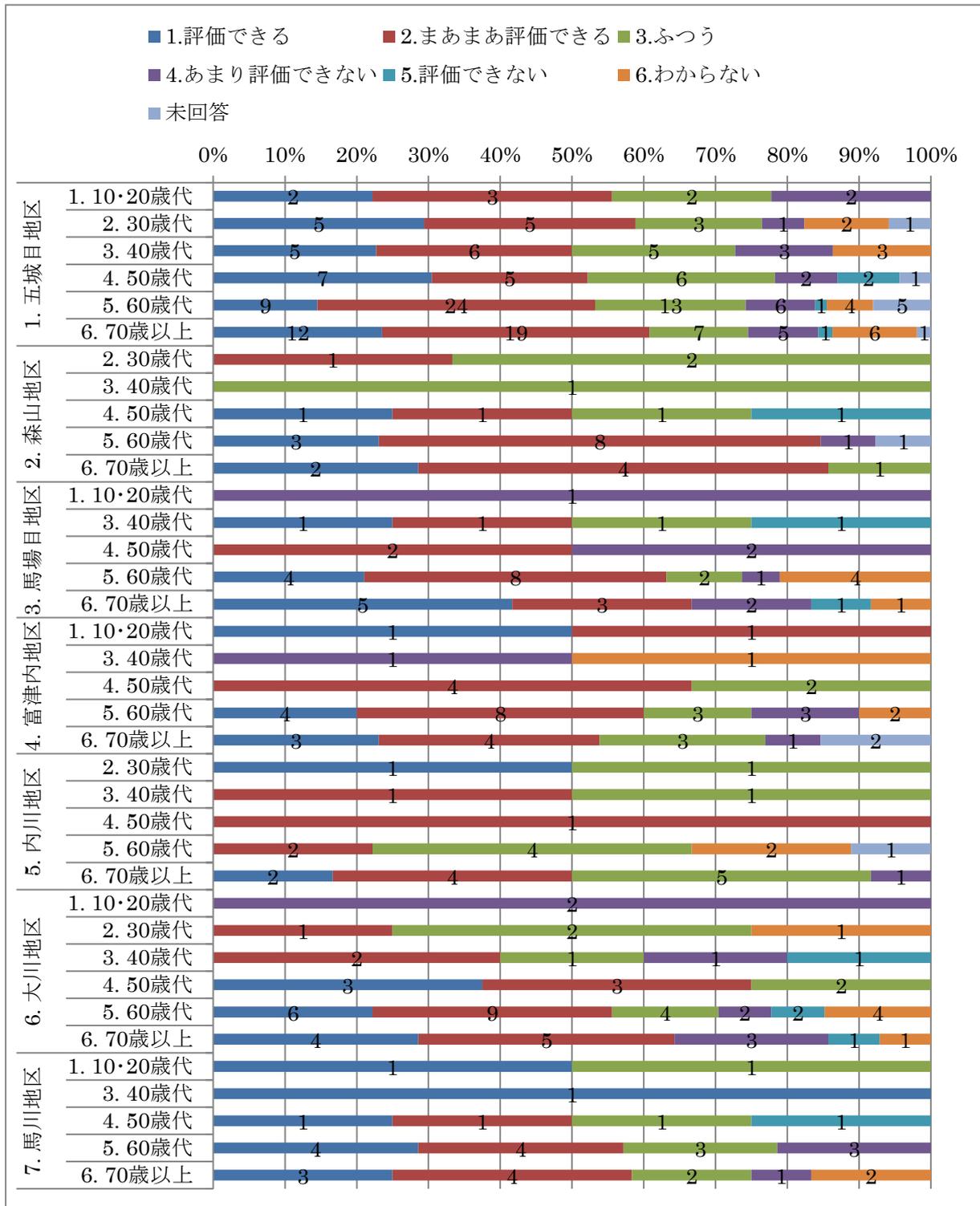
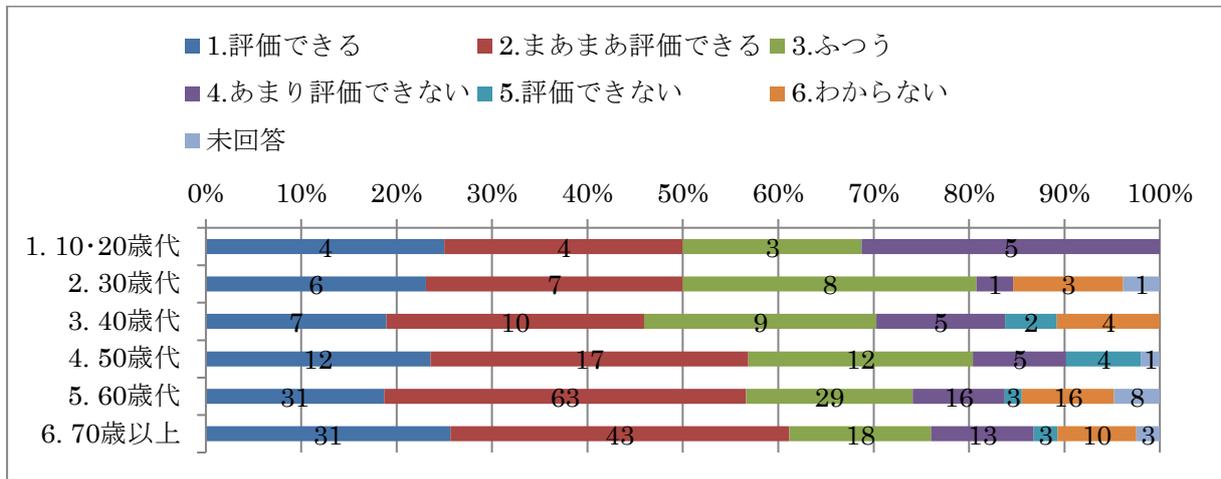
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計が56.6%と5割を超え、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計は13.4%と、評価する人が多い。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 92  | 21.7  |
| 2   | まあまあ評価できる | 148 | 34.9  |
| 3   | ふつう       | 80  | 18.9  |
| 4   | あまり評価できない | 45  | 10.6  |
| 5   | 評価できない    | 12  | 2.8   |
| 6   | わからない     | 33  | 7.8   |
|     | 無回答       | 14  | 3.3   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |



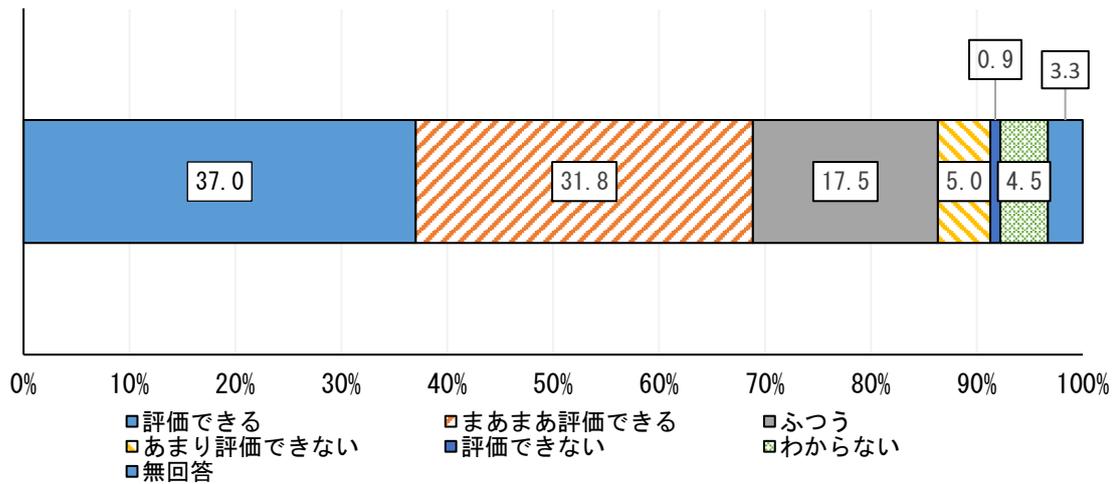


【問25】 町では、子育て世代の経済的な負担を軽減するため、医療費や保育料軽減のほか、誕生祝い金や子育て支援クーポン券の支給、チャイルドシート購入補助など町独自の支援を行っています。

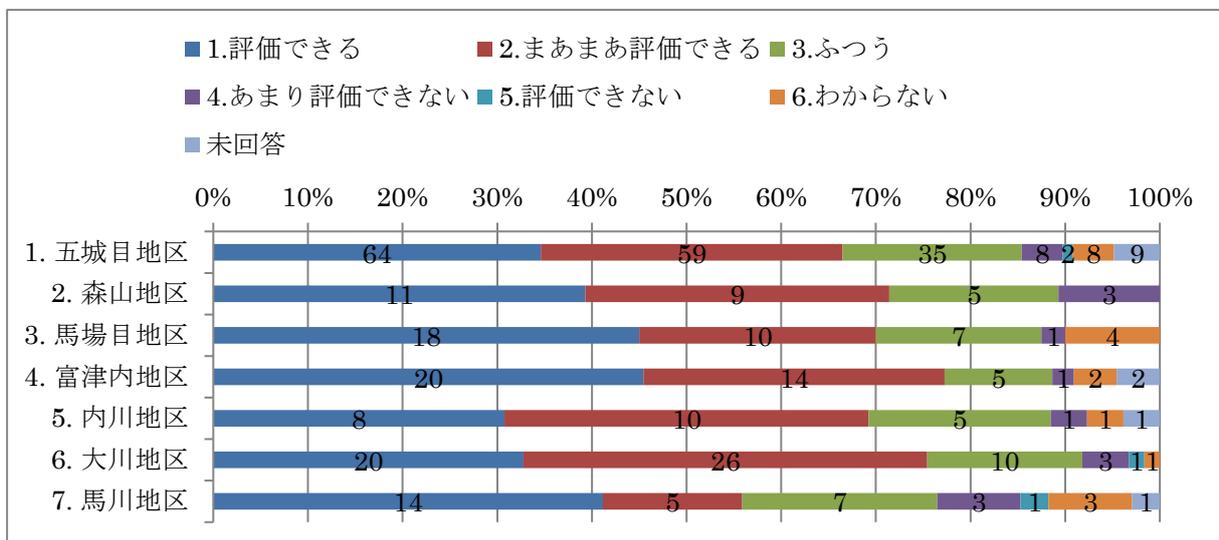
平成27年度から平成30年度までの4年間で、誕生祝い金は170人（年間平均42人）に支給しています。

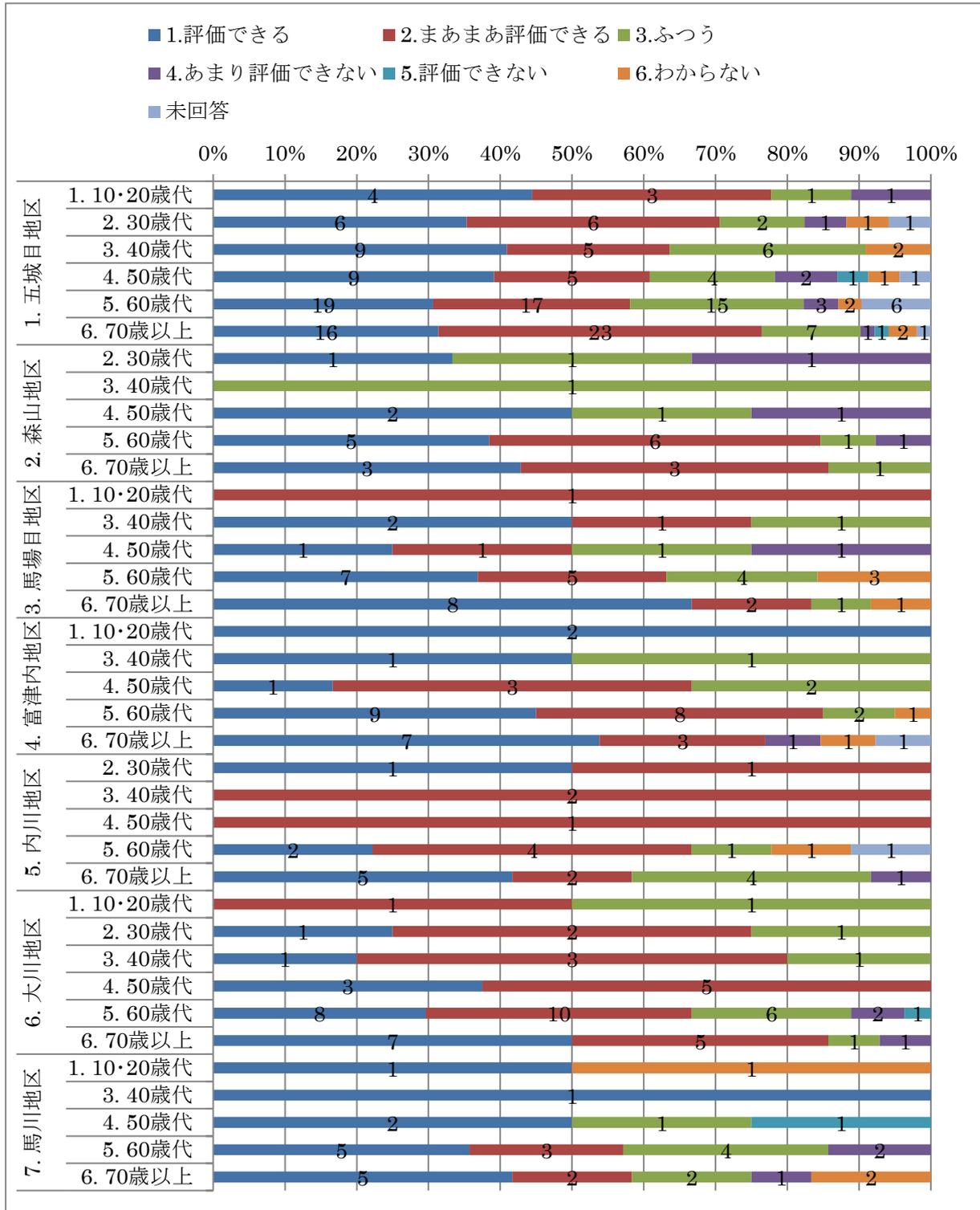
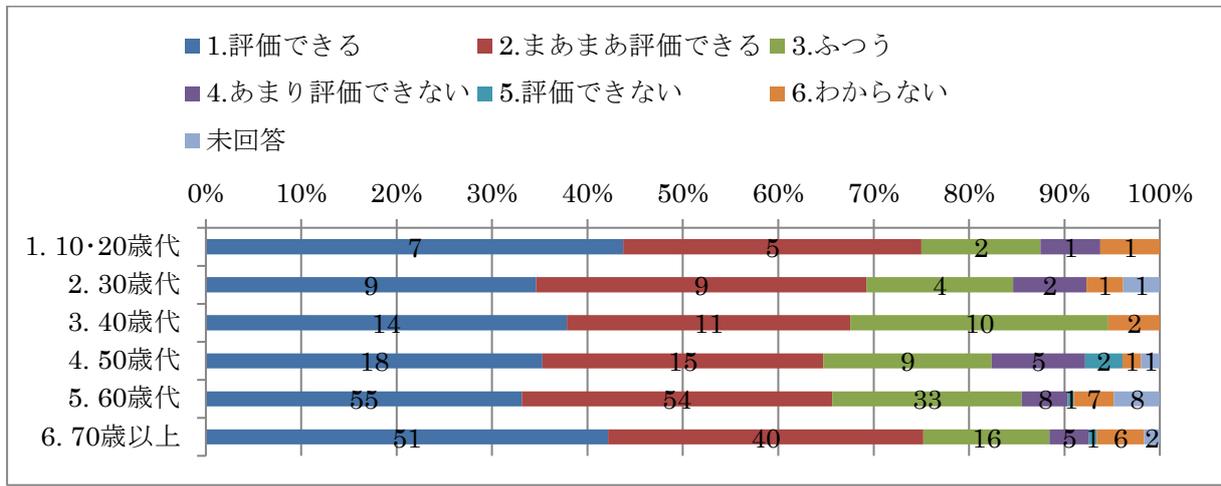
これらの支給などにより、第2子出生数は、ここ数年は20人に増えています。  
あなたは、これらの取り組みをどのように評価しますか。

「評価できる」、「まあまあ評価できる」の合計が68.8%と7割近く、「評価できない」、「あまり評価できない」の合計は5.9%と、評価する人が多い。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 評価できる     | 157 | 37.0  |
| 2   | まあまあ評価できる | 135 | 31.8  |
| 3   | ふつう       | 74  | 17.5  |
| 4   | あまり評価できない | 21  | 5.0   |
| 5   | 評価できない    | 4   | 0.9   |
| 6   | わからない     | 19  | 4.5   |
|     | 無回答       | 14  | 3.3   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |

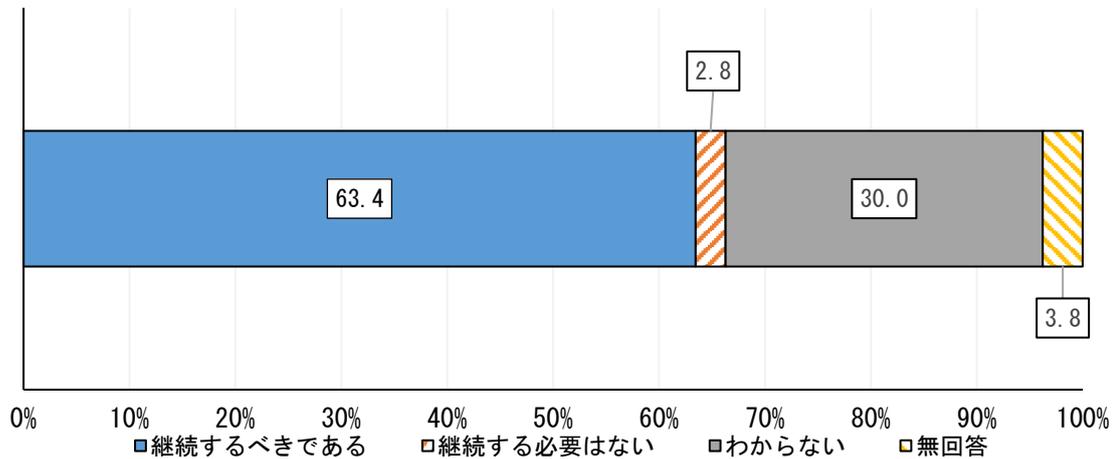




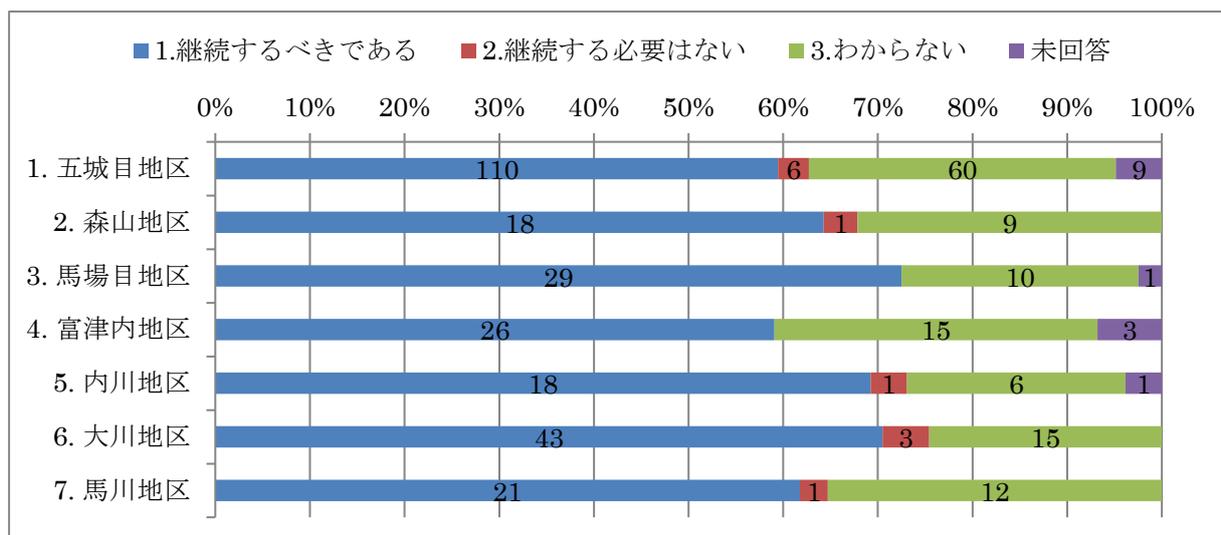
【問26】 町では、【問24】や【問25】にありますように、男女の出会いや出生率の向上を目指すことを目的に、子育てしやすい環境を整備するため、様々な取り組みや支援などを行ってきました。

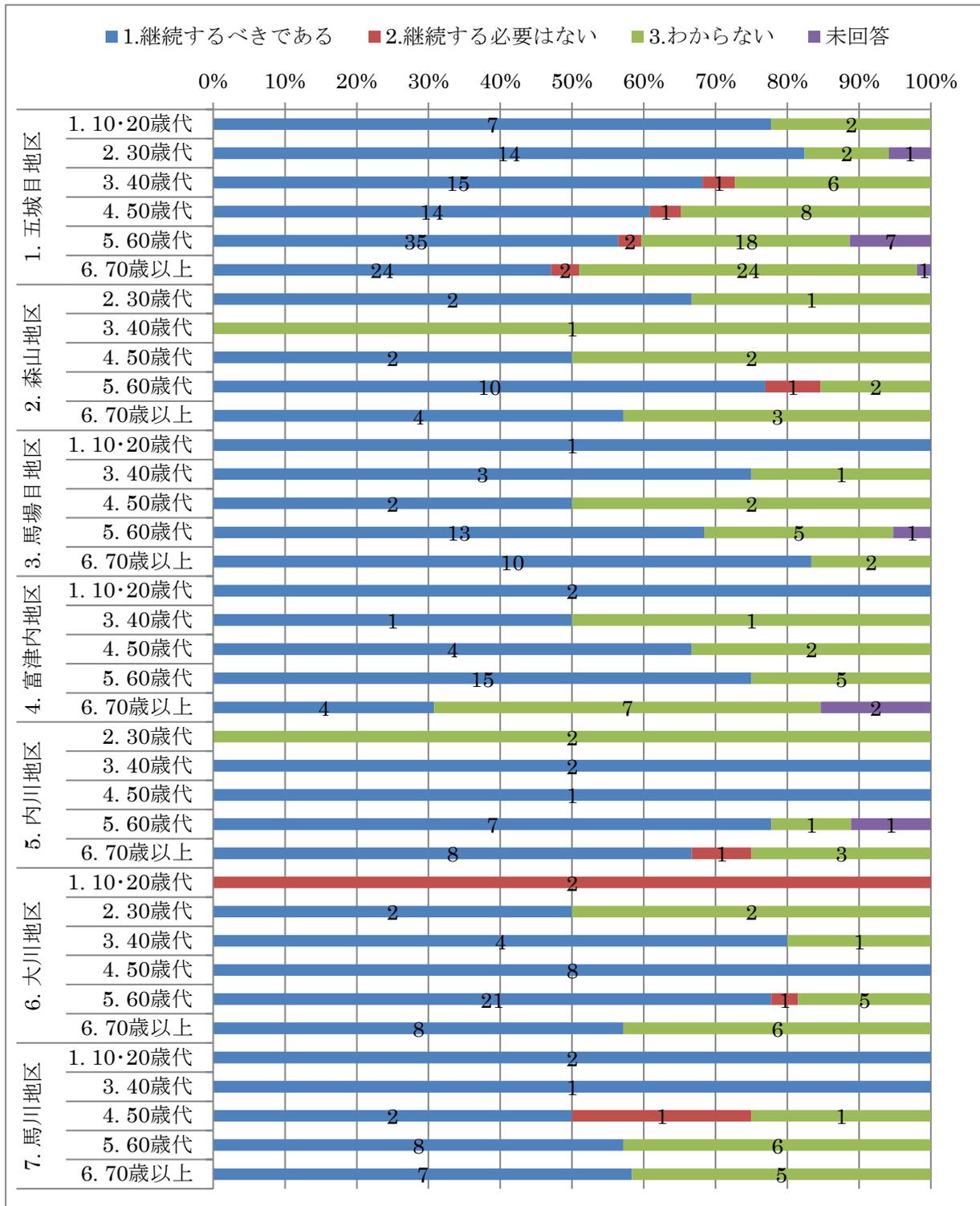
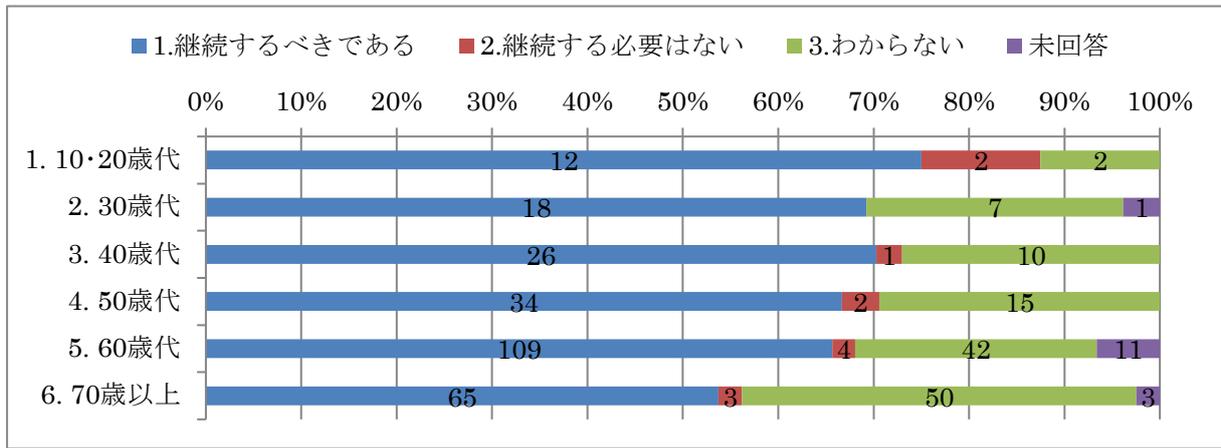
あなたは、これらの取り組みについて、今後どのようにするべきだと思いますか。

「継続するべきである」が63.4%、「継続する必要はない」が2.8%であり、継続を望む人が6割を超える。



| No. | カテゴリー名    | n   | %     |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 継続するべきである | 269 | 63.4  |
| 2   | 継続する必要はない | 12  | 2.8   |
| 3   | わからない     | 127 | 30.0  |
|     | 無回答       | 16  | 3.8   |
|     | 全体        | 424 | 100.0 |





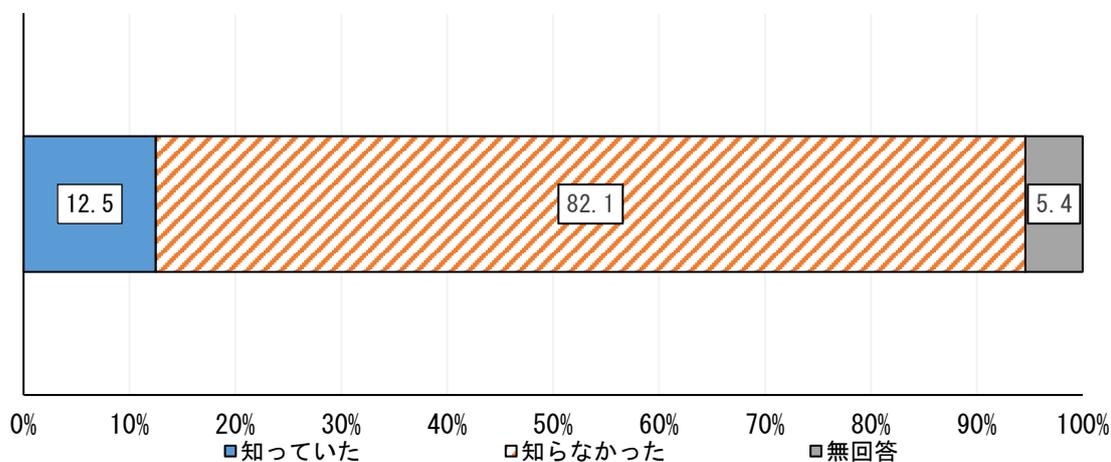
## 7 地方創生「地域づくり対策」について

【問28】 人口が減少しても、住みなれた地域で生活を継続させるため、複数の集落からなる住民が行政や事業者、各種団体などと協力・役割分担しながら「地域運営組織」をつくり、自分たちで「買い物サービス」や「地域住民の送迎サービス」のような取り組みを進めるなど「小さな拠点」を形成する事例が、全国的に増えています。

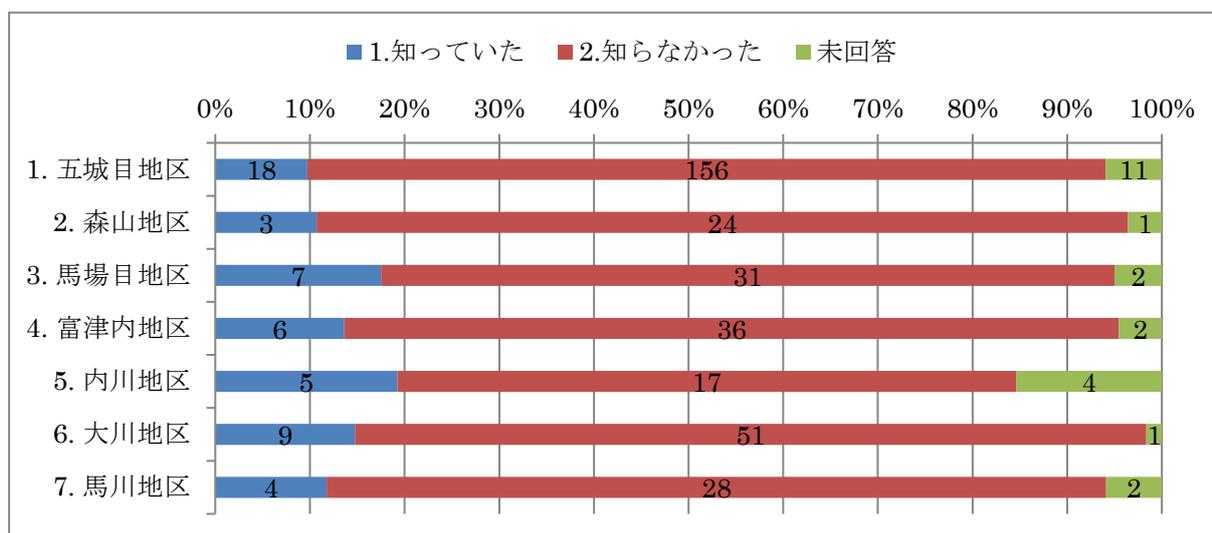
町では、今年度、秋田県と連携して、馬場目地区をモデル地区として、人口の安定化を図り、「小さな拠点」形成について、その可能性などについて検討を行っています。

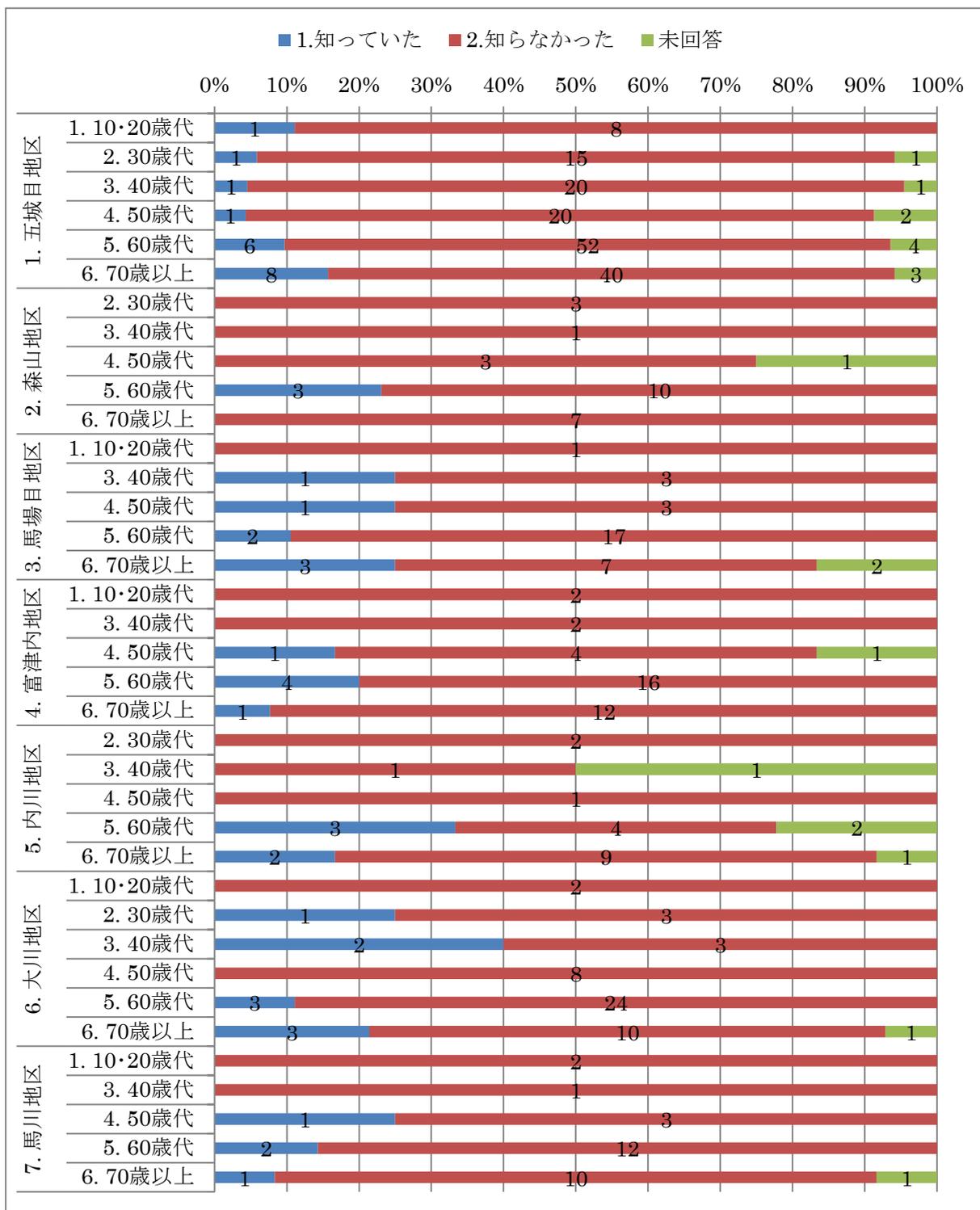
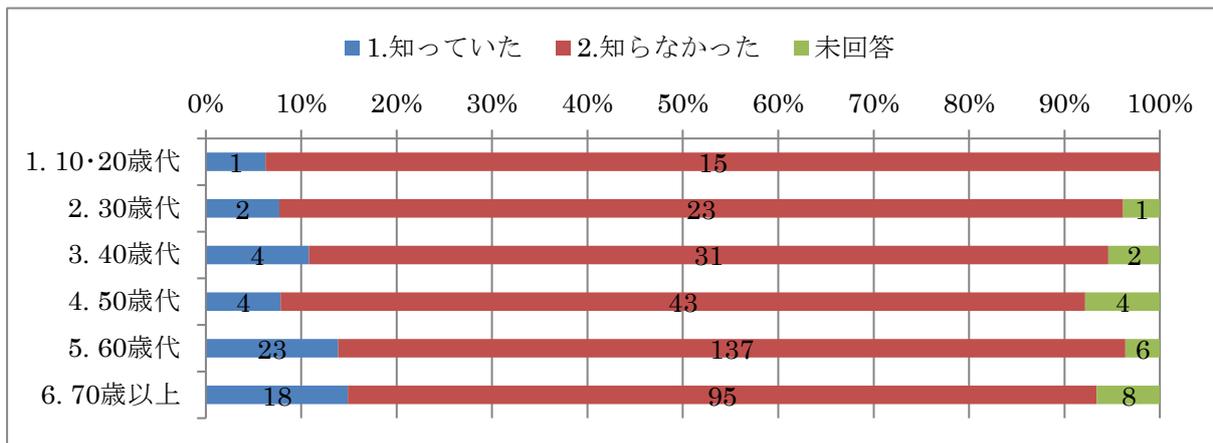
あなたは、町が複数の集落からなる地区単位で「小さな拠点」形成に向けた検討を行っていることを知っていましたか。

「知っていた」は12.5%、「知らなかった」が82.1%であり、8割を超える人は、町が「小さな拠点」形成に向けた検討を行っていることを知らなかった。



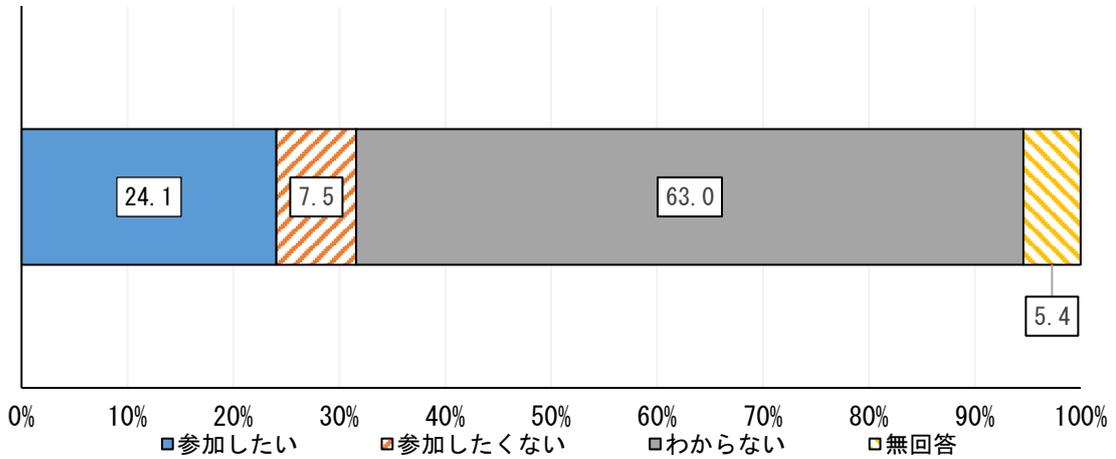
| No. | カテゴリー名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 知っていた  | 53  | 12.5  |
| 2   | 知らなかった | 348 | 82.1  |
|     | 無回答    | 23  | 5.4   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |



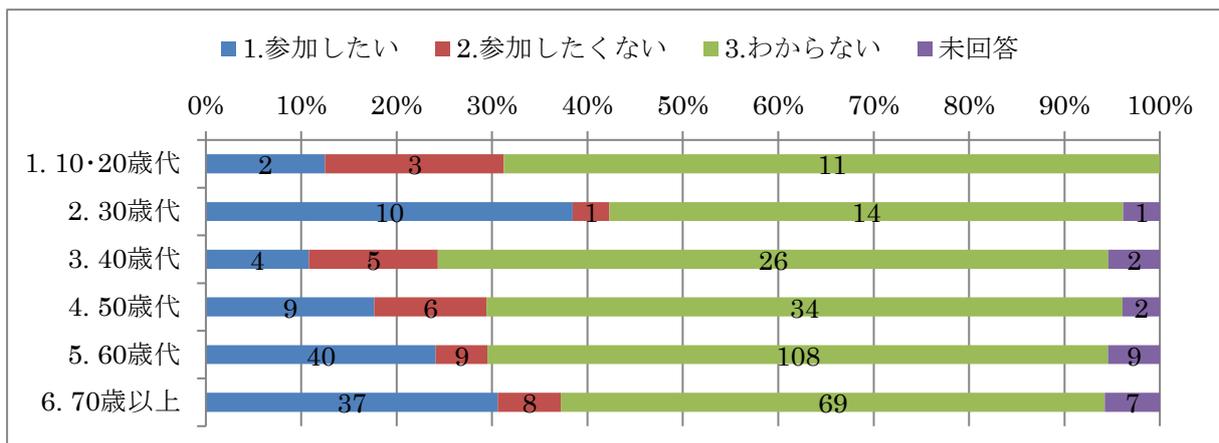
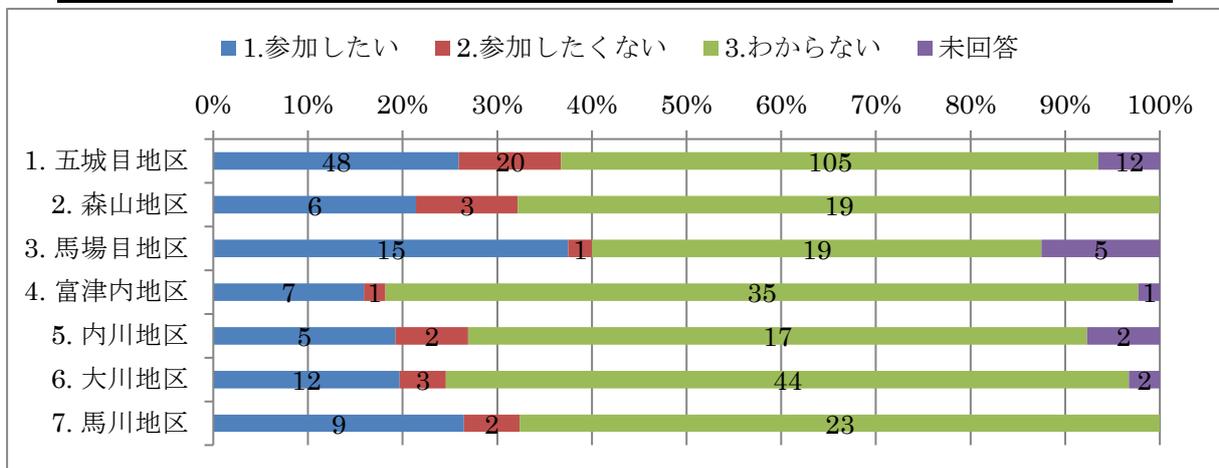


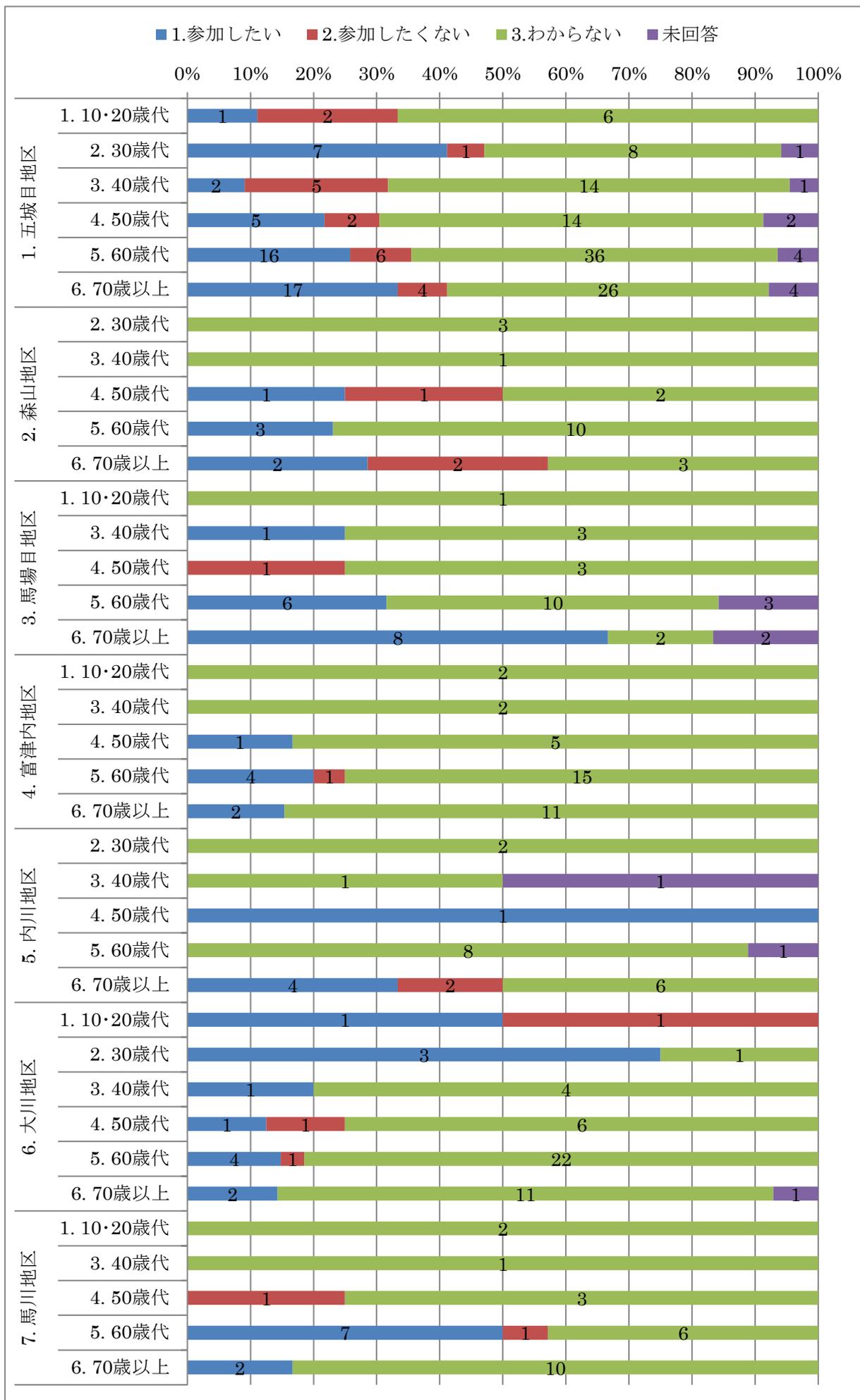
【問29】 あなたは、馬場目地区で現在行っているような話し合いなどの取り組みが、自分が住んでいる地区で行うこととなった場合、参加したいと思いますか。

「参加したい」と考える人は24.1%と約4分の1、「参加したくない」と考える人は7.5%である。「わからない」が63.0%あり、考えを決めかねている人が多い。



| No. | カテゴリー名  | n   | %     |
|-----|---------|-----|-------|
| 1   | 参加したい   | 102 | 24.1  |
| 2   | 参加したくない | 32  | 7.5   |
| 3   | わからない   | 267 | 63.0  |
|     | 無回答     | 23  | 5.4   |
|     | 全体      | 424 | 100.0 |

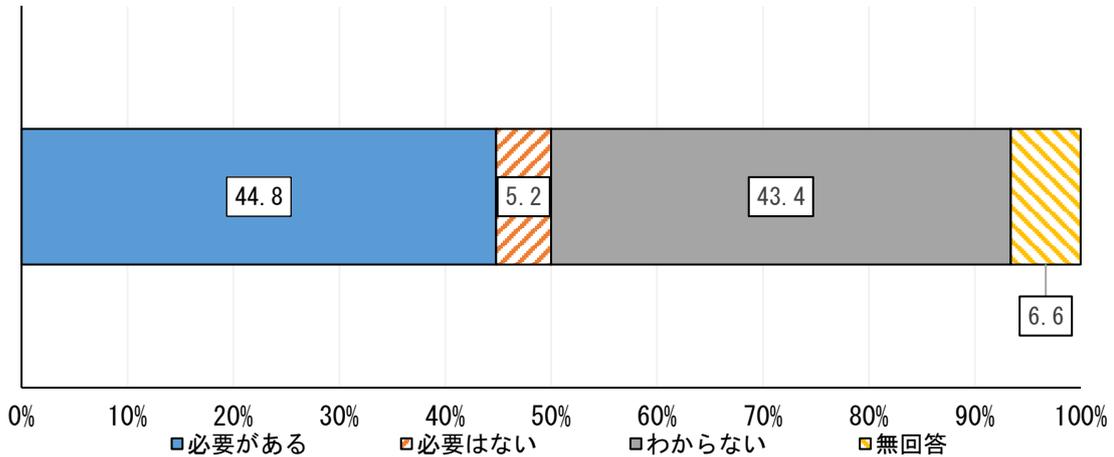




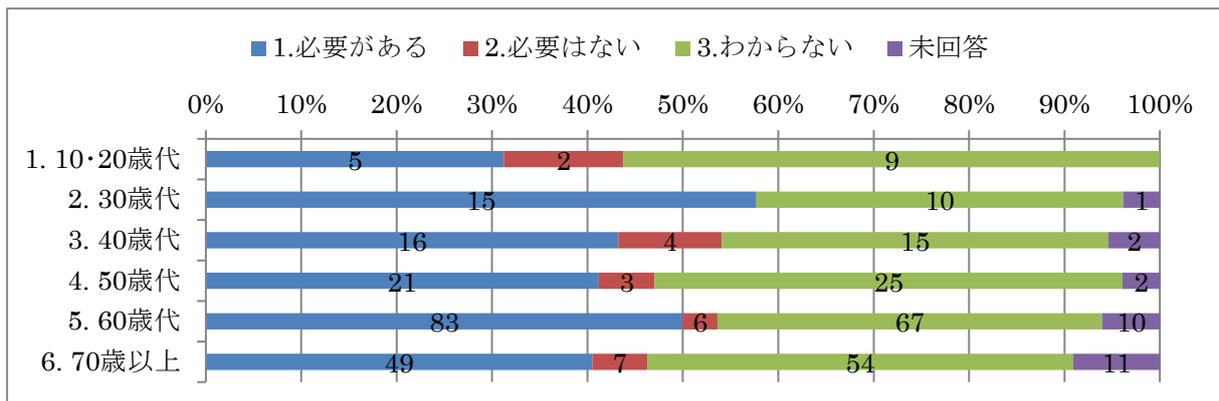
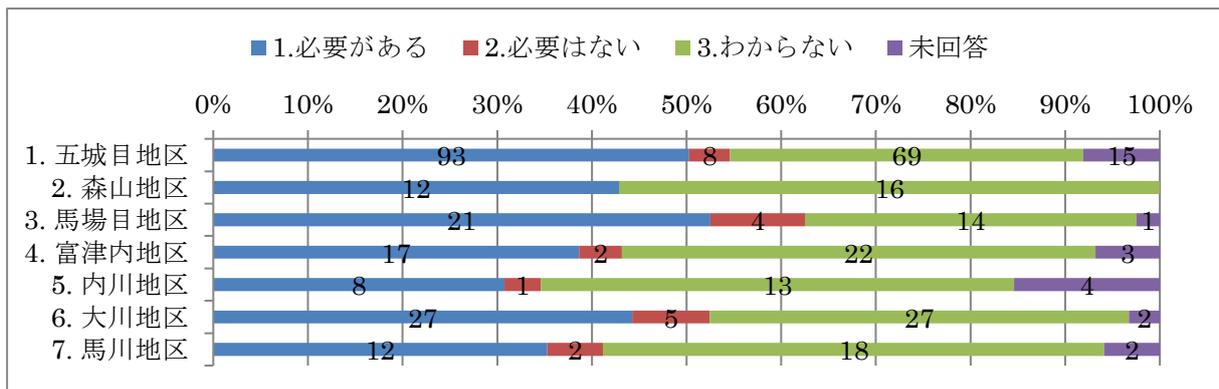
【問30】 あなたは、人口減や少子高齢化を考えた場合、町内会での様々な活動を継続し、日常生活の課題解決に向けた取り組みを行うため、将来的には、複数の集落が連携し、「小さな拠点」を形成する取り組みを行う必要があると思いますか。

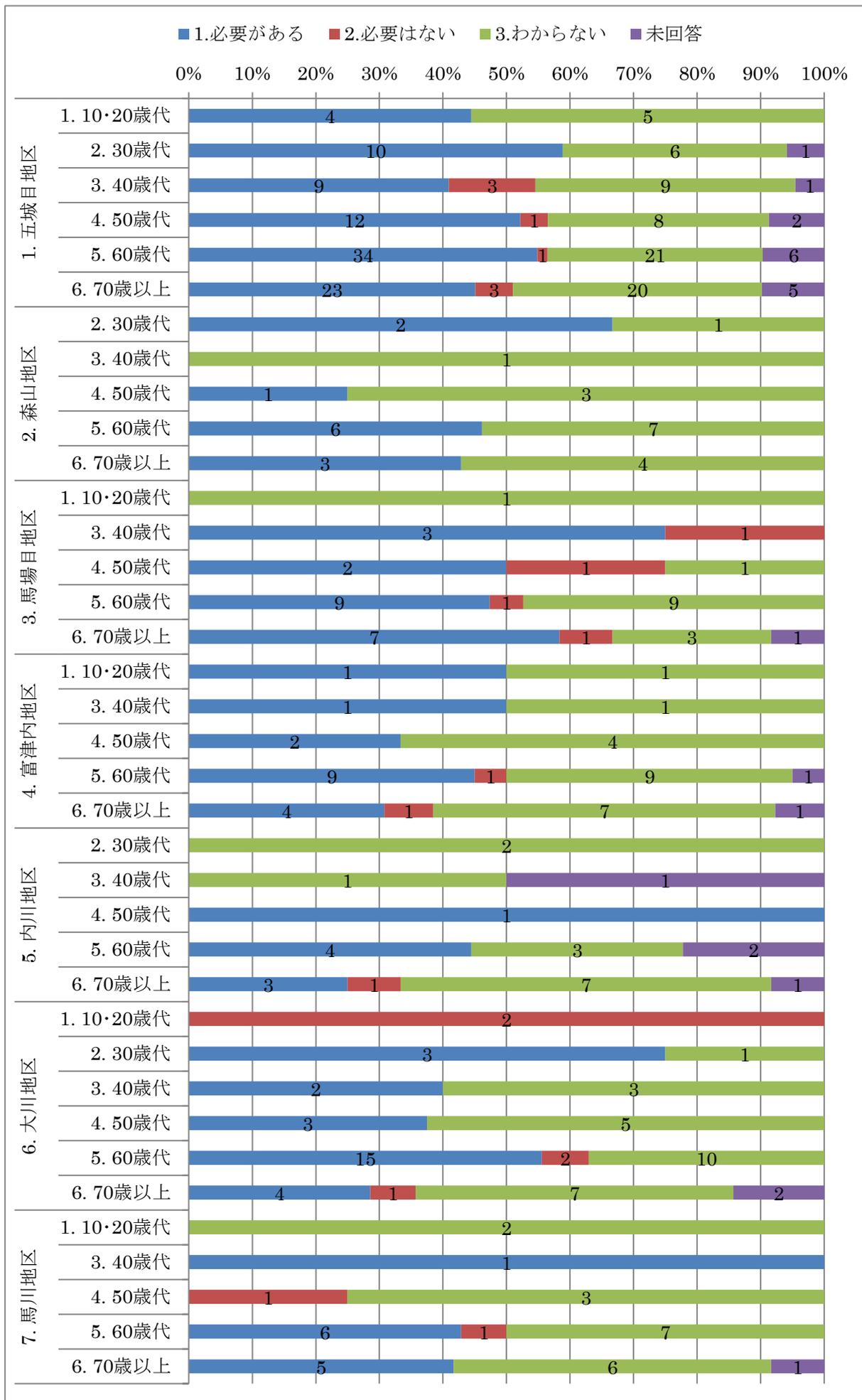
「必要がある」が44.8%、「必要はない」が5.2%であり、4割を超える人が「小さな拠点」を形成する取り組みの必要があると考えている。

一方、「わからない」という回答も43.4%と4割を超える。

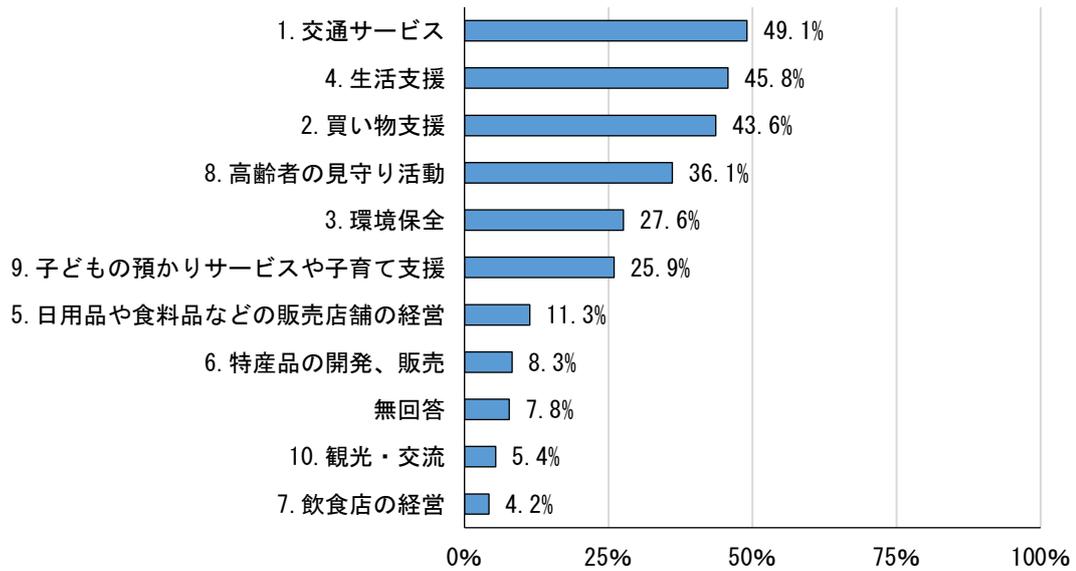


| No. | カテゴリー名 | n   | %     |
|-----|--------|-----|-------|
| 1   | 必要がある  | 190 | 44.8  |
| 2   | 必要はない  | 22  | 5.2   |
| 3   | わからない  | 184 | 43.4  |
|     | 無回答    | 28  | 6.6   |
|     | 全体     | 424 | 100.0 |





【問3 1】 あなたは、自分の住んでいる地域で「小さな拠点」を形成するとした場合、地域住民が主体となって行う事業活動として、どのような取り組みが必要だと思いますか。【3つまで○】



| No. | カテゴリー名            | n    | %     |
|-----|-------------------|------|-------|
| 1   | 交通サービス            | 208  | 49.1  |
| 2   | 買い物支援             | 185  | 43.6  |
| 3   | 環境保全              | 117  | 27.6  |
| 4   | 生活支援              | 194  | 45.8  |
| 5   | 日用品や食料品などの販売店舗の経営 | 48   | 11.3  |
| 6   | 特産品の開発、販売         | 35   | 8.3   |
| 7   | 飲食店の経営            | 18   | 4.2   |
| 8   | 高齢者の見守り活動         | 153  | 36.1  |
| 9   | 子どもの預かりサービスや子育て支援 | 110  | 25.9  |
| 10  | 観光・交流             | 23   | 5.4   |
|     | 無回答               | 33   | 7.8   |
|     | 全体                | 1124 | 265.1 |

